

基本計画書

基本計画画										
事項		記入欄							備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者		カクコホカジン タクショクダ イカク 学校法人 拓殖大学								
フリガナ大学の名称		タクショクダ イカク 拓殖大学								
大学本部の位置		東京都文京区小日向3丁目4番14号								
大学の目的		本学は、海外に赴き、地域の開発協力や福利の向上など、公私の事業に貢献できる有為の人材を育成するという建学の初志をふまえ、教育基本法を精神を体し、学校教育法に定める大学の役割を果たすべく、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究して、人格を陶冶し社会の発展に貢献できる有為の人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的		外国語学部中国語学科及びスペイン語学科では、昨年度までの志願者動向等を踏まえるとともに、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させ、教育の質の保証や大学教育の入口の質を保証することを目的として、同2学科の入学定員をそれぞれ現在の50名から40名に変更する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	外国語学部	年	人	年次人	人			年月第 年次		
	中国語学科	4	40 (50)	—	160 (200)	学士 (中国語)	文学関係	令和8年4月第1年次	東京都八王子市館町815番地1	
	スペイン語学科	4	40 (50)	—	160 (200)	学士 (スペイン語)	文学関係	令和8年4月第1年次	同上	
	計									
同一設置者内における変更（定員の移行等、名称の変更等）		拓殖大学北海道短期大学 農学ビジネス学科（廃止）（△70） ※令和8年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
		科目	科目	科目	科目	単位				
学部等の名称				基幹教員				助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
				教授	准教授	講師	助教	計		
新設	外国語学部 中国語学科			5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	179 (179)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの			5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 5人	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）			5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）			5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	スペイン語学科			3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	176 (176)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの			3 (3)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 5人	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）			0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		

分 既		小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	c．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）		3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	計		8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	－ (－)
	商学部 経営学科		20 (20)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	30 (30)	0 (0)	319 (319)
	a．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		20 (20)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	30 (30)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 14人
	b．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）		20 (20)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	30 (30)		
	c．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）		20 (20)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	30 (30)		
	国際ビジネス学科		12 (12)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	299 (299)
	a．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		12 (12)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	17 (17)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	b．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）		12 (12)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	17 (17)		
	c．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）		12 (12)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	17 (17)		
	会計学科		8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	288 (288)
	a．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 8人
	b．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）		8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)		
	c．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）		8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)		
	政経学部 法律政治学科		15 (15)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	27 (27)	0 (0)	282 (282)
	a．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		15 (15)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	27 (27)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 10人
	b．基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計（a～b）		15 (15)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	27 (27)		
	c．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d．基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計（a～d）		15 (15)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	27 (27)		

計（a～d）	15 (15)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	27 (27)		
経済学科	17 (17)	9 (9)	0 (0)	3 (3)	29 (29)	0 (0)	293 (293)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	17 (17)	9 (9)	0 (0)	3 (3)	29 (29)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	17 (17)	9 (9)	0 (0)	3 (3)	29 (29)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	17 (17)	9 (9)	0 (0)	3 (3)	29 (29)		
社会安全学科	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	71 (66)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
外国語学部 英米語学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	188 (188)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)		
国際日本語学科	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	190 (190)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)		
工学部 機械システム工学科	9 (9)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	163 (163)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	12 (12)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 18人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 8人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 6人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 5人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 6人

小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	13 (13)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	9 (9)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	13 (13)		
電子システム工学科	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	169 (169)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
小計（a～b）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)		
情報工学科	7 (7)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	170 (170)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	7 (7)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	13 (13)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	7 (7)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	13 (13)		
デザイン学科	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	166 (166)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
小計（a～b）	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)		
国際学部 国際学科	25 (25)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	32 (32)	0 (0)	138 (138)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	25 (25)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	32 (32)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	25 (25)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	32 (32)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 6人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 7人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 6人

大学設置基準別表
第一イに定める基
幹教員数の四分の
三の数 15人

分	計 (a～d)		25 (25)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	32 (32)			
	計		152 (152)	65 (65)	0 (0)	12 (12)	229 (229)	0 (0)	－ (－)	
	合 計		160 (160)	69 (69)	0 (0)	12 (12)	241 (241)	0 (0)	－ (－)	
職 種			専 属			その他			計	
事 務 職 員			189 (189)			79 (79)			268 (268)	
技 術 職 員			7 (7)			8 (8)			15 (15)	
図 書 館 職 員			5 (5)			36 (36)			41 (41)	
そ の 他 の 職 員			0 (0)			6 (6)			6 (6)	
指 導 補 助 者			0 (0)			0 (0)			0 (0)	
計			201 (201)			129 (129)			330 (330)	
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
	校 舎 敷 地		371,333.79 m ²		0m ²		0m ²		371,333.79 m ²	
	そ の 他		845,895.65 m ²		0m ²		0m ²		845,895.65 m ²	
	合 計		1,217,229.44 m ²		0m ²		0m ²		1,217,229.44 m ²	
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
			104,427.72 m ² (104,427.72 m ²)		0m ² (0m ²)		0m ² (0m ²)		104,427.72 m ² (104,427.72 m ²)	
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		室		教 員 研 究 室		室	
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具	標本
			冊		種		点		点	
			([])		([])		([])		()	()
	計		([])		([])		([])		()	()
スポーツ施設等			スポーツ施設			講堂			厚生補導施設	
			m ²			m ²			m ²	
経費 の見 積り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 ※図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		451千円	451千円	451千円	451千円	－ 千円	－ 千円	
		共同研究費等		31,280千円	31,280千円	31,280千円	31,280千円	－ 千円	－ 千円	
		図 書 購 入 費	188,578千円	188,578千円	188,578千円	188,578千円	188,578千円	－ 千円	－ 千円	
		設 備 購 入 費	218,365千円	218,365千円	218,365千円	218,365千円	218,365千円	－ 千円	－ 千円	
	学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	商学部			1,282千円	1,082千円	1,082千円	1,082千円	－ 千円	－ 千円	
	政経学部			1,282千円	1,082千円	1,082千円	1,082千円	－ 千円	－ 千円	
	外国語学部			1,337千円	1,137千円	1,137千円	1,137千円	－ 千円	－ 千円	
	工学部			1,630千円	1,430千円	1,430千円	1,430千円	－ 千円	－ 千円	
	国際学部			1,337千円	1,137千円	1,137千円	1,137千円	－ 千円	－ 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入等の事業活動収入を以て充当する。							
大 学 等 の 名 称			拓殖大学							
学 部 等 の 名 称			修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充 足 率	開設 年度	所 在 地
【 学 部 】			年	人	年次 人	人		倍		
商学部								1.06		
経営学科			4	416	－	1,664	学士(商学)	1.05	昭和24年度	※令和3年度入学定員増(36人) (経営学科) ※令和3年度入学定員増(9人) (国際ビジネス学科)
国際ビジネス学科			4	159	－	636	学士(商学)	1.05	昭和24年度	
会計学科			4	70	－	280	学士(商学)	1.14	平成19年度	

既設大学等の状況	政経学部						1.05				
	法律政治学科	4	230	—	920	学士(法律政治学)	1.02	昭和24年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号	※令和3年度入学定員増(23人) (経済学科)	
	経済学科	4	473	—	1,892	学士(経済学)	1.05	昭和24年度			
	社会安全学科	4	150	—	150	学士(法律政治学)	1.08	令和7年度			
	外国語学部						0.80				
	英米語学科	4	130	—	520	学士(英米語)	0.89	昭和52年度	東京都八王子市館町 815番地1		
	中国語学科	4	50	—	200	学士(中国語)	0.64	昭和52年度			
	スペイン語学科	4	50	—	200	学士(スペイン語)	0.71	昭和52年度			
	国際日本語学科	4	50	—	200	学士(日本語)	0.84	令和2年度			
	工学部						1.02				
	機械システム工学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.99	昭和62年度	東京都八王子市館町 815番地1	※令和4年度入学定員増(25人) (情報工学科)	
	電子システム工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	昭和62年度			
	情報工学科	4	105	—	420	学士(工学)	1.11	昭和62年度			
	デザイン学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.97	昭和62年度			
	国際学部						0.89				
	国際学科	4	350	—	1,400	学士(国際開発)	0.89	平成19年度	東京都八王子市館町 815番地1		
	【大 学 院】										
	経済学研究科										
	国際経済専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	0.60	昭和26年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号		
	(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(経済学)	0.22	昭和45年度			
	商学研究科										
	商学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(商学)	0.50	昭和26年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号		
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(商学)	0.66	昭和45年度			
	工学研究科										
	機械・電子システム工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.02	平成26年度	東京都八王子市館町 815番地1		
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(工学)	0.66	平成28年度			
	情報・デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.75	平成26年度			
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(工学)	0.83	平成28年度			
	言語教育研究科										
	英語教育学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	修士(言語教育学)	0.43	平成9年度			
	日本語教育学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	修士(言語教育学)	1.62	平成9年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号		
	言語教育学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士(言語教育学)	0.66	平成11年度			
	国際協力学研究科										
	国際開発専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士(国際開発)	0.67	平成16年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号		
	(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(国際開発)	0.33	平成18年度			
	安全保障専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(安全保障)	1.00	平成16年度			
	(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(安全保障)	1.50	平成18年度			
	地方政治行政研究科										
	地方政治行政専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士(政治行政)	0.56	平成21年度	東京都文京区小日向 3丁目4番14号		
	大 学 の 名 称	拓殖大学北海道短期大学									
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所 在 地		
		年	人	年次人	人		倍				
	農学ビジネス学科	2	70	—	140	短期大学士(農学)	0.52	平成26年度	北海道深川市深川町 メム4558番1	※令和6年度入学定員減(△100人) (農学ビジネス学科)	
	保育学科	2	—	—	—	短期大学士(保育学)	—	昭和55年度		※令和7年度より 学生募集停止 (保育学科)	

附属施設の概要	名 称：言語文化研究所	
	目 的：言語文化に関する調査研究、刊行物の発行、言語教育、公開講座等の開催	
	所 在 地：東京都文京区小日向3丁目4番14号	
	設置年月：平成9年4月	
	規 模 等：使用面積22.53㎡	

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人拓殖大学 設置認可等に関わる組織の移行表

1. 拓殖大学

令和7年度

学 部	学 科	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
商学部	経営学科	416	－	1,664
	国際ビジネス学科	159	－	636
	会計学科	70	－	280
政経学部	法律政治学科	230	－	920
	経済学科	473	－	1,892
	社会安全学科	150	－	<u>600</u>
外国語学部	英米語学科	130	－	520
	中国語学科	50	－	200
	スペイン語学科	50	－	200
	国際日本語学科	50	－	200
工学部	機械システム工学科	80	－	320
	電子システム工学科	80	－	320
	情報工学科	105	－	420
	デザイン学科	80	－	320
国際学部	国際学科	350	－	1,400
計		2,473	－	9,892

⇒

令和8年度

学 部	学 科	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
商学部	経営学科	416	－	1,664	
	国際ビジネス学科	159	－	636	
	会計学科	70	－	280	
政経学部	法律政治学科	230	－	920	
	経済学科	473	－	1,892	
	社会安全学科	150	－	600	
外国語学部	英米語学科	130	－	520	
	中国語学科	<u>40</u>	－	<u>160</u>	定員変更(△10)
	スペイン語学科	<u>40</u>	－	<u>160</u>	定員変更(△10)
	国際日本語学科	50	－	200	
	国際日本語学科	50	－	200	
工学部	機械システム工学科	80	－	320	
	電子システム工学科	80	－	320	
	情報工学科	105	－	420	
	デザイン学科	80	－	320	
国際学部	国際学科	350	－	1,400	
計		<u>2,453</u>	－	<u>9,812</u>	

2. 拓殖大学大学院

令和7年度

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
経済学研究科	国際経済専攻(M)	30	-	60
商学研究科	商学専攻(M)	30	-	60
工学研究科	機械・電子システム工学専攻(M)	18	-	36
	情報・デザイン工学専攻(M)	18	-	36
言語教育研究科	英語教育学専攻(M)	8	-	16
	日本語教育学専攻(M)	8	-	16
国際協力学研究科	国際開発専攻(M)	20	-	40
	安全保障専攻(M)	15	-	30
地方政治行政研究科	地方政治行政専攻(M)	15	-	30
経済学研究科	国際経済専攻(D)	3	-	9
商学研究科	商学専攻(D)	2	-	6
工学研究科	機械・電子システム工学専攻(D)	2	-	6
	情報・デザイン工学専攻(D)	2	-	6
言語教育研究科	言語教育学専攻(D)	5	-	15
国際協力学研究科	国際開発専攻(D)	3	-	9
	安全保障専攻(D)	2	-	6
計		181	-	381

令和8年度

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
経済学研究科	国際経済専攻(M)	30	-	60	
商学研究科	商学専攻(M)	30	-	60	
工学研究科	機械・電子システム工学専攻(M)	18	-	36	
	情報・デザイン工学専攻(M)	18	-	36	
言語教育研究科	英語教育学専攻(M)	8	-	16	
	日本語教育学専攻(M)	8	-	16	
国際協力学研究科	国際開発専攻(M)	20	-	40	
	安全保障専攻(M)	15	-	30	
地方政治行政研究科	地方政治行政専攻(M)	15	-	30	
経済学研究科	国際経済専攻(D)	3	-	9	
商学研究科	商学専攻(D)	2	-	6	
工学研究科	機械・電子システム工学専攻(D)	2	-	6	
	情報・デザイン工学専攻(D)	2	-	6	
言語教育研究科	言語教育学専攻(D)	5	-	15	
国際協力学研究科	国際開発専攻(D)	3	-	9	
	安全保障専攻(D)	2	-	6	
計		181	-	381	

3. 拓殖大学北海道短期大学

令和7年度

学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
農学ビジネス学科	70	-	140
計	70	-	140

令和8年度

学 科	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
	0	-	0	令和8年4月学生募集停止
計	0	-	0	

都道府県内における位置関係の図面

出典: Google マップ

拓殖大学 八王子国際キャンパス 〒193-0985 東京都八王子市館町815-1

学校の位置及びキャンパスの配置図の概要

八王子国際キャンパス

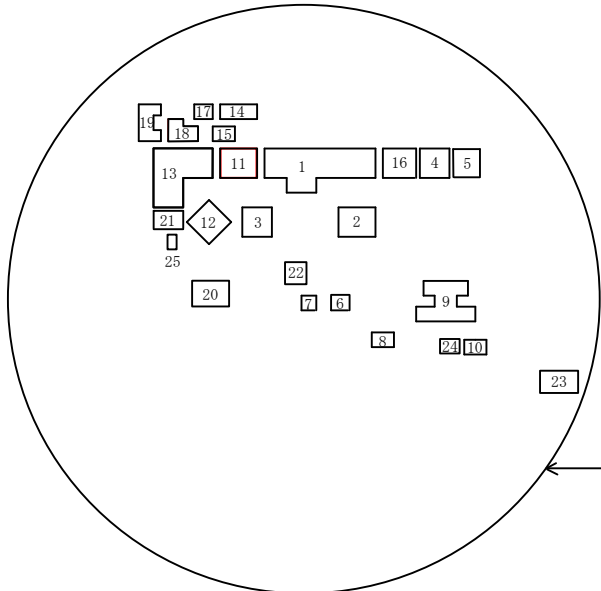
東京都八王子市館町815-1

政経学部(社会安全学科)

外国語学部(英米語学科・中国語学科・スペイン語学科、国際日本語学科)

工学部(機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科、デザイン学科)

国際学部(国際学科)



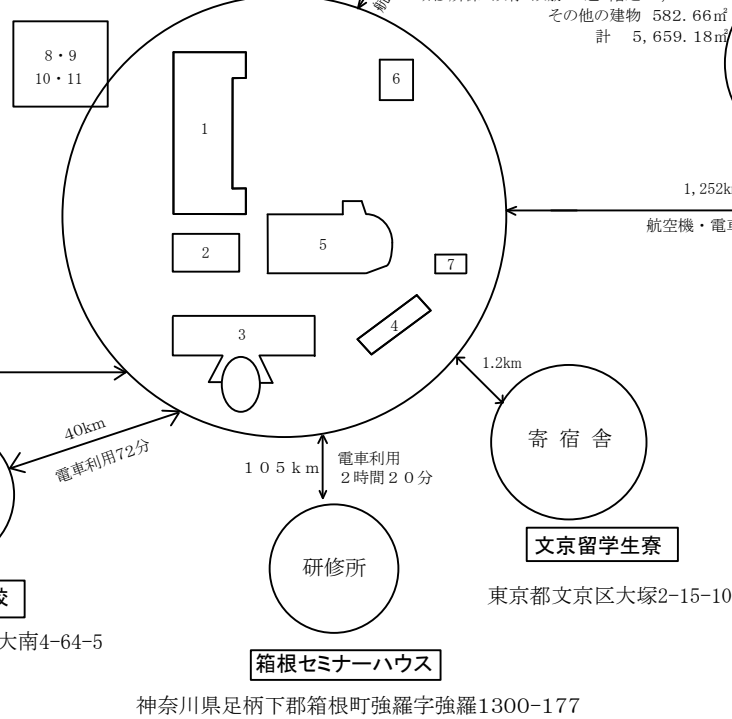
1.	A	館	鉄	筋	6	階	建	14,825.39㎡
2.	B	館	〃	〃	2	階	建	1,044.77㎡
3.	C	館	〃	〃	2	階	建	2,401.99㎡
4.	第一体育館	鉄骨鉄筋	3	階	階	建	建	5,371.75㎡
5.	第二体育館	鉄骨鉄筋	2	階	階	建	建	3,900.49㎡
6.	污水处理場	鉄筋	2	階	階	建	建	245.00㎡
7.	污水处理場	鉄筋	地	下	1	階	建	198.68㎡
8.	機械棟	軽量鉄骨	平	平	家	建	建	9.00㎡
9.	第二体育寮	鉄筋	3	階	階	建	建	3,328.74㎡
10.	国際交流会館	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1,206.55㎡
11.	管理研究棟	鉄骨鉄筋	8	階	建	(BF1)		9,345.73㎡
12.	図書館	鉄骨鉄筋	3	階	建	(BF2)		7,661.67㎡
13.	工学部棟	鉄筋	4	階	建	建		12,141.15㎡
14.	実験実習工場	鉄骨	2	階	建	建		1,612.60㎡
15.	体育管理棟A	軽量鉄骨	平	平	家	建	建	201.47㎡
16.	麗沢会館	鉄筋	5	階	建	(BF1)		2,936.80㎡
17.	第2実験実習工場	鉄骨	平	平	家	建	建	162.00㎡
18.	D館	鉄筋	4	階	建	建		4,274.86㎡
19.	学生交流会館	〃	4	階	建	(BF1)		5,251.51㎡
20.	E館	〃	5	階	建	建		6,668.37㎡
21.	産学連携研究センター	〃	2	階	建	建		1,014.46㎡
22.	恩賜記念館	鉄骨鉄筋	2	階	建	建		1,375.11㎡
23.	八王子留学生寮	鉄骨鉄筋	4	階	建	建		3,629.86㎡
24.	第一体育寮	鉄筋	5	階	建	建		2,342.97㎡
25.	ログハウス	木造	2	階	階	建	建	129.78㎡
その他の校舎								1,405.75㎡
内訳								
①校地管理倉庫			69.56㎡	⑤トレーニングルーム			161.04㎡	
②工学部倉庫			120.89㎡	⑥野球場屋内練習場			767.42㎡	
③第二体育館横倉庫			195.58㎡	⑦その他			1,055.76㎡	
④グラウンド倉庫			91.26㎡	計 93,742.21㎡				

文京キャンパス

東京都文京区小日向3-4-14

商学部

政経学部



1.	校	舎	棟	鉄骨鉄筋	4階	建	13,856.45㎡
2.	体	育	館	鉄筋	2階	建	2,405.15㎡
3.	部	室	棟	鉄筋	3階	建	2,228.86㎡
4.	倉	庫	鉄筋	平屋	建	133.83㎡	
5.	機	械	室	鉄筋	平屋	建	24.75㎡
6.	守	衛	所	鉄筋	平屋	建	15.71㎡
計							18,664.75㎡

研修所第二農場校地

北海道深川市深川町字メム4540

第2農場校地

深川市一己町字一己3960-3

拓殖大学北海道研修所

深川市一己町字一己633-1

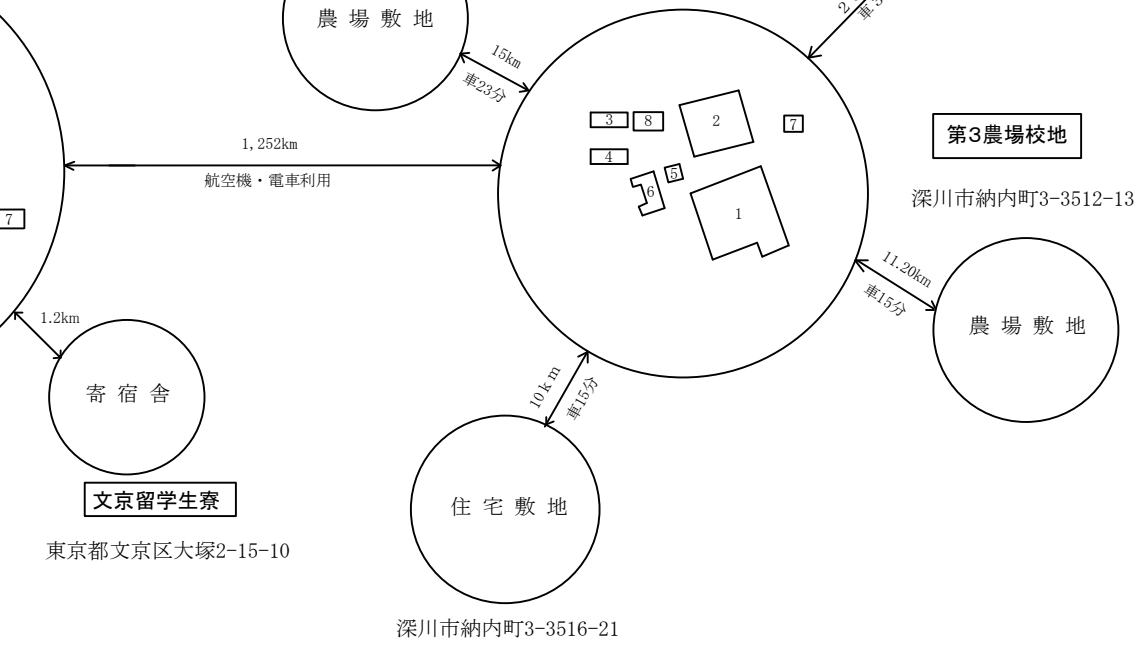
第1農場校地

深川市納内町字納内3904-72他

北海道短期大学中心校地

北海道深川市メム4558

研修所棟 鉄骨・鉄筋RC造3階建 5,076.52㎡
その他の建物 582.66㎡
計 5,659.18㎡



1. A館	鉄筋3階建(B1F)	4,226.19㎡
2. B館	鉄骨鉄筋6階建(BF2)	6,629.62㎡
3. C館	鉄筋鉄骨7階建(B1F)	13,155.20㎡
4. D館	鉄骨鉄筋6階建(BF1)	2,795.10㎡
5. E館	鉄骨鉄筋10階建(BF2)	16,375.57㎡
6. H館	鉄骨鉄筋5階建	1,484.38㎡
7. 東門守衛所	鉄筋2階建	70.56㎡
8. F館	鉄筋3階建(BF1)	2,741.03㎡
9. G館	鉄筋5階建	988.20㎡
10. 設備棟	鉄筋2階建	132.90㎡
11. 門衛所	鉄筋2階建	45.90㎡
文京留学生寮	鉄筋3階建(BF1)	1,414.92㎡
箱根セミナーハウス	鉄筋4階建	817.81㎡
北海道研修所		5,659.18㎡
その他の校舎		132.97㎡

最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

八王子国際キャンパス

東京都八王子市館町8 1 5 番地1

(最寄り駅：J R 中央線・京王線 高尾駅より八王子国際キャンパスまで京王バスにて5分, 1.78km)



校舎、運動場等の配置図

八王子国際キャンパス

東京都八王子市館町815-1

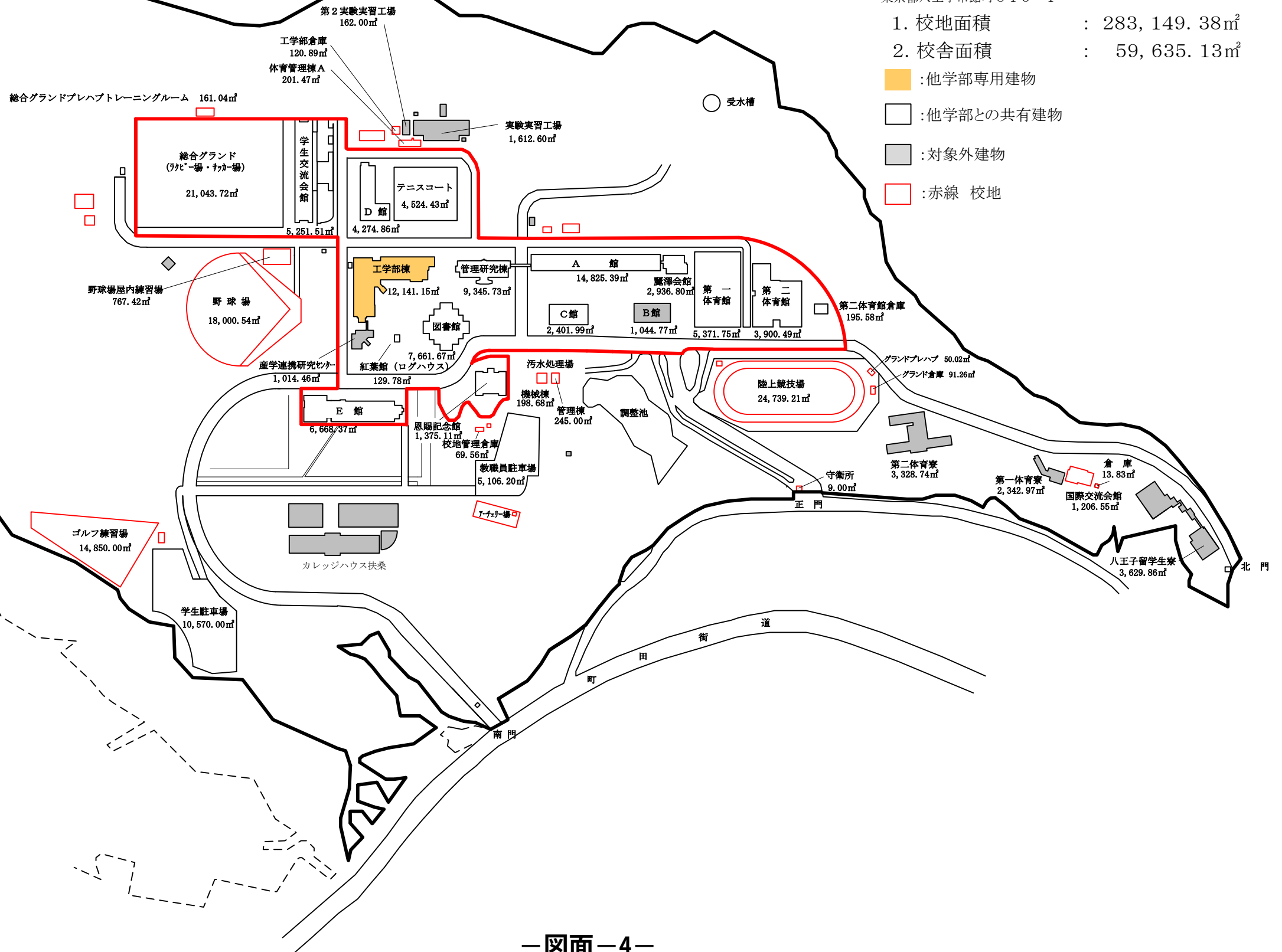
1. 校地面積 : 283,149.38㎡
2. 校舎面積 : 59,635.13㎡

■ : 他学部専用建物

□ : 他学部との共有建物

■ : 対象外建物

□ : 赤線 校地



目次

第 1 章	総則(第 1 条～第 3 条)
第 2 章	組織(第 4 条～第 10 条)
第 3 章	職員組織(第 11 条～第 16 条)
第 4 章	教授会(第 17 条・第 18 条)
第 5 章	学年・学期及び休業日(第 19 条～第 22 条)
第 6 章	修業年限及び在学年限(第 23 条・第 24 条)
第 7 章	入学(第 25 条～第 32 条)
第 8 章	教育課程及び履修方法(第 33 条～第 37 条)
第 9 章	試験・成績及び進級(第 38 条～第 41 条)
第 10 章	休学・転学・転部・転科・留学・退学及び除籍(第 42 条～第 50 条)
第 11 章	卒業及び学位(第 51 条・第 52 条)
第 12 章	賞罰(第 53 条・第 54 条)
第 13 章	科目等履修生・委託生・受託留学生及び研究生(第 55 条～第 59 条)
第 14 章	学費等(第 60 条～第 62 条)
第 15 章	奨学生(第 63 条)
第 16 章	公開講座(第 64 条)
第 17 章	寄宿舍(第 65 条)
第 18 章	雑則(第 66 条)
附則	

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 拓殖大学（以下「本学」という。）は、海外に赴き、地域の開発協力や福利の向上など、公私の事業に貢献できる有為の人材を育成するという建学の初志をふまえ、教育基本法をの精神を体し、学校教育法に定める大学の役割を果たすべく、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究して、人格を陶冶し社会の発展に貢献できる有為の人材を育成することを目的とする。

2 第 4 条に定める学部、学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表第 1 に定める。

（使命）

第 2 条 本学は、積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成を建学の理念としている。この国際友愛と人間尊重の理念に基づき、日本及び世界の平和と文化の進展に寄与していくことを使命とする。

（自己点検・評価）

第 3 条 本学は、教育研究水準の向上に資するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する必要な事項は、別に定める。

第2章 組織

(学部及び学科の設置)

第4条 本学に、商学部、政経学部、外国語学部、工学部及び国際学部を置く。

- (1) 商学部、経営学科、国際ビジネス学科及び会計学科を置く。
- (2) 政経学部、法律政治学科、経済学科及び社会安全学科を置く。
- (3) 外国語学部、英米語学科、中国語学科、スペイン語学科及び国際日本語学科を置く。
- (4) 工学部に、機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科及びデザイン学科を置く。
- (5) 国際学部に、国際学科を置く。

(入学定員及び収容定員)

第5条 前条に規定する各学科の入学定員及び収容定員は、次の通りとする。

学 部	学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
商学部	経営学科	416 名 (※ 外国人留学生特別 枠 36 名を含む)	1,664 名 (※ 外国人留学生特別 枠 144 名を含む)
	国際ビジネス学科	159 名 (※ 外国人留学生特別 枠 9 名を含む)	636 名 (※ 外国人留学生特別 枠 36 名を含む)
	会計学科	70 名	280 名
政経学部	法律政治学科	230 名	920 名
	経済学科	473 名 (※ 外国人留学生特別 枠 23 名を含む)	1,892 名 (※ 外国人留学生特別 枠 92 名を含む)
	社会安全学科	150 名	600 名
外国語学部	英米語学科	130 名	520 名
	中国語学科	40 名	160 名
	スペイン語学科	40 名	160 名
	国際日本語学科	50 名	200 名
工学部	機械システム工学科	80 名	320 名
	電子システム工学科	80 名	320 名
	情報工学科	105 名	420 名
	デザイン学科	80 名	320 名
国際学部	国際学科	350 名	1,400 名

(大学院)

第6条 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する規則は、別に定める。

(別科)

第7条 本学に、別科を置く。

2 別科に関する規則は、別に定める。

(附置研究所)

第8条 本学に、附置研究所として、経営経理研究所、政治経済研究所、言語文化研究所、理工学総合研究所、人文科学研究所、海外事情研究所、国際日本文化研究所、国際開発研究所、日本語教育研究所、イスラーム研究所、地方政治行政研究所、産学連携研究センター及び地域連携センター(以下「研究所」という。)を置く。

2 研究所に関する規則は、別に定める。

(図書館)

第9条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する規則は、別に定める。

(事務組織等)

第10条 本学に、事務局、学生支援センター、入学支援センター、総合情報センター、就職キャリアセンター及び国際交流留学生センターを置く。

2 本学の事務組織、学生支援センター、入学支援センター、総合情報センター、就職キャリアセンター及び国際交流留学生センターに関する規則は別に定める。

第3章 職員組織

(職員)

第11条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、助教、講師、助手、学生主事、学生主事補、事務職員及びその他必要な職員を置く。

(学長)

第12条 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第13条 副学長は、学長を補佐し、命を受けて、校務を統括する。

(学部長)

第14条 各学部に、学部長を置く。

2 学部長は、その学部の教授のうちからこれをあてる。

3 学部長は、学長を補佐し、当該学部の校務を統括する。

(研究所長等)

第15条 研究所に、研究所長又はセンター長を置く。

(図書館長)

第16条 図書館に、図書館長を置く。

第4章 教授会

(学部教授会)

第17条 本学の各学部に、教授会を置く。

2 学部教授会は、当該学部の専任の教授、准教授及び助教をもって構成する。ただし、その他の教育職員も出席させることができる。

3 学部教授会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教授会の運営に関する事項
 - (2) 教育課程の編成、変更、実施及び講義担当に関する事項
 - (3) 学部長の選挙に関する事項
 - (4) 教員人事に関する事項
 - (5) 各種委員会に関する事項
 - (6) 名誉教授の推薦に関する事項
 - (7) 学則に関する事項
 - (8) 学生の入学、退学、休学、進級、復学、転部、転科、留学、除籍、卒業及び課程の修了、学位の授与に関する事項
 - (9) 学生の試験に関する事項
 - (10) 奨学生の選考に関する事項
 - (11) 学生の賞罰に関する事項
 - (12) 学生団体、学生活動、その他学生生活に関する事項
 - (13) 教授会規程の改廃に関する事項
 - (14) その他当該学部の運営上重要な事項
- 4 前項第4号の審議及び議決には、准教授及び助教は参加することができない。
- 5 前3項に掲げる審議事項のうち、学生の入学、卒業及び課程の修了、学位の授与については、学長が決定を行うにあたり、必ず意見を述べなければならない。
- 6 学部教授会において審議、議決された事項は、学部長から学長に報告し、学長が決定する。
- 7 学部教授会に関するその他必要な事項は、別に定める。

(連合教授会)

第18条 本学に、連合教授会を置く。

- 2 連合教授会は、各学部の専任の教授をもって構成する。ただし、その他の教育職員も出席させることができる。
- 3 連合教授会は、学長が次に掲げる事項を決定するにあたり意見を述べるものとする。
 - (1) 学部教授会から附託された事項
 - (2) その他各学部に共通する事項
- 4 連合教授会に関するその他必要な事項は、別に定める。

第5章 学年・学期及び休業日

(学年)

第19条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第20条 学年は、次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

(授業期間)

第21条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(休業日)

第 22 条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日
- (2) 本学の創立記念日(11 月 3 日)
- (3) 春季休業日 3 月 24 日から 3 月 31 日まで
- (4) 夏季休業日 7 月 11 日から 9 月 10 日まで
- (5) 冬季休業日 12 月 25 日から翌年 1 月 7 日まで

2 学長は、教授会の議を経て前項に規定する休業日を変更することができる。

3 第 1 項に規定するもののほか、学長は、教授会の議を経て臨時の休業日を定めることができる。

第 6 章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第 23 条 学部 of 修業年限は、4 年とする。

(在学年限)

第 24 条 学生は、6 年をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、8 年以内の期間、在学することができる。

2 第 30 条第 1 項の規定により入学した学生は、同条第 2 項により定められた在学年数の 1.5 倍の年数(端数が生じた場合は切上げた数)をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、その 2 倍に相当する年数以内の期間、在学することができる。

第 7 章 入学

(入学の時期)

第 25 条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第 26 条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年 1 月 31 日文部科学省令第 1 号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度試験に合格した者
- (7) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

(入学の出願)

第 27 条 本学へ入学を志願する者は、入学志願書に別表第 2—1 に定める入学検定料及び

別に定める書類を添えて願出しなければならない。

- 2 入学検定料は、受験の如何にかかわらずこれを返還しない。

(入学者の選考)

第 28 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第 29 条 選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書・同意書その他所定の書類を提出するとともに、別表第 2—2 に定める学費及び所定の諸会費(以下「学費等」という。)を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学及び転入学)

第 30 条 次の各号の一に該当する者で、本学へ入学を志願するときは、学長は、欠員のある場合に限り、教授会の議を経て、相当学年に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者
- (3) 他の大学を退学した者
- (4) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)附則第 7 条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の課程を修了し、又は卒業した者
- (5) 大学入学資格を有し、専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
- (6) 大学入学資格を有し、高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

- 2 前項及び第 31 条の規定により入学を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が教授会の議を経て決定する。

(再入学)

第 31 条 学長は、本学の退学者及び除籍者が再入学を願出たときは、次の各号に該当する者を除き、欠員がある場合に限り、教授会の議を経て相当学年に入学を許可することができる。

- (1) 第 54 条第 2 項により放校退学された者
- (2) 第 54 条第 2 項による諭旨退学者で退学決定日より 1 年以上経過していないとき。
- (3) 第 50 条第 2 号により除籍された者

第 8 章 教育課程及び履修方法

(保護者等)

第 32 条 入学の許可を得た者は、保護者等を届け出なければならない。

- 2 保護者等は、父母若しくはこれに準ずる者とする。

- 3 保護者等は、学生が学修研究活動等を円滑に遂行していくうえで、大学と連携し、学生を指導・支援しなければならない。

(授業科目)

第 33 条 授業科目は、全学共通教養科目、外国語科目、初期教育科目、専門科目、ゼミナール科目、自由科目、教職課程科目及び拓殖大学日本語教員養成講座科目等とする。

(メディアを利用して行う授業)

第 34 条 学長は、本学が教育上有益と認めるときは、前条の授業科目を、教授会の議を経て、多様なメディアを高度に利用して、教室以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち 60 単位を限度とする。

(履修方法)

第 35 条 授業科目の履修方法及び修得すべき単位数は、別表第 3 のとおりとする。

(単位の計算方法)

第 36 条 授業科目の単位計算方法は、1 単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて 45 時間を標準とし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、ゼミナール論文、卒業論文、卒業研究等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合は、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

3 授業科目の単位数は、教授会の議を経て学長が定める。

(教育職員免許状の授与)

第 37 条 教育職員の資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)及び教育職員免許法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)に定める単位を修得しなければならない。

2 本学の学部及び学科において取得できる教育職員免許状の種類は、別表第 4 の通りである。

第 9 章 試験・成績及び進級

(履修届の提出)

第 38 条 学生は、毎年度所定の期日までに、履修すべき授業科目を記載した履修届を提出しなければならない。

(単位の授与及び試験等)

第 39 条 履修した授業科目は、試験その他の適切な方法等（以下「試験等」という。）により学修の成果を評価し、合格した者に単位を与える。

2 学費等を納付していない者、休学又は停学の期間中の者等には、単位を与えることができない。

3 試験等の実施については、別に定める。

(成績等)

第 40 条 学生に対して、授業の方法及び内容並びに授業の計画をあらかじめ明示する。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行う。

3 授業科目の成績評価は、S、A、B、C 及び F をもって表わし、S、A、B 及び C を合格とする。

(進級)

第 41 条 上級の学年に進級する基準は、別に定める。

第10章 休学・転学・転部・転科・留学・退学及び除籍

(休学)

第42条 疾病その他の事由により3カ月以上修学することができない者は、学長の許可を受けて休学することができる。

- 2 学長は、疾病のため修学することが適当でないと認められた者に対し休学を命ずることができる。

(休学期間)

第43条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、さらに1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年をこえることはできない。
- 3 休学期間は、第24条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第44条 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を受けて復学することができる。

(転入学)

第45条 他の大学へ入学又は転入学を志願しようとする者は、学長に届け出なければならない。

(転部及び転科)

第46条 学長は、他の学部へ転部又は他の学科へ転科することを志願する者に対し、欠員がある場合に限り、教授会の議を経て、許可することができる。

(単位認定等)

第47条 学長は、本学が教育上有益と認めるときは、次の各号の一に該当する単位等は、教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

- (1) 本学が定める他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
 - (2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし与えることができる単位
 - (3) 学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(いずれも外国の大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位及びその他文部科学大臣が別に定める学修を本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし与えることができる単位
- 2 前項により認定することのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、60単位を限度とする。

(留学)

第48条 本学の学生で、外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を受けて留学することができる。

- 2 前項の許可を受けて留学した期間は、第24条に定める在学期間に含めることができる。
- 3 前項の規定より履修し、修得した授業科目及び単位は、教授会の議を経て、商学部、政経学部、外国語学部、国際学部においては、30単位を限度として、工学部においては、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(退学)

第 49 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 50 条 学長は、次の各号の一に該当する者を、教授会の議を経て、除籍することができる。

- (1) 学費等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第 24 条に定める在学年限をこえた者
- (3) 第 43 条第 2 項に定める休学期間をこえて修学できない者
- (4) 履修届の提出等在籍に要する手続を履行しない者

第 11 章 卒業及び学位

(卒業)

第 51 条 学長は、本学に 4 年(第 30 条第 1 項及び第 31 条の規定により入学した者については、第 30 条第 2 項により定められた在学すべき年数)以上在学し、別に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、卒業を認定する。

(学位の授与)

第 52 条 卒業した者には、次の区分に従い、学位を授与する。

商学部	経営学科 国際ビジネス学科 会計学科	学士(商学)
政経学部	法律政治学科 経済学科 社会安全学科	学士(法律政治学) 学士(経済学) 学士(法律政治学)
外国語学部	英米語学科 中国語学科 スペイン語学科 国際日本語学科	学士(英米語) 学士(中国語) 学士(スペイン語) 学士(日本語)
工学部	機械システム工学科 電子システム工学科 情報工学科 デザイン学科	学士(工学)
国際学部	国際学科	学士(国際開発)

2 学位の授与に関し、その他必要な事項は拓殖大学学位規程の定めるところによる。

第 12 章 賞罰

(表彰)

第 53 条 学長は、学生として表彰に価する行為があった者を教授会の議を経て表彰する。

(懲戒)

第 54 条 学長は、本学の規則に違反し、次の各号の一に該当する者に対し、教授会の議を経て、懲戒する。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 正当な理由がなく出席が常でない者
- (3) 本学の秩序を乱した者

(4) 学生としての本分に反した者

2 前項の懲戒の種類は、放校退学、論旨退学、停学、謹慎、譴責及び訓戒とする。

第13章 科目等履修生・委託生・受託留学生及び研究生

(科目等履修生)

第55条 学長は、本学において一又は複数の授業科目について履修を志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生は、学期ごとに入学を許可する。

3 科目等履修生は、履修した授業科目の試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

4 科目等履修生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(委託生)

第56条 学長は、本学に対して官公庁、外国政府又は内外の企業・機関等から委託があったときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、委託生として入学を許可することができる。

2 委託生は、学期ごとに入学を許可する。

3 委託生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(受託留学生)

第57条 学長は、外国の大学との協定に基づき、当該大学からの委託によって一定の期間本学に留学する者は、教授会の議を経て、受託留学生として入学を許可する。

2 受託留学生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(研究生)

第58条 学長は、指導教員の指導のもとに特定事項に関する研究をしようとする者があるときは、各学部の教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生は、学期ごとに入学を許可する。

3 研究生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(学則の準用)

第59条 科目等履修生、委託生、受託留学生及び研究生には、本章に規定するほか、本学則の各章の規定を準用する。

第14章 学費等

(学費の額)

第60条 学費等の額は、別表第2—2及び別表第2—3に定めるとおりとする。

2 第30条第1項及び第31条の規定により入学を許可された者が納付すべき学費の額は、在学することとなる年次の学生に適用する学則に定める額とする。

3 卒業できない者及び上級の学年に進級できない者の学費は、別表第2—2に定める学費の額にかかわらず、滞留することとなる年次の学生に適用する学則に定める額とする。

4 学費の減免及び免除等の特例については、別に定める。

(学費等の納付)

第61条 学費及び所定の諸会費は、当該学年度分を別に定める期日までに納付しなけれ

ばならない。

- 2 1 学期を通じて休学する者に対しては、休学中の授業料及び施設設備資金を免除する。

ただし、休学中は 1 学期につき 50,000 円の在籍料を納入しなければならない。

- 3 第 48 条に定める留学中の学費等は、全額納付しなければならない。

(学費等の返還)

第 62 条 納付した学費等は、事由の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学手続時において別に定めるところにより入学を辞退する場合は、この限りでない。

第 15 章 奨学生

(奨学生)

第 63 条 学長は、学力優秀、品行方正な学生を、教授会の議を経て、奨学生とすることができる。

- 2 奨学生に関する規程は、別に定める。

第 16 章 公開講座

(公開講座)

第 64 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関する規程は別に定める。

第 17 章 寄宿舍

(寄宿舍)

第 65 条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する規程は、別に定める。

第 18 章 雑則

(学則の変更)

第 66 条 この学則は、教授会の議を経て、学長の提案に基づき、理事会の議決により変更することができる。

附 則

本学則は、昭和 24 年 4 月 1 日からこれを実施する。

附 則

本学則は、昭和 28 年 4 月 1 日からこれを実施する。

附 則

本学則は、昭和 32 年 4 月 1 日からこれを実施する。

附 則

本学則は、昭和 46 年 9 月 28 日改正し、昭和 47 年 4 月 1 日からこれを適用する。ただし、昭和 46 年度以前の入学者については第 24 条、第 39 条及び第 40 条の改正規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から適用する。ただし、昭和 50 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から適用する。ただし、昭和 51 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から適用する。ただし、昭和 52 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から適用する。ただし、昭和 53 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から適用する。ただし、昭和 54 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 56 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 58 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 57 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 58 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 59 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 60 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 61 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 62 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 63 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

本学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成元年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

- 1 本学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 2 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 4 条の規定に拘らず、平成 3 年度から平成 7 年度までの入学定員を次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
商学部	経営学科	510 名
	貿易学科	170 名
政経学部	政治学科	260 名
	経済学科	500 名

附 則

本学則は、平成 4 年 3 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成元年度以前の入学者については、第 29 条別表第 2 教職に関する科目の改正規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

本学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 4 年度以前の入学者の学費については、第 54 条別表第 1—2 の改正規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

本学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 6 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 4 条の規定に拘わらず、平成 8 年度から平成 11 年度までの入学定員を次のとおりとする。

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	510 名
	貿易学科	170 名
政経学部	政治学科	260 名
	経済学科	500 名

附 則

- 1 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 8 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。
- 2 第 24 条別表第 1—1 入学検定料の改正は、平成 9 年度入学志願者から適用する。

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 9 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 10 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 及び第 57 条別表第 1—2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

改正 平成 14 年 3 月 13 日学則第 1 号、平成 15 年 2 月 20 日学則第 2 号

- 1 この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 11 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 4 条の規定にかかわらず、平成 12 年度から平成 16 年度までの入学定員を次のとおりとする。

平成 12 年度

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	474 名
	貿易学科	158 名
政経学部	政治学科	242 名
	経済学科	470 名

平成 13 年度

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	468 名
	貿易学科	156 名
政経学部	政治学科	239 名
	経済学科	465 名

平成 14 年度

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	462 名
	国際ビジネス学科	154 名
政経学部	政治学科	236 名
	経済学科	460 名

平成 15 年度

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	456 名
	国際ビジネス学科	152 名
政経学部	法律政治学科	233 名
	経済学科	455 名

平成 16 年度

学 部	学 科	定 員
商学部	経営学科	450 名
	国際ビジネス学科	150 名
政経学部	法律政治学科	230 名
	経済学科	450 名

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 12 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 13 年度以前の入学者については、第 29 条の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。
- 2 商学部貿易学科及び工学部電子工学科は、第 3 条の改正規定にかかわらず平成 14 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし平成 14 年度以前の入学者については、第 29 条の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。
- 2 政経学部政治学科は、第 3 条の改正規定にかかわらず平成 15 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 学士(政治学)の学位は第 48 条の改正規定にかかわらず平成 15 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 15 年度以前の入学者については、第 29 条及び第 38 条並びに別表第 2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし平成 16 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 及び第 32 条別表第 3 並びに第 57 条別表第 1—2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 17 年 5 月 18 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 17 年度以前の入学者については、第 30 条別表第 2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。
- 2 第 37 条は、入学年度にかかわらず、前項に掲げる日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 18 年度以前の入学者については、第 29 条、第 30 条別表第 2 及び第 32 条別表第 3 並びに第 57 条別表第 1—3 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。
- 2 工学部情報エレクトロニクス学科は、第 3 条の改正規定にかかわらず平成 19 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 国際開発学部開発協力学科、アジア太平洋学科は、第 3 条の改正規定にかかわらず平成 19 年 3 月 31 日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの

間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 19 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 21 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 20 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 21 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 工学部工業デザイン学科は、第 3 条の改正規定にかかわらず平成 22 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前の入学者については、第 32 条の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度以前の入学者については、第 1 条別表第 1、第 6 条及び第 32 条別表第 3 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 29 年度以前の入学者については、第 32 条別表第 3、及び第 60 条別表第 2—2 の改正規定にかかわらず、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 61 条第 2 項の改正は、平成 31 年 4 月 1 日に在学する者から適用する。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 31 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 32 条の改正は、令和 3 年 4 月 1 日に在学する者から適応する。

附 則

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 47 条第 1 項第 3 号の改正は、令和 4 年 4 月 1 日に在学する者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 4 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 61 条第 2 項の改正は、令和 5 年 4 月 1 日に在学する者から適用する。

附 則

- 1 この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 5 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。
- 2 第 32 条及び第 39 条から第 41 条の改正は、令和 6 年 4 月 1 日に在学する者から適用する。

附 則

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 6 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 7 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

別表第1 学部、学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

1 商学部

会計・経営・情報・流通・国際ビジネス等の商学の諸分野における実学を身につけ、グローバル化の進むビジネス社会で活躍できる人材を育成する。

(1) 経営学科

企業、組織、流通及び市場の仕組みやその活動を理解する能力と、経営を実践する能力を修得し、ビジネスの世界で活躍できる人材を育成する。

(2) 国際ビジネス学科

貿易、サービス・ビジネス、ホスピタリティ・ビジネス、コミュニケーション、ビジネス英語の各領域における実学を総合的に修得し、国際ビジネスの舞台で活躍できる人材を育成する。

(3) 会計学科

ビジネス世界における会計情報の役割及び企業法制度の仕組みを修得し、職業的会計人(会計のプロフェッショナル)として活躍できる人材を育成する。

2 政経学部

法律・政治・経済の3分野における基礎及び専門知識を身につけ、国際的視野に立ち公共と民間の多様な領域で社会に貢献できる人材を育成する。

(1) 法律政治学科

法律学・政治学分野における理論的・実践的知識を身につけ、グローバル化時代の実社会の諸問題を的確に指摘し、解決できる能力と意欲を持った人材を育成する。

(2) 経済学科

経済学分野における理論的・実践的知識を身につけ、グローバル化時代の実社会の諸問題を的確に指摘し、解決できる能力と意欲を持った人材を育成する。

(3) 社会安全学科

法律学・政治学分野における社会安全上の理論的・実践的知識を身につけ、グローバル化時代の社会安全上の諸問題を的確に見極め、解決できる能力と意欲を持った人材を育成する。

3 外国語学部

言語の仕組みや働きについての専門的知識を持ち、単に読み・書き・話し・聞くことができるだけでなく、言語に関わる幅広い分野において、知的コミュニケーションができる当該言語運用能力を修得させ、優れた語学の力と国際感覚を持ち、自国の言語、文化、社会をしっかりと理解した上で、他国の文化を尊重し、相互理解に導く力を持った人を育てる。

(1) 英米語学科

世界で広く用いられている英語の高い運用力とコミュニケーション能力を修得し、豊かな教養と異文化理解をもって国の内外で活躍できる人材を育成する。

(2) 中国語学科

世界で広く用いられている中国語の高い運用力とコミュニケーション能力を修得し、豊かな教養と異文化理解をもって国の内外で活躍できる人材を育成する。

(3) スペイン語学科

世界で広く用いられているスペイン語の高い運用力とコミュニケーション能力を修得し、豊かな教養と異文化理解をもって国の内外で活躍できる人材を育成する。

(4) 国際日本語学科

日本語についての知見をもとにした言語を通しての相互理解と発信する力、日本文化への洞察をもとにした社会的人間関係を構築し、発展させる力、そして、問題を発見し、思考するとともにコミュニケーションを通して解決する力を身につける。

日本の言語、文化、社会への深い理解のうえに、優れた発信型の語学力と異文化コミュニケーション能力を有し、また、グローバルな視野と教養、実践力を身につけた、国内外の幅広い分野で活躍できる人材を育てる。

4 工学部

工学に関する基礎から応用に至る「ものづくり」を重視した知識と技術能力を修得し、日本と国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。

(1) 機械システム工学科

国際感覚と教養を身につけるとともに、機械システム工学に関する均整のとれた知識を修得し、社会と工学の発展に貢献できる人材を育成する。

(2) 電子システム工学科

現代社会を支える多様化した電子システムを開発・運用するために必要な知識と技術能力を修得し、国内外の発展に貢献できる人材を育成する。

(3) 情報工学科

情報社会及び多彩な産業分野におけるコンピュータ活用技術を身につけ、情報システムの構築並びに情報サービスの発展に貢献できる人材を育成する。

(4) デザイン学科

工学における「ものづくり」を基盤に、デザイン提案に必要な知識と技術能力を身につけ、生活文化の発展に貢献できる人材を育成する。

5 国際学部 国際学科

諸外国の言語、文化、民族、政治経済システムを理解し、国際協力、国際経済、国際政治、国際文化、国際観光、農業総合、国際スポーツの7つの分野におけるグローバル化した社会の諸課題に取り組み、その解決に貢献できる人材を育成する。

別表第 2—1

項 目	金 額			
	商学部・ 政経学部	外国語学部	工学部	国際学部
入学検定料	35,000 円	35,000 円	35,000 円	35,000 円
転部・転科検定料	2,000 円	2,000 円	2,000 円	2,000 円
科目等履修生検定料	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円
委託生検定料	10,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円
研究生検定料	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円

別表第 2—2

項 目	金 額			
	商学部・ 政経学部	外国語学部	工学部	国際学部
入学金	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
授業料	792,000 円	907,000 円	1,000,000 円	907,000 円
施設設備資金	290,000 円	230,000 円	430,000 円	230,000 円

※ 入学金は入学時のみ

別表第 2—3

項 目		金 額			
		商学部・ 政経学部	外国語学部	工学部	国際学部
教職課程登録料		10,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円
科目等履修生	登録料	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円
	履修料	1 単位科目 15,000 円	1 単位科目 15,000 円	1 単位科目 15,000 円	1 単位科目 15,000 円
研究生	登録料	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円
	研究指導料	1 年 400,000 円	1 年 400,000 円	1 年 400,000 円	1 年 400,000 円
		半年 200,000 円	半年 200,000 円	半年 200,000 円	半年 200,000 円

別表第3

商 学 部

必修 数字白ヌキ

選択必修 数字()印

外国人留学生 ☆印

全学共通教養科目(経営学科・国際ビジネス学科・会計学科共通)

A系列 (国際性を高める)	S D G s 基 礎	2
	日 本 史	2
	東 洋 史	2
	イスラム社会の歴史と文化	2
	西 洋 史	2
	西 洋 文 化 史	2
	宗 教 学	2
	人 文 地 理 学	2
	安 全 と 危 機 管 理	2
	現 代 の 国 際 関 係	2
	防 災 と 安 全	2
	文 化 人 類 学	2
	生 態 学	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	環 境 科 学	2
	講座「拓く力」(世界の中の日本)	2
	日 本 国 憲 法	2
	政 治 学	2
	社 会 学	2
	経 済 学	2
	経 営 学	2
	流 通 論	2
	近 代 社 会 の 思 想 史	2
	コ ミ ュ ニ テ イ 論	2
	福 祉 学	2
	ジ ェ ン ダ ー 論	2
	地 球 科 学	2
	物 理 学	2
	化 学	2
	生 物 学	2
	健 康 科 学	2
	天 文 学	2
	自 然 認 識 の 歴 史	2
	技 術 史 ・ 技 術 論	2

C系列 (人間性を高める)	哲			学	2								
	倫		理	学	2								
	論		理	学	2								
	心		理	学	2								
	日	本	文	学	2								
	外	国	文	学	2								
	美			術	2								
	音			楽	2								
	映	像	文	化	論	2							
	伝	統	芸	能	2								
	武		道	論	2								
	考		古	学	2								
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	理	論	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	心	理	学	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	歴	史	と	社	会	2		
	講	座	「	ス	ポ	ー	ツ	と	人	間	」	2	
	ス	ポ	ー	ツ	演	習					1		
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	演	習			1		
D系列 (キャリア形成を行う)	職	業	と	人	生					2			
	文	章	表	現	の	基	礎				2		
	レ	ポ	ー	ト	の	書	き	方			2		
	ビ	ジ	ネ	ス	文	の	書	き	方		2		
	プ	レ	ゼ	ン	テ	ー	シ	ョ	ン	と	交	渉	2
	ロ	頭	表	現	の	技	法				2		
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	論				2		
歴	史	の	中	の	拓	殖	大	学		2			
E系列 (データ活用能力を養う)	A	I	・	デ	ー	タ	サイ	エ	ン	ス	基	礎	2
	I	T	パ	ス	ポ	ー	ト					2	
	情	報	リ	テ	ラ	シ	ー					2	
	数										学	2	
	統					計					学	2	

外国語科目(経営学科・国際ビジネス学科・会計学科共通)

必修外国語科目	英語	Freshman English A I ①
		Freshman English A II ①
		Freshman English B I ①
		Freshman English B II ①
		Basic Business English A I ①
		Basic Business English A II ①
		Basic Business English B I ①
		Basic Business English B II ①
	日本語	☆ 日本語基礎 I (1)
		☆ 日本語基礎 II (1)
		☆ 日本語総合 A I (1)
		☆ 日本語総合 A II (1)
		☆ ビジネス日本語・文化入門 I (2)
		☆ ビジネス日本語・文化入門 II (2)
		☆ アカデミック・日本語 I (1)
		☆ アカデミック・日本語 II (1)
		☆ 日本語総合 B I (1)
		☆ 日本語総合 B II (1)
		☆ ビジネス日本語・文化 I (2)
		☆ ビジネス日本語・文化 II (2)
		☆ キャリアアップ・ビジネス日本語 A I (1)
		☆ キャリアアップ・ビジネス日本語 A II (1)
		☆ キャリアアップ・ビジネス日本語 B I (1)
		☆ キャリアアップ・ビジネス日本語 B II (1)
		☆ スキルアップ・ビジネス日本語 A I (1)
		☆ スキルアップ・ビジネス日本語 A II (1)
		☆ スキルアップ・ビジネス日本語 B I (1)
		☆ スキルアップ・ビジネス日本語 B II (1)
	地域言語	1 年 アラビア語 I (1)
		1 年 アラビア語 II (1)
		2 年 アラビア語 I (1)
		2 年 アラビア語 II (1)
		1 年 ブラジル・ポルトガル語 I (1)
		1 年 ブラジル・ポルトガル語 II (1)
		2 年 ブラジル・ポルトガル語 I (1)
		2 年 ブラジル・ポルトガル語 II (1)
		1 年 中国語 I (1)
		1 年 中国語 II (1)

		2 年 中 国 語 I (1)
		2 年 中 国 語 II (1)
		1 年 フ ラ ン ス 語 I (1)
		1 年 フ ラ ン ス 語 II (1)
		2 年 フ ラ ン ス 語 I (1)
		2 年 フ ラ ン ス 語 II (1)
		1 年 ド イ ツ 語 I (1)
		1 年 ド イ ツ 語 II (1)
		2 年 ド イ ツ 語 I (1)
		2 年 ド イ ツ 語 II (1)
		1 年 ヒ ン デ ィ ー 語 I (1)
		1 年 ヒ ン デ ィ ー 語 II (1)
		2 年 ヒ ン デ ィ ー 語 I (1)
		2 年 ヒ ン デ ィ ー 語 II (1)
		1 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 I (1)
		1 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 II (1)
		2 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 I (1)
		2 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 II (1)
		1 年 韓 国 語 I (1)
		1 年 韓 国 語 II (1)
		2 年 韓 国 語 I (1)
		2 年 韓 国 語 II (1)
		1 年 ロ シ ア 語 I (1)
		1 年 ロ シ ア 語 II (1)
		2 年 ロ シ ア 語 I (1)
		2 年 ロ シ ア 語 II (1)
		1 年 ス ペ イ ン 語 I (1)
		1 年 ス ペ イ ン 語 II (1)
		2 年 ス ペ イ ン 語 I (1)
		2 年 ス ペ イ ン 語 II (1)
選 択 外 国 語 科 目	英 語	Basic English Communication I 2
		Basic English Communication II 2
		Intermediate English Communication I 2
		Intermediate English Communication II 2
		Advanced English Communication I 2
		Advanced English Communication II 2
		Basic English Grammar & Writing 2
		Intermediate English Grammar & Writing 2
		Advanced English Grammar & Writing 2
		Basic English Reading 2

	Intermediate English Reading	2
	Advanced English Reading	2
	Basic English Listening	2
	Intermediate English Listening	2
	Advanced English Listening	2
地 域 言 語	特 修 ア ラ ビ ア 語 中 級 I	1
	特 修 ア ラ ビ ア 語 中 級 II	1
	特 修 ア ラ ビ ア 語 上 級 I	1
	特 修 ア ラ ビ ア 語 上 級 II	1
	特修ブラジル・ポルトガル語中級I	1
	特修ブラジル・ポルトガル語中級II	1
	特修ブラジル・ポルトガル語上級I	1
	特修ブラジル・ポルトガル語上級II	1
	1 年 中 国 語 会 話 I	1
	1 年 中 国 語 会 話 II	1
	2 年 中 国 語 会 話 I	1
	2 年 中 国 語 会 話 II	1
	特 修 中 国 語 中 級 I	1
	特 修 中 国 語 中 級 II	1
	特 修 中 国 語 上 級 I	1
	特 修 中 国 語 上 級 II	1
	1 年 フ ラ ン ス 語 会 話 I	1
	1 年 フ ラ ン ス 語 会 話 II	1
	2 年 フ ラ ン ス 語 会 話 I	1
	2 年 フ ラ ン ス 語 会 話 II	1
	特 修 フ ラ ン ス 語 中 級 I	1
	特 修 フ ラ ン ス 語 中 級 II	1
	特 修 フ ラ ン ス 語 上 級 I	1
	特 修 フ ラ ン ス 語 上 級 II	1
	1 年 ド イ ツ 語 会 話 I	1
	1 年 ド イ ツ 語 会 話 II	1
	2 年 ド イ ツ 語 会 話 I	1
	2 年 ド イ ツ 語 会 話 II	1
	特 修 ド イ ツ 語 中 級 I	1
	特 修 ド イ ツ 語 中 級 II	1
	特 修 ド イ ツ 語 上 級 I	1
	特 修 ド イ ツ 語 上 級 II	1
	特 修 ヒ ン デ ィ ー 語 中 級 I	1
	特 修 ヒ ン デ ィ ー 語 中 級 II	1
	特 修 ヒ ン デ ィ ー 語 上 級 I	1

	特 修 ヒ ン デ ィ ー 語 上 級 II	1
	1 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 会 話 I	1
	1 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 会 話 II	1
	2 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 会 話 I	1
	2 年 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 会 話 II	1
	特 修 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 中 級 I	1
	特 修 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 中 級 II	1
	特 修 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 上 級 I	1
	特 修 イ ン ド ネ シ ア ・ マ レ ー シ ア 語 上 級 II	1
	1 年 韓 国 語 会 話 I	1
	1 年 韓 国 語 会 話 II	1
	2 年 韓 国 語 会 話 I	1
	2 年 韓 国 語 会 話 II	1
	特 修 韓 国 語 中 級 I	1
	特 修 韓 国 語 中 級 II	1
	特 修 韓 国 語 上 級 I	1
	特 修 韓 国 語 上 級 II	1
	特 修 ロ シ ア 語 中 級 I	1
	特 修 ロ シ ア 語 中 級 II	1
	特 修 ロ シ ア 語 上 級 I	1
	特 修 ロ シ ア 語 上 級 II	1
	1 年 ス ペ イ ン 語 会 話 I	1
	1 年 ス ペ イ ン 語 会 話 II	1
	2 年 ス ペ イ ン 語 会 話 I	1
	2 年 ス ペ イ ン 語 会 話 II	1
	特 修 ス ペ イ ン 語 中 級 I	1
	特 修 ス ペ イ ン 語 中 級 II	1
	特 修 ス ペ イ ン 語 上 級 I	1
	特 修 ス ペ イ ン 語 上 級 II	1

初期教育科目(経営学科・国際ビジネス学科・会計学科共通)

初 期 教 育 科 目	ス タ デ ィ ス キ ル ②
	I T リ テ ラ シ ー ②

(経営学科 経営コース)

専門科目

学 部 基 礎 科 目	経 営 学 総 論 I	②
	経 営 学 総 論 II	②
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス A	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス B	2
	会 計 学 入 門 I	2
	会 計 学 入 門 II	2
学 部 共 通 科 目	I T 経 営 基 礎 論	2
	流 通 総 論 A	2
	流 通 総 論 B	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ A	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ B	2
	入 門 国 際 ビ ジ ネ ス	2
	入門ビジネスコミュニケーション	2
	初 級 簿 記 I	2
	初 級 簿 記 II	2
	商 学 部 特 殊 講 義 A	2
	経 営 情 報 演 習	2
	リ サ ー チ ・ リ テ ラ シ ー	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン	2
	商 学 部 特 殊 講 義 B	2
	Intermediate Business EnglishI	2
	Intermediate Business EnglishII	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) II	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン 発 展	2
コ ー ス 基 本 科 目	現 代 企 業 論 A	2
	現 代 企 業 論 B	2
	経 営 統 計 論 A	2
	経 営 統 計 論 B	2

	経 営 史	A	2
	経 営 史	B	2
	アントレプレナーシップ		2
	起 業 論		2
	サステナビリティ経営論		2
	経 営 組 織 論	A	2
	経 営 組 織 論	B	2
	経 営 管 理 総 論	A	②
	経 営 管 理 総 論	B	②
	経 営 戦 略 論	A	2
	経 営 戦 略 論	B	2
	入門イノベーション論		2
	国 際 経 営 論	A	2
	国 際 経 営 論	B	2
	グローバル企業経営論		2
	ビジネスプランニング		2
	サステナビリティビジネス		2
	N P O 論		2
	スポーツマネジメント		2
	コーポレート・ファイナンス	A	2
	コーポレート・ファイナンス	B	2
	コーポレート・ガバナンス論		2
	組 織 行 動 論	A	2
	組 織 行 動 論	B	2
	人 的 資 源 管 理 論	A	2
	人 的 資 源 管 理 論	B	2
	生 産 管 理 論	A	2
	生 産 管 理 論	B	2
	イノベーション論		2
関 連 科 目	情 報 科 学		2
	プログラミング入門		2
	プログラミング	A	2
	民 法 総 論	A	2
	民 法 総 論	B	2
	海 外 語 学 研 修	A	2
	海 外 語 学 研 修	B	2
	インターカルチャー研修	A	1
	インターカルチャー研修	B	1
	経 営 情 報 論		2
	情 報 産 業 論		2

マ ネ ジ メ ン ト サ イ エ ン ス	2
デ ー タ ベ ー ス 論	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ B	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ C	2
ビ ジ ネ ス デ ー タ サ イ エ ン ス	2
電 子 商 取 引 論	2
消 費 者 行 動 論	2
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ リ サ ー チ	2
フ ラ ン チ ャ イ ズ ビ ジ ネ ス 論	2
流 通 産 業 論	2
流 通 情 報 シ ス テ ム 論	2
ブ ラ ン ド 戦 略 基 礎 論	2
サ ー ビ ス ・ マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ A	2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ B	2
観 光 概 論	2
観 光 ビ ジ ネ ス 論	2
ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス 論	2
秘 書 実 務	2
ミ ク ロ 経 済 学	2
マ ク ロ 経 済 学	2
金 融 シ ス テ ム 論 A	2
金 融 シ ス テ ム 論 B	2
中 級 簿 記 I	4
工 業 簿 記 I	4
原 価 管 理 論	2
経 営 分 析 論	2
民 法 各 論 A	2
民 法 各 論 B	2
商 法 (総 則)	2
商 法 (商 行 為)	2
会 社 法 A	2
会 社 法 B	2
経 営 デ ー タ 解 析 基 礎 論	2
経 営 デ ー タ 解 析 実 践 論	2
ナ レ ッ ジ マ ネ ジ メ ン ト	2
I T 戦 略 論	2
ク ラ ウ ド ビ ジ ネ ス	2
デ ジ タ ル マ ー ケ テ ィ ン グ	2
ビ ジ ネ ス ・ ゲ ー ム	2

情 報 シ ス テ ム 論	2
シ ス テ ム 設 計 論	2
情 報 シ ス テ ム 管 理 論	2
知 的 財 産 管 理 論	2
情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2
機 械 学 習 入 門	2
メ デ ィ ア ・ 画 像 技 術	2
国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 A	2
国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 B	2
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ C	2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ D	2
交 通 論 A	2
交 通 論 B	2
国 際 物 流 論 A	2
国 際 物 流 論 B	2
消 費 者 保 護 論	2
国 際 貿 易 論 I	2
国 際 貿 易 論 II	2
ビ ジ ネ ス ・ エ コ ノ ミ ッ ク ス	2
証 券 論 A	2
証 券 論 B	2
保 険 論	2
リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	2
財 務 会 計 論 A	2
財 務 会 計 論 B	2
管 理 会 計 論 A	2
管 理 会 計 論 B	2
企 業 倫 理	2
会 社 法 C	2
経 営 学 科 特 殊 講 義	2
外 書 講 読 A	2
外 書 講 読 B	2

ゼミナール科目

ゼ ミ ナ ー ル 科 目	2 年	ゼ ミ ナ ー ル	4
	3 年	ゼ ミ ナ ー ル	4
	4 年	ゼ ミ ナ ー ル	4
	ゼ ミ ナ ー ル	論 文	4

自由科目

自由科目	職業能力基礎 (SPI) 非言語	2
	職業能力基礎 (SPI) 言語	2
	インターンシップ A	2
	インターンシップ B	2
	海外インターンシップ A	2
	海外インターンシップ B	2
	次の科目区分から選択履修する。	
	全学共通教養科目	
	外国語科目	
	専門科目	
	ゼミナール科目	
	他コース・他学科・他学部科目	
	教職課程科目	
	単位互換協定に基づく単位互換科目	

(経営学科 IT 経営コース)

専門科目

学 部 基 礎 科 目	経 営 学 総 論 I	2
	経 営 学 総 論 II	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス A	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス B	2
	会 計 学 入 門 I	2
	会 計 学 入 門 II	2
学 部 共 通 科 目	I T 経 営 基 礎 論	②
	流 通 総 論 A	2
	流 通 総 論 B	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ A	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ B	2
	入 門 国 際 ビ ジ ネ ス	2
	入門ビジネスコミュニケーション	2
	初 級 簿 記 I	2
	初 級 簿 記 II	2
	商 学 部 特 殊 講 義 A	2
	経 営 情 報 演 習	2
	リ サ ー チ ・ リ テ ラ シ ー	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン	2
	商 学 部 特 殊 講 義 B	2
	Intermediate Business EnglishI	2
	Intermediate Business EnglishII	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) II	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン 発 展	2
コ ー ス 基 本 科 目	情 報 科 学	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ A	2
	経 営 統 計 論 A	2

	経営統計論	B	2
	経営情報論	②	
	情報産業論		2
	マネジメントサイエンス		2
	電子商取引論		2
	ビジネスデータサイエンス		2
	プログラミング	B	2
	プログラミング	C	2
	データベース論		2
	経営組織論	A	2
	経営組織論	B	2
	経営管理総論	A	2
	経営管理総論	B	2
	経営戦略論	A	2
	経営戦略論	B	2
	IT戦略論		2
	クラウドビジネス		2
	デジタルマーケティング		2
	経営データ解析基礎論		2
	経営データ解析実践論		2
	ナレッジマネジメント		2
	ビジネス・ゲーム		2
	知的財産管理論		2
	情報システム論		2
	システム設計論		2
	情報システム管理論		2
	情報セキュリティ		2
	機械学習入門		2
	メディア・画像技術		2
関 連 科 目	現代企業論	A	2
	現代企業論	B	2
	民法総論	A	2
	民法総論	B	2
	海外語学研修	A	2
	海外語学研修	B	2
	インターカルチャー研修	A	1
	インターカルチャー研修	B	1
	経営史	A	2
	経営史	B	2
	アントレプレナーシップ		2

起	業	論	2
入 門	イ ノ ベ ー シ ョ ン	論	2
サ ス テ ナ ビ リ テ ィ	経 営	論	2
消 費 者	行 動	論	2
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ リ サ ー チ			2
フ ラ ン チ ャ イ ズ ビ ジ ネ ス		論	2
流 通 情 報 シ ス テ ム		論	2
流 通 産 業		論	2
ブ ラ ン ド 戦 略 基 礎		論	2
サ ー ビ ス ・ マ ー ケ テ ィ ン グ		論	2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ	A		2
リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ	B		2
ミ ク ロ	経 済 学		2
マ ク ロ	経 済 学		2
観 光	概 論		2
観 光 ビ ジ ネ ス		論	2
ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス		論	2
秘 書 実 務			2
中 級 簿 記	I		4
工 業 簿 記	I		4
原 価 管 理	論		2
経 営 分 析	論		2
民 法 各 論	A		2
民 法 各 論	B		2
商 法 (総 則)			2
商 法 (商 行 為)			2
会 社 法	A		2
会 社 法	B		2
国 際 経 営 論	A		2
国 際 経 営 論	B		2
グ ロ ー バ ル 企 業 経 営 論			2
サ ス テ ナ ビ リ テ ィ ビ ジ ネ ス			2
N P O	論		2
ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト			2
コ ー ポ レ ー ト ・ フ ァ イ ナ ン ス	A		2
コ ー ポ レ ー ト ・ フ ァ イ ナ ン ス	B		2
コ ー ポ レ ー ト ・ ガ バ ナ ン ス	論		2
組 織 行 動 論	A		2
組 織 行 動 論	B		2
人 的 資 源 管 理 論	A		2

	人 的 資 源 管 理 論 B	2
	イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2
	ビ ジ ネ ス プ ラ ン ニ ン グ	2
	生 産 管 理 論 A	2
	生 産 管 理 論 B	2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 A	2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 B	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ C	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ D	2
	交 通 論 A	2
	交 通 論 B	2
	国 際 物 流 論 A	2
	国 際 物 流 論 B	2
	消 費 者 保 護 論	2
	国 際 貿 易 論 I	2
	国 際 貿 易 論 II	2
	ビ ジ ネ ス ・ エ コ ノ ミ ッ ク ス	2
	管 理 会 計 論 A	2
	管 理 会 計 論 B	2
	企 業 倫 理	2
	会 社 法 C	2
	経 営 学 科 特 殊 講 義	2
	外 書 講 読 A	2
	外 書 講 読 B	2

ゼミナール科目

ゼ ミ ナ ー ル 科 目	2 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	3 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	4 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	ゼ ミ ナ ー ル 論 文	4

自由科目

自 由 科 目	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ A	2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ B	2
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ A	2

	海外インターンシップ B 2
	次の科目区分から選択履修する。
	全学共通教養科目
	外国語科目
	専門科目
	ゼミナール科目
	他コース・他学科・他学部科目
	教職課程科目
	単位互換協定に基づく単位互換科目

(経営学科 流通マーケティングコース)

専門科目

学 部 基 礎 科 目	経 営 学 総 論 I	2
	経 営 学 総 論 II	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス A	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス B	2
	会 計 学 入 門 I	2
	会 計 学 入 門 II	2
学 部 共 通 科 目	I T 経 営 基 礎 論	2
	流 通 総 論 A	②
	流 通 総 論 B	②
	マ ー ケ テ ィ ン グ A	②
	マ ー ケ テ ィ ン グ B	②
	入 門 国 際 ビ ジ ネ ス	2
	入門ビジネスコミュニケーション	2
	初 級 簿 記 I	2
	初 級 簿 記 II	2
	商 学 部 特 殊 講 義 A	2
	経 営 情 報 演 習	2
	リ サ ー チ ・ リ テ ラ シ ー	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン	2
	商 学 部 特 殊 講 義 B	2
	Intermediate Business EnglishI	2
	Intermediate Business EnglishII	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) II	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン 発 展	2
コ ー ス 基 本 科 目	消 費 者 行 動 論	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ ・ リ サ ー チ	2
	フ ラ ン チ ャ イ ズ ビ ジ ネ ス 論	2
	電 子 商 取 引 論	2

	流 通 産 業 論	2
	流 通 情 報 シ ス テ ム 論	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ 戦 略 実 践 論	2
	ブ ラ ン ド 戦 略 基 礎 論	2
	ブ ラ ン ド 戦 略 実 践 論	2
	サ ー ビ ス ・ マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ A	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ B	2
	流 通 マ ー ケ テ ィ ン グ 特 殊 講 義	2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 A	2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 B	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ C	2
	リ テ ー ル マ ー ケ テ ィ ン グ D	2
	デ ジ タ ル マ ー ケ テ ィ ン グ	2
	交 通 論 A	2
	交 通 論 B	2
	国 際 物 流 論 A	2
	国 際 物 流 論 B	2
	消 費 者 保 護 論	2
	国 際 貿 易 論 I	2
	国 際 貿 易 論 II	2
関 連 科 目	現 代 企 業 論 A	2
	現 代 企 業 論 B	2
	経 営 統 計 論 A	2
	経 営 統 計 論 B	2
	情 報 科 学	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ A	2
	民 法 総 論 A	2
	民 法 総 論 B	2
	海 外 語 学 研 修 A	2
	海 外 語 学 研 修 B	2
	イ ン タ ー カ ル チ ャ ー 研 修 A	1
	イ ン タ ー カ ル チ ャ ー 研 修 B	1
	経 営 史 A	2
	経 営 史 B	2
	ア ン ト レ プ レ ナ ー シ ッ プ	2
	起 業 論	2
	経 営 組 織 論 A	2

経 営 組 織 論	B	2
経 営 管 理 総 論	A	2
経 営 管 理 総 論	B	2
経 営 戦 略 論	A	2
経 営 戦 略 論	B	2
入 門 イ ノ ベ ー シ ョ ン 論		2
サ ス テ ナ ビ リ テ ィ 経 営 論		2
経 営 情 報 論		2
情 報 産 業 論		2
マ ネ ジ メ ン ト サ イ エ ン ス		2
デ ー タ ベ ー ス 論		2
プ ロ グ ラ ミ ン グ	B	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ	C	2
ビ ジ ネ ス デ ー タ サ イ エ ン ス		2
ミ ク ロ 経 済 学		2
マ ク ロ 経 済 学		2
金 融 シ ス テ ム 論	A	2
金 融 シ ス テ ム 論	B	2
観 光 概 論		2
観 光 ビ ジ ネ ス 論		2
ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス 論		2
秘 書 実 務		2
中 級 簿 記	I	4
工 業 簿 記	I	4
原 価 管 理 論		2
経 営 分 析 論		2
民 法 各 論	A	2
民 法 各 論	B	2
商 法 (総 則)		2
商 法 (商 行 為)		2
会 社 法	A	2
会 社 法	B	2
国 際 経 営 論	A	2
国 際 経 営 論	B	2
グ ロ ー バ ル 企 業 経 営 論		2
ビ ジ ネ ス プ ラ ン ニ ン グ		2
サ ス テ ナ ビ リ テ ィ ビ ジ ネ ス		2
N P O 論		2
ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト		2
コーポレート・ファイナンス	A	2

	コーポレート・ファイナンス B	2
	コーポレート・ガバナンス 論	2
	組 織 行 動 論 A	2
	組 織 行 動 論 B	2
	人 的 資 源 管 理 論 A	2
	人 的 資 源 管 理 論 B	2
	生 産 管 理 論 A	2
	生 産 管 理 論 B	2
	イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	2
	ク ラ ウ ド ビ ジ ネ ス	2
	経 営 デ ー タ 解 析 基 礎 論	2
	経 営 デ ー タ 解 析 実 践 論	2
	ナ レ ッ ジ マ ネ ジ メ ン ト	2
	ビ ジ ネ ス ・ ゲ ー ム	2
	情 報 シ ス テ ム 論	2
	シ ス テ ム 設 計 論	2
	情 報 シ ス テ ム 管 理 論	2
	知 的 財 産 管 理 論	2
	情 報 セ キ ュ リ テ ィ	2
	機 械 学 習 入 門	2
	メ デ ィ ア ・ 画 像 技 術	2
	ビ ジ ネ ス ・ エ コ ノ ミ ッ ク ス	2
	証 券 論 A	2
	証 券 論 B	2
	保 険 論	2
	リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	2
	会 社 法 C	2
	経 営 学 科 特 殊 講 義	2
	外 書 講 読 A	2
	外 書 講 読 B	2

ゼミナール科目

ゼ ミ ナ ー ル 科 目	2 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	3 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	4 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	ゼ ミ ナ ー ル 論 文	4

自由科目

自由科目	職業能力基礎 (SPI) 非言語	2
	職業能力基礎 (SPI) 言語	2
	インターンシップ A	2
	インターンシップ B	2
	海外インターンシップ A	2
	海外インターンシップ B	2
	次の科目区分から選択履修する。	
	全学共通教養科目	
	外国語科目	
	専門科目	
	ゼミナール科目	
	他コース・他学科・他学部科目	
	教職課程科目	
	単位互換協定に基づく単位互換科目	

(国際ビジネス学科)

専門科目

学 部 基 礎 科 目	経 営 学 総 論 I	2
	経 営 学 総 論 II	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス A	2
	入 門 エ コ ノ ミ ッ ク ス B	2
	会 計 学 入 門 I	2
	会 計 学 入 門 II	2
学 部 共 通 科 目	入 門 国 際 ビ ジ ネ ス	②
	入門ビジネスコミュニケーション	②
	I T 経 営 基 礎 論	2
	流 通 総 論 A	2
	流 通 総 論 B	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ A	2
	マ ー ケ テ ィ ン グ B	2
	初 級 簿 記 I	2
	初 級 簿 記 II	2
	商 学 部 特 殊 講 義 A	2
	経 営 情 報 演 習	2
	リ サ ー チ ・ リ テ ラ シ ー	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン	2
	商 学 部 特 殊 講 義 B	2
	Intermediate Business EnglishI	②
	Intermediate Business EnglishII	②
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (中 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (フ ラ ン ス 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ド イ ツ 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (韓 国 語) II	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) I	2
	ビ ジ ネ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (ス ペ イ ン 語) II	2
	キ ャ リ ア デ ザ イン 発 展	2
学 科 基 本 科 目	サ ー ビ ス 企 業 論	2
	ホ ス ピ タ リ テ ィ ・ ビ ジ ネ ス 論	2
	基 礎 国 際 貿 易 論	2
	異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2

貿 易 実 務 論	2
旅 行 業 講 座 A	2
旅 行 業 講 座 B	2
メディアコミュニケーション論	2
ビジネスプレゼンテーション	2
貿 易 理 論	2
貿 易 政 策 論	2
通 関 業 講 座 A	2
通 関 業 講 座 B	2
グローバル・サプライチェーン	2
国 際 物 流 論 A	2
国 際 物 流 論 B	2
国 際 市 場 戦 略 論 A	2
国 際 市 場 戦 略 論 B	2
国 際 金 融 シ ス テ ム 論 A	2
国 際 金 融 シ ス テ ム 論 B	2
高 齢 者 市 場 ビ ジ ネ ス 論	2
観 光 概 論	2
観 光 ビ ジ ネ ス 論	2
レ ジ ャ ー 産 業 論 A	2
レ ジ ャ ー 産 業 論 B	2
組 織 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 A	2
組 織 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 B	2
Basic Business English R & W I	2
Basic Business English R & W II	2
Basic International Business in English I	2
Basic International Business in English II	2
Basic English Business Presentation I	2
Basic English Business Presentation II	2
国 際 貿 易 論 I	2
国 際 貿 易 論 II	2
国 際 経 営 論 A	2
国 際 経 営 論 B	2
国 際 通 商 戦 略 論 A	2
国 際 通 商 戦 略 論 B	2
コ ン テ ン ツ ビ ジ ネ ス 論	2
外 国 為 替 実 務 論 A	2
外 国 為 替 実 務 論 B	2
保 険 論	2
リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	2

	証 券 論 A	2
	証 券 論 B	2
	国際ビジネスコミュニケーション論 A	2
	国際ビジネスコミュニケーション論 B	2
	国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2
	国 際 ビ ジ ネ ス 交 渉 論	2
	Advanced Studies of Business English I	2
	Advanced Studies of Business English II	2
	Advanced Business English R & W I	2
	Advanced Business English R & W II	2
	Advanced International Business in English I	2
	Advanced International Business in English II	2
	Advanced English Business Presentation I	2
	Advanced English Business Presentation II	2
関 連 科 目	現 代 企 業 論 A	2
	現 代 企 業 論 B	2
	経 営 統 計 論 A	2
	経 営 統 計 論 B	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ A	2
	民 法 総 論 A	2
	民 法 総 論 B	2
	世界の地域社会と生活（イギリス）	2
	世界の地域社会と生活（韓国語圏）	2
	世界の地域社会と生活（南アジア）	2
	世界の地域社会と生活（ドイツ語圏）	2
	世界の地域社会と生活（ポルトガル語圏）	2
	世界の地域社会と生活（中国語圏）	2
	世界の地域社会と生活（アメリカ）	2
	世界の地域社会と生活（スペイン語圏）	2
	海 外 語 学 研 修 A	2
	海 外 語 学 研 修 B	2
	インターカルチャー研修 A	1
	インターカルチャー研修 B	1
	経 営 管 理 総 論 A	2
	経 営 管 理 総 論 B	2
	経 営 組 織 論 A	2
	経 営 組 織 論 B	2
	経 営 戦 略 論 A	2
	経 営 戦 略 論 B	2

アントレプレナーシップ	2
起業論	2
入門イノベーション論	2
消費者行動論	2
マーケティング・リサーチ	2
フランチャイズビジネス論	2
流通産業論	2
中級簿記 I	4
工業簿記 I	4
原価管理論	2
経営分析論	2
民法各論 A	2
民法各論 B	2
商法（総則）	2
商法（商行為）	2
ミクロ経済学	2
マクロ経済学	2
金融システム論 A	2
金融システム論 B	2
秘書実務	2
国際ビジネス特殊講義	2
グローバル企業経営論	2
ビジネスプランニング	2
サステナビリティ経営論	2
サステナビリティビジネス	2
N P O 論	2
コーポレート・ファイナンス A	2
コーポレート・ファイナンス B	2
人的資源管理論 A	2
人的資源管理論 B	2
生産管理論 A	2
生産管理論 B	2
イノベーション論	2
経営データ解析基礎論	2
経営データ解析実践論	2
マーケティング・コミュニケーション	2
消費者保護論	2
財務会計論 A	2
財務会計論 B	2
外書講読 A	2

	外 書 講 読 B 2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 A 2
	国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 B 2
	交 通 論 A 2
	交 通 論 B 2
	中 級 簿 記 II 2
	工 業 簿 記 II 2
	ビ ジ ネ ス ・ エ コ ノ ミ ッ ク ス 2
教 職 課 程 関 連 科 目	日 本 史 概 論 I 2
	日 本 史 概 論 II 2
	外 国 史 概 論 I 2
	外 国 史 概 論 II 2
	人 文 地 理 学 概 論 I 2
	人 文 地 理 学 概 論 II 2
	自 然 地 理 学 概 論 I 2
	自 然 地 理 学 概 論 II 2
	地 誌 学 概 論 I 2
	地 誌 学 概 論 II 2
	社 会 学 概 論 2
	法 学 概 論 2
	政 治 学 概 論 2

ゼミナール科目

ゼ ミ ナ ー ル 科 目	2 年 ゼ ミ ナ ー ル 4
	3 年 ゼ ミ ナ ー ル 4
	4 年 ゼ ミ ナ ー ル 4
	ゼ ミ ナ ー ル 論 文 4

自由科目

自 由 科 目	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語 2
	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語 2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ A 2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ B 2
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ A 2
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ B 2
	次の科目区分から選択履修する。
	全 学 共 通 教 養 科 目
	外 国 語 科 目

専	門	科	目
ゼ	ミ	ナ	ー
他	学	科	・
他	学	部	科
教	職	課	程
単	位	互	換
協	定	に	基
づ	く	単	位
互	換	科	目

(会計学科)

専門科目

学部基礎科目	経営学総論 I	2
	経営学総論 II	2
	入門エコノミックス A	2
	入門エコノミックス B	2
	会計学入門 I	②
	会計学入門 II	②
学部共通科目	初級簿記	④
	I T 経営基礎論	2
	流通総論 A	2
	流通総論 B	2
	マーケティング A	2
	マーケティング B	2
	入門国際ビジネス	2
	入門ビジネスコミュニケーション	2
	商学部特殊講義 A	2
	経営情報演習	2
	リサーチ・リテラシー	2
	キャリアデザイン	2
	商学部特殊講義 B	2
	Intermediate Business English I	2
	Intermediate Business English II	2
	ビジネス・コミュニケーション（中国語）I	2
	ビジネス・コミュニケーション（中国語）II	2
	ビジネス・コミュニケーション（フランス語）I	2
	ビジネス・コミュニケーション（フランス語）II	2
	ビジネス・コミュニケーション（ドイツ語）I	2
	ビジネス・コミュニケーション（ドイツ語）II	2
	ビジネス・コミュニケーション（韓国語）I	2
	ビジネス・コミュニケーション（韓国語）II	2
	ビジネス・コミュニケーション（スペイン語）I	2
	ビジネス・コミュニケーション（スペイン語）II	2
	キャリアデザイン発展	2
学科基本科目	中級簿記 I	④
	工業簿記 I	④
	経営分析論	2
	会計学特殊講義 A	2
	民法総論 A	2
	民法総論 B	2
	中級簿記 II	②
	工業簿記 II	②
	上級簿記	2

	財	務	諸	表	論	I	2
	財	務	諸	表	論	II	2
	原	価	計	算	論		2
	租	税	法	概	論	A	2
	租	税	法	概	論	B	2
	会	計	学	特	殊	講	義
	ミ	ク	ロ	経	済	学	2
	マ	ク	ロ	経	済	学	2
	商	法	(	総	則	)	2
	商	法	(	商	行	為	)
	民	法	各	論		A	2
	民	法	各	論		B	2
	会		社	法		A	2
	会		社	法		B	2
	財	務	会	計	論	A	2
	財	務	会	計	論	B	2
	管	理	会	計	論	A	2
	管	理	会	計	論	B	2
	国	際	会	計	論	A	2
	国	際	会	計	論	B	2
	税	務	会	計	論	A	2
	税	務	会	計	論	B	2
	所		得	税	法		2
	法		人	税	法		2
	相		続	税	法		2
	消		費	税	法		2
	会	計	監	査	論	A	2
	会	計	監	査	論	B	2
	財	務	諸	表	分	析	論
	会	計	学	特	殊	講	義
	会	計	学	特	殊	講	義
	コー	ポ	レート	・	ファイ	ナンス	A
	コー	ポ	レート	・	ファイ	ナンス	B
	会		社		法		C
	企		業		倫		理
関連科目	現	代	企	業	論	A	2
	現	代	企	業	論	B	2
	経	営	統	計	論	A	2
	経	営	統	計	論	B	2
	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ
	プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ
	海	外	語	学	研	修	A
	海	外	語	学	研	修	B
	海	外	語	学	研	修	B

インターカルチャー研修	A	1
インターカルチャー研修	B	1
経営組織論	A	2
経営組織論	B	2
経営管理総論	A	2
経営管理総論	B	2
経営戦略論	A	2
経営戦略論	B	2
入門イノベーション論		2
アントレプレナーシップ		2
起業論		2
消費者行動論		2
マーケティング・リサーチ		2
フランチャイズビジネス論		2
電子商取引論		2
流通産業論		2
ブランド戦略基礎論		2
金融システム論	A	2
金融システム論	B	2
国際金融システム論	A	2
国際金融システム論	B	2
支払決済法		2
国際経営論	A	2
国際経営論	B	2
グローバル企業経営論		2
ビジネスプランニング		2
サステナビリティビジネス		2
サステナビリティ経営論		2
N P O 論		2
コーポレート・ガバナンス論		2
人的資源管理論	A	2
人的資源管理論	B	2
生産管理論	A	2
生産管理論	B	2
イノベーション論		2
経営データ解析基礎論		2
経営データ解析実践論		2
交通論	A	2
交通論	B	2
消費者保護論		2
国際貿易論	I	2
国際貿易論	II	2
外国為替実務論	A	2

	外 国 為 替 実 務 論 B	2
	保 険 論	2
	リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	2
	証 券 論 A	2
	証 券 論 B	2
	ビ ジ ネ ス エ コ ノ ミ ッ ク ス	2

ゼミナール科目

ゼ ミ ナ ー ル 科 目	2 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	3 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	4 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
	ゼ ミ ナ ー ル 論 文	4

自由科目

自 由 科 目	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ A	2
	イ ン タ ー ン シ ッ プ B	2
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ A	2
	海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ B	2
	次の科目区分から選択履修する。	
	全 学 共 通 教 養 科 目	
	外 国 語 科 目	
	専 門 科 目	
	ゼ ミ ナ ー ル 科 目	
	他 学 科 ・ 他 学 部 科 目	
	教 職 課 程 科 目	
	単位互換協定に基づく単位互換科目	

政 経 学 部

必修 数字白ヌキ
選択必修 数字()印
外国人留学生 ☆印

全学共通教養科目(法律政治学科・経済学科共通)

A系列 (国際性を高める)	S D G s 基 礎	2
	日 本 史	2
	東 洋 史	2
	イスラム社会の歴史と文化	2
	西 洋 史	2
	西 洋 文 化 史	2
	宗 教 学	2
	人 文 地 理 学	2
	安 全 と 危 機 管 理	2
	現 代 の 国 際 関 係	2
	防 災 と 安 全	2
	文 化 人 類 学	2
	生 態 学	2
	環 境 科 学	2
	講座「拓く力」(世界の中の日本)	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	日 本 国 憲 法	2
	政 治 学	2
	社 会 学	2
	経 済 学	2
	経 営 学	2
	流 通 論	2
	近 代 社 会 の 思 想 史	2
	コ ミ ュ ニ テ イ 論	2
	福 祉 学	2
	ジ ェ ン ダ ー 論	2
	地 球 科 学	2
	物 理 学	2
	化 学	2
	生 物 学	2
	健 康 科 学	2
	天 文 学	2
	自 然 認 識 の 歴 史	2
	技 術 史 ・ 技 術 論	2
C系列	哲 学	2

(人間性を高める)	倫	理	学	2
	論	理	学	2
	心	理	学	2
	日	本	文	2
	外	国	文	2
	美		術	2
	音		楽	2
	映	像	文	2
	伝	統	芸	2
	武	道	論	2
	考	古	学	2
	ト	レー	ニング	2
	ス	ポ	ーツ	2
	ス	ポ	ーツ	2
	講	座	「ス	2
	ス	ポ	ーツ	1
	ト	レー	ニング	1
D系列 (キャリア形成を行う)	職	業	と	2
	文	章	表	2
	レ	ポ	ート	2
	ビ	ジ	ネ	2
	プ	レ	ゼ	2
	口	頭	表	2
	ボ	ラ	ン	2
	歴	史	の	2
E系列 (データ活用能力を養う)	A	I	・	2
	I	T	パ	2
	情	報	リ	2
	数			2
	統	計		2

全学共通教養科目(社会安全学科)

A系列 (国際性を高める)	S	D	G	s	基	礎	2
	日				本	史	2
	東				洋	史	2
	西				洋	史	2
	西	洋			文	化	2
	宗				教	学	2
	人	文			地	理	2
	現	代	の		国	際	2
	防	災			と	安	2
	文	化			人	類	2
	生				態	学	2
	環		境		科	学	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	日		本		国	憲	2
	政				治	学	2
	社				会	学	2
	経				済	学	2
	流				通	論	2
	近	代	社	会	の	思	2
	コ	ミ	ュ	ニ	テ	イ	2
	健		康		科	学	2
C系列 (人間性を高める)	哲					学	2
	倫				理	学	2
	論				理	学	2
	心				理	学	2
	外		国		文	学	2
	美					術	2
	音					楽	2
	映		像		文	化	2
	武				道	論	2
	ス	ポ	ー	ツ	の	心	2
	ス	ポ	ー	ツ	の	歴	2
	ス	ポ	ー	ツ	演	習	1
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	1
D系列 (キャリア形成を行う)	職		業		と	人	2
	文		章		表	現	2
	レ		ポ		ー	ト	2
	ビ		ジ		ネ	ス	2
	プ		レ		ゼ	ン	2

	口 頭 表 現 の 技 法	2
	ボ ラ ン テ ィ ア 論	2
	歴 史 の 中 の 拓 殖 大 学	2
E系列 (データ活用能力を養う)	A I ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2
	I T パ ス ポ ー ト	2
	情 報 リ テ ラ シ ー	2
	数 学	2
	統 計 学	2

外国語科目(法律政治学科・経済学科共通)

必修外国語科目	英語	1 年 英語 ① I ①
		1 年 英語 ① II ①
		1 年 英語 ② I ①
		1 年 英語 ② II ①
		2 年 英語 ① I (1)
		2 年 英語 ① II (1)
		2 年 英語 ② I (1)
		2 年 英語 ② II (1)
	地域言語	1 年 アラビア語 I (1)
		1 年 アラビア語 II (1)
		2 年 アラビア語 I (1)
		2 年 アラビア語 II (1)
		1 年 ブラジル・ポルトガル語 I (1)
		1 年 ブラジル・ポルトガル語 II (1)
		2 年 ブラジル・ポルトガル語 I (1)
		2 年 ブラジル・ポルトガル語 II (1)
		1 年 中国語 I (1)
		1 年 中国語 II (1)
		2 年 中国語 I (1)
		2 年 中国語 II (1)
		1 年 フランス語 I (1)
		1 年 フランス語 II (1)
		2 年 フランス語 I (1)
		2 年 フランス語 II (1)
		1 年 ドイツ語 I (1)
		1 年 ドイツ語 II (1)
		2 年 ドイツ語 I (1)
2 年 ドイツ語 II (1)		
1 年 ヒンディー語 I (1)		
1 年 ヒンディー語 II (1)		
2 年 ヒンディー語 I (1)		
2 年 ヒンディー語 II (1)		
1 年 インドネシア・マレーシア語 I (1)		
1 年 インドネシア・マレーシア語 II (1)		
2 年 インドネシア・マレーシア語 I (1)		
2 年 インドネシア・マレーシア語 II (1)		
1 年 韓国語 I (1)		
1 年 韓国語 II (1)		

		2 年 韓 国 語 I (1) 2 年 韓 国 語 II (1) 1 年 ロ シ ア 語 I (1) 1 年 ロ シ ア 語 II (1) 2 年 ロ シ ア 語 I (1) 2 年 ロ シ ア 語 II (1) 1 年 ス ペ イ ン 語 I (1) 1 年 ス ペ イ ン 語 II (1) 2 年 ス ペ イ ン 語 I (1) 2 年 ス ペ イ ン 語 II (1)
	日 本 語	☆ 1 年 日 本 語 ① I (1) ☆ 1 年 日 本 語 ① II (1) ☆ 1 年 日 本 語 ② I (1) ☆ 1 年 日 本 語 ② II (1) ☆ 1 年 専 門 日 本 語 I (1) ☆ 1 年 専 門 日 本 語 II (1) ☆ 2 年 日 本 語 ① I (1) ☆ 2 年 日 本 語 ① II (1) ☆ 2 年 日 本 語 ② I (1) ☆ 2 年 日 本 語 ② II (1) ☆ 2 年 専 門 日 本 語 I (1) ☆ 2 年 専 門 日 本 語 II (1) ☆ 3 年 ビ ジ ネ ス 日 本 語 I (1) ☆ 3 年 ビ ジ ネ ス 日 本 語 II (1) ☆ 日 本 の 社 会 と 文 化 I (2) ☆ 日 本 の 社 会 と 文 化 II (2)
選 択 外 国 語 科 目	英 語	資 格 ・ 検 定 英 語 I 1 資 格 ・ 検 定 英 語 II 1 実 践 英 語 I 1 実 践 英 語 II 1
	地 域 言 語	特 修 ア ラ ビ ア 語 中 級 I 1 特 修 ア ラ ビ ア 語 中 級 II 1 特 修 ア ラ ビ ア 語 上 級 I 1 特 修 ア ラ ビ ア 語 上 級 II 1 特 修 ブラジル・ポルトガル語中級 I 1 特 修 ブラジル・ポルトガル語中級 II 1 特 修 ブラジル・ポルトガル語上級 I 1 特 修 ブラジル・ポルトガル語上級 II 1 1 年 中 国 語 会 話 I 1 1 年 中 国 語 会 話 II 1

	2	年	中	国	語	会	話	I	1										
	2	年	中	国	語	会	話	II	1										
	特	修	中	国	語	中	級	I	1										
	特	修	中	国	語	中	級	II	1										
	特	修	中	国	語	上	級	I	1										
	特	修	中	国	語	上	級	II	1										
	1	年	フ	ラ	ン	ス	語	会	話	I	1								
	1	年	フ	ラ	ン	ス	語	会	話	II	1								
	2	年	フ	ラ	ン	ス	語	会	話	I	1								
	2	年	フ	ラ	ン	ス	語	会	話	II	1								
	特	修	フ	ラ	ン	ス	語	中	級	I	1								
	特	修	フ	ラ	ン	ス	語	中	級	II	1								
	特	修	フ	ラ	ン	ス	語	上	級	I	1								
	特	修	フ	ラ	ン	ス	語	上	級	II	1								
	1	年	ド	イ	ツ	語	会	話	I	1									
	1	年	ド	イ	ツ	語	会	話	II	1									
	2	年	ド	イ	ツ	語	会	話	I	1									
	2	年	ド	イ	ツ	語	会	話	II	1									
	特	修	ド	イ	ツ	語	中	級	I	1									
	特	修	ド	イ	ツ	語	中	級	II	1									
	特	修	ド	イ	ツ	語	上	級	I	1									
	特	修	ド	イ	ツ	語	上	級	II	1									
	特	修	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	中	級	I	1							
	特	修	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	中	級	II	1							
	特	修	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	上	級	I	1							
	特	修	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	上	級	II	1							
	1	年	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	会	話	I	1
	1	年	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	会	話	II	1
	2	年	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	会	話	I	1
	2	年	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	会	話	II	1
	特	修	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	中	級	I	1
	特	修	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	中	級	II	1
	特	修	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	上	級	I	1
	特	修	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	・	マ	レ	ー	シ	ア	語	上	級	II	1
	1	年	韓	国	語	会	話	I	1										
	1	年	韓	国	語	会	話	II	1										
	2	年	韓	国	語	会	話	I	1										
	2	年	韓	国	語	会	話	II	1										
	特	修	韓	国	語	中	級	I	1										
	特	修	韓	国	語	中	級	II	1										

		特 修 韓 国 語 上 級 I	1
		特 修 韓 国 語 上 級 II	1
		特 修 ロ シ ア 語 中 級 I	1
		特 修 ロ シ ア 語 中 級 II	1
		特 修 ロ シ ア 語 上 級 I	1
		特 修 ロ シ ア 語 上 級 II	1
	1 年	ス ペ イ ン 語 会 話 I	1
	1 年	ス ペ イ ン 語 会 話 II	1
	2 年	ス ペ イ ン 語 会 話 I	1
	2 年	ス ペ イ ン 語 会 話 II	1
	特 修	ス ペ イ ン 語 中 級 I	1
	特 修	ス ペ イ ン 語 中 級 II	1
	特 修	ス ペ イ ン 語 上 級 I	1
	特 修	ス ペ イ ン 語 上 級 II	1

外国語科目(社会安全学科)

外国語科目	第一外国語(英語)	1	年	英	語	①	I	①					
		1	年	英	語	①	II	①					
		1	年	英	語	②	I	①					
		1	年	英	語	②	II	①					
		2	年	英	語	①	I	1					
		2	年	英	語	①	II	1					
		2	年	英	語	②	I	1					
		2	年	英	語	②	II	1					
	第二外国語	1	年	中	国	語	I	1					
		1	年	中	国	語	II	1					
		2	年	中	国	語	I	1					
		2	年	中	国	語	II	1					
		1	年	韓	国	語	I	1					
		1	年	韓	国	語	II	1					
		2	年	韓	国	語	I	1					
		2	年	韓	国	語	II	1					
		1	年	ス	ペ	イ	ン	語	I	1			
		1	年	ス	ペ	イ	ン	語	II	1			
		2	年	ス	ペ	イ	ン	語	I	1			
		2	年	ス	ペ	イ	ン	語	II	1			
		第二外国語(日本語)	☆	1	年	日	本	語	①	I(留学生)	1		
			☆	1	年	日	本	語	①	II(留学生)	1		
	☆		1	年	日	本	語	②	I(留学生)	1			
	☆		1	年	日	本	語	②	II(留学生)	1			
	☆		2	年	日	本	語	①	I(留学生)	1			
	☆		2	年	日	本	語	①	II(留学生)	1			
	☆		2	年	日	本	語	②	I(留学生)	1			
	☆		2	年	日	本	語	②	II(留学生)	1			
	☆		3	年	ビ	ジ	ネ	ス	日	本	語	I(留学生)	1
	☆		3	年	ビ	ジ	ネ	ス	日	本	語	II(留学生)	1
	☆		1	年	専	門	日	本	語	I(留学生)	1		
	☆		1	年	専	門	日	本	語	II(留学生)	1		
	☆		2	年	専	門	日	本	語	I(留学生)	1		
	☆		2	年	専	門	日	本	語	II(留学生)	1		
	☆	日	本	の	社	会	と	文	化	I(留学生)	2		
	☆	日	本	の	社	会	と	文	化	II(留学生)	2		

専門科目(法律政治学科)

基 礎 科 目			ア カ デ ミ ッ ク ・ ス キ ル ②	
			法 学 入 門	2
			政 治 学 入 門	2
			行 政 学 入 門	2
			国 際 関 係 入 門	2
			経 済 学 入 門 (歴 史 的 視 点)	2
			経 済 学 入 門 (国 際 的 視 点)	2
			統 計 入 門	2
			哲 学 ・ 思 想 入 門	2
			政 経 数 学 入 門	2
			海 外 事 情 入 門	2
プ ロ グ ラ ム 必 修 科 目			地 域 研 究 総 論	2
			講 座 「 S D G s 」	2
			デ ー タ サ イ エ ン ス ・ A I 概 論	2
演 習 科 目			2 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
			3 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
			4 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
			ゼ ミ ナ ー ル 論 文	4
			基 礎 外 書 講 読 A	2
			基 礎 外 書 講 読 B	2
			外 書 講 読 A	2
			外 書 講 読 B	2
課 題 解 決 型 科 目			実 践 グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ	2
			実 践 S D G s	2
			実 践 デ ー タ 解 析	2
研 修 ・ ア ク テ ィ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 科 目			海 外 研 修	2
			国 内 研 修	2
			多 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2
			キ ャ リ ア デ ザ イ ン	2
			シ テ ィ ズ ン シ ッ プ	2
			グ ロ ー バ ル 人 材 育 成	2
			デ ー タ 課 題 探 求	2
学 科 専 門 科 目	法 学	公 法 系	憲 法 (基 本 的 人 権) I ②	
			憲 法 (基 本 的 人 権) II	2
			憲 法 (統 治 機 構)	2
			行 政 法 (総 論)	2
			行 政 法 (各 論)	2
			地 方 自 治 法	2
		民 事 法 系	民 法 (総 則) I	2

		民法 (総 則)	Ⅱ	2
		民法 (債 権 総 論)	I	2
		民法 (債 権 総 論)	Ⅱ	2
		民法 (物 権)		2
		民法 (家 族 法)		2
		民法 (債 権 各 論)	A	2
		民法 (債 権 各 論)	B	2
		民法 (担 保 物 権)		2
		民 事 訴 訟 法	I	2
		民 事 訴 訟 法	Ⅱ	2
		動 産 法		2
		会 社 法	I	2
		会 社 法	Ⅱ	2
		商 法 (総 則 ・ 商 行 為 法)		2
		労 働 法		2
	刑 事 法 系	刑 法 (総 論)	I	2
		刑 法 (総 論)	Ⅱ	2
		刑 法 (各 論)	I	2
		刑 法 (各 論)	Ⅱ	2
		刑 事 訴 訟 法	I	2
		刑 事 訴 訟 法	Ⅱ	2
		刑 事 政 策		2
		少 年 法		2
	基 礎 法 系	法 哲 学		2
	新 領 域 法 系	環 境 法	A	2
		環 境 法	B	2
		ジ ェ ン ダ ー 法		2
	国 際 法 系	国 際 法	A	2
		国 際 法	B	2
		国 際 人 権 法		2
政 治 学	政 治 学 系	政 治 学 原 論	②	
		西 洋 政 治 史	A	2
		西 洋 政 治 史	B	2
		日 本 政 治 史	A	2
		日 本 政 治 史	B	2
		比 較 政 治 学	A	2
		比 較 政 治 学	B	2
		公 共 哲 学	A	2
		公 共 哲 学	B	2
		デ モ ク ラ シ ー 論		2

		日 本 政 治 論	A	2
		日 本 政 治 論	B	2
		政 治 過 程 論	A	2
		政 治 過 程 論	B	2
		西 洋 政 治 思 想 史	A	2
		西 洋 政 治 思 想 史	B	2
		日 本 政 治 思 想 史	A	2
		日 本 政 治 思 想 史	B	2
		ジ ェ ン ダ ー 政 治 論		2
行 政 学 系		地 方 自 治 論	A	2
		地 方 自 治 論	B	2
		行 政 学	A	2
		行 政 学	B	2
		公 共 政 策 論	A	2
		公 共 政 策 論	B	2
国 際 政 治 系		国 際 政 治 史	A	2
		国 際 政 治 史	B	2
		国 際 関 係 論	A	2
		国 際 関 係 論	B	2
		日 本 外 交 史	A	2
		日 本 外 交 史	B	2
		国 際 政 治 学	A	2
		国 際 政 治 学	B	2
		国 際 機 構 論	A	2
データ分析・社会 学系		政 経 デ ー タ 分 析	A	2
		政 経 デ ー タ 分 析	B	2
		社 会 調 査 法		2
		メ デ ィ ア 論		2
		プ ロ グ ラ ミ ン グ	A	2
		プ ロ グ ラ ミ ン グ	B	2
		社 会 心 理 学	A	2
		社 会 心 理 学	B	2
		計 量 政 治 学		2
地 域 研 究		中 国 政 治 論	A	2
		中 国 政 治 論	B	2
		東 南 ア ジ ア 政 治 論	A	2
		東 南 ア ジ ア 政 治 論	B	2
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論	A	2
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論	B	2

プログラム科目		アメリカ政治論 A 2
		アメリカ政治論 B 2
		中国経済論 A 2
		中国経済論 B 2
		東南アジア経済論 A 2
		東南アジア経済論 B 2
		ヨーロッパ経済論 A 2
		ヨーロッパ経済論 B 2
		アメリカ経済論 A 2
		アメリカ経済論 B 2
		朝鮮半島政治・経済論 A 2
		朝鮮半島政治・経済論 B 2
		台湾政治・経済論 A 2
		台湾政治・経済論 B 2
		南アジア政治・経済論 A 2
		南アジア政治・経済論 B 2
		ロシア政治・経済論 A 2
		ロシア政治・経済論 B 2
		中東政治・経済論 A 2
		中東政治・経済論 B 2
		ラテン・アメリカ政治・経済論 A 2
		ラテン・アメリカ政治・経済論 B 2
		アフリカ政治・経済論 A 2
		アフリカ政治・経済論 B 2
プログラム科目	グローバル・スタディーズプログラム	日本経済論 A 2
		日本経済論 B 2
		日本経済史 A 2
		日本経済史 B 2
		アジア経済史 A 2
		アジア経済史 B 2
		ヨーロッパ経済史 A 2
		ヨーロッパ経済史 B 2
		アメリカ経済史 A 2
		アメリカ経済史 B 2
	SDG s プログラム	貧困の経済学 A 2
		貧困の経済学 B 2
		開発経済学 A 2
		開発経済学 B 2
		国際協力論 2
		まちづくり論 2

		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	A	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	B	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	A	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	B	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	A	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	B	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	A	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	B	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	A	2
		労働社会政策委員会	労働社会政策委員会	経済学	経済学	基礎	B	2
	データ・A I活用 プログラム	経済学	経済学	基礎	A	2		
		経済学	経済学	基礎	B	2		
		経済学	経済学	基礎	A	2		
		経済学	経済学	基礎	B	2		
		経済学	経済学	基礎	A	2		
		経済学	経済学	基礎	B	2		
		経済学	経済学	基礎	A	2		
		経済学	経済学	基礎	B	2		
		経済学	経済学	基礎	A	2		
		経済学	経済学	基礎	B	2		
教 職	日本史概論	日本史概論	I	2				
	日本史概論	日本史概論	II	2				
	外国史概論	外国史概論	I	2				
	外国史概論	外国史概論	II	2				
	人文地理学概論	人文地理学概論	I	2				
	人文地理学概論	人文地理学概論	II	2				
	自然地理学概論	自然地理学概論	I	2				
	自然地理学概論	自然地理学概論	II	2				
	地誌学概論	地誌学概論	I	2				
	地誌学概論	地誌学概論	II	2				
自由科目	職業能力基礎 (S P I) 非言語	職業能力基礎 (S P I) 非言語	2					
	職業能力基礎 (S P I) 言語	職業能力基礎 (S P I) 言語	2					
	次の科目区分から選択履修する。	次の科目区分から選択履修する。						
	全学共通教養科目 外国語科目 専門科目	全学共通教養科目 外国語科目 専門科目						

	経済学科の学科専門科目 他学部科目 教職課程科目 単位互換協定に基づく単位互換科目
--	--

※「教育経済学A/B」は、「SDGsプログラム」と「データ・AI活用プログラム」の両プログラムに配当されています。

専門科目(経済学科)

基 礎 科 目			アカデミック・スキル ②	
			経済学入門(歴史的視点)	2
			経済学入門(国際的視点)	2
			統計入門	2
			国際関係入門	2
			法学入門	2
			政治学入門	2
			行政学入門	2
			哲学・思想入門	2
			政経数学入門	2
			海外事情入門	2
プログラム必修科目			地域研究総論	2
			講座「SDGs」	2
			データサイエンス・AI概論	2
演 習 科 目			2年ゼミナール	4
			3年ゼミナール	4
			4年ゼミナール	4
			ゼミナール論文	4
			基礎外書講読A	2
			基礎外書講読B	2
			外書講読A	2
			外書講読B	2
課 題 解 決 型 科 目			実践グローバル・スタディーズ	2
			実践SDGs	2
			実践データ解析	2
研修・アクティブ・ラーニング科目			海外研修	2
			国内研修	2
			多文化コミュニケーション	2
			キャリアデザイン	2
			シティズンシップ	2
			グローバル人材育成	2
			データ課題探求	2
学 科 専 門 科 目	経 済 学	応 用 経 済 系	日本経済論 A	2
			日本経済論 B	2
			日本企業論 A	2
			日本企業論 B	2
			労働経済論 A	2
			労働経済論 B	2
			金融論 A	2
			金融論 B	2
			財政学 A	2
			財政学 B	2

				経	済	政	策	論	A	2
				経	済	政	策	論	B	2
				社	会	政	策	論	A	2
				社	会	政	策	論	B	2
				産	業	組	織	論	A	2
				産	業	組	織	論	B	2
				教	育	経	済	学	A	2
				教	育	経	済	学	B	2
				農	業	経	済	学	A	2
				農	業	経	済	学	B	2
				地	方	財	政	論	A	2
				地	方	財	政	論	B	2
				経	済	発	展	論	A	2
				経	済	発	展	論	B	2
				人	口	経	済	学	A	2
				人	口	経	済	学	B	2
				企	業	経	済	学	A	2
				企	業	経	済	学	B	2
				環	境	経	済	学	A	2
				環	境	経	済	学	B	2
税		制	論	A	2					
税		制	論	B	2					
理 論 経 済 系	ミ	ク	ロ	経	済	学	I	②		
	ミ	ク	ロ	経	済	学	II	2		
	マ	ク	ロ	経	済	学	I	②		
	マ	ク	ロ	経	済	学	II	2		
	厚	生	経	済	学	A	2			
	厚	生	経	済	学	B	2			
	公	共	経	済	学	A	2			
	公	共	経	済	学	B	2			
	ゲ	一	ム	理	論	A	2			
	ゲ	一	ム	理	論	B	2			
	経	済	数	学	A	2				
	経	済	数	学	B	2				
	マ	一	ト	ザ	ン	A	2			
	マ	一	ト	ザ	ン	B	2			
	経	済	成	長	論	A	2			
	経	済	成	長	論	B	2			
	中	級	ク	ロ	学	I	2			
	中	級	ク	ロ	学	II	2			
	中	級	ク	ロ	学	I	2			
	中	級	ク	ロ	学	II	2			
国 際 経 済 系	国	際	経	済	学	A	2			

			国	際	経	済	学	B	2				
			開	発	経	済	学	A	2				
			開	発	経	済	学	B	2				
			貧	困	の	経	済	学	A	2			
			貧	困	の	経	済	学	B	2			
			国	際	貿	易	論	A	2				
			国	際	貿	易	論	B	2				
			産	業	立	地	論	A	2				
			産	業	立	地	論	B	2				
			国	際	金	融	論	A	2				
			国	際	金	融	論	B	2				
	計 量 経 済 系		政	経	デ	ー	タ	分	析	A	2		
			政	経	デ	ー	タ	分	析	B	2		
			計	量	経	済	学	基	礎		2		
			経	済	統	計				A	2		
			経	済	統	計				B	2		
			プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	A	2		
			プ	ロ	グ	ラ	ミ	ン	グ	B	2		
			応	用	ミ	ク	ロ	計	量	経	済	学	2
			応	用	マ	ク	ロ	計	量	経	済	学	2
		経済史・経済思想史系		日	本	経	済	史			A	2	
				日	本	経	済	史			B	2	
			ア	ジ	ア	経	済	史		A	2		
			ア	ジ	ア	経	済	史		B	2		
			ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	史	A	2	
			ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	史	B	2	
			ア	メ	リ	カ	経	済	史	A	2		
			ア	メ	リ	カ	経	済	史	B	2		
			経	済	学	史				A	2		
			経	済	学	史				B	2		
			経	済	思	想	史			A	2		
		経	済	思	想	史			B	2			
地 域 研 究		中	国	経	済	論			A	2			
		中	国	経	済	論			B	2			
		東	南	ア	ジ	ア	経	済	論	A	2		
		東	南	ア	ジ	ア	経	済	論	B	2		
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論	A	2		
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論	B	2		
		ア	メ	リ	カ	経	済	論	A	2			
		ア	メ	リ	カ	経	済	論	B	2			
		中	国	政	治	論			A	2			
		中	国	政	治	論			B	2			
		東	南	ア	ジ	ア	政	治	論	A	2		

		東南アジア政治論	B	2
		ヨーロッパ政治論	A	2
		ヨーロッパ政治論	B	2
		アメリカ政治論	A	2
		アメリカ政治論	B	2
		朝鮮半島政治・経済論	A	2
		朝鮮半島政治・経済論	B	2
		台湾政治・経済論	A	2
		台湾政治・経済論	B	2
		南アジア政治・経済論	A	2
		南アジア政治・経済論	B	2
		ロシア政治・経済論	A	2
		ロシア政治・経済論	B	2
		中東政治・経済論	A	2
		中東政治・経済論	B	2
		ラテン・アメリカ政治・経済論	A	2
		ラテン・アメリカ政治・経済論	B	2
		アフリカ政治・経済論	A	2
		アフリカ政治・経済論	B	2
プログラム科目	グローバル・スタディーズプログラム	日本政治史	A	2
		日本政治史	B	2
		西洋政治史	A	2
		西洋政治史	B	2
		日本政治論	A	2
		日本政治論	B	2
	SDGsプログラム	憲法（基本的人権）	I	2
		民法（総則）	I	2
		民法（総則）	II	2
		刑法（総論）	I	2
		刑法（総論）	II	2
		憲法（基本的人権）	II	2
		国際法	A	2
		国際法	B	2
		公共哲学	A	2
		公共哲学	B	2
		デモクラシー論		2
		国際協力論		2
		まちづくり論		2
		ジェンダー政治論		2
		ジェンダー法		2
		労働法		2
		労働法		2
		環境法	A	2

			環 境 法	B	2
			国 際 人 権 法		2
		データ・A I 活用 プログラム	社 会 調 査 法		2
			メ デ ィ ア 論		2
			社 会 心 理 学 A		2
			社 会 心 理 学 B		2
		計 量 政 治 学		2	
	教 職		日 本 史 概 論 I		2
			日 本 史 概 論 II		2
			外 国 史 概 論 I		2
			外 国 史 概 論 II		2
		人 文 地 理 学 概 論 I		2	
		人 文 地 理 学 概 論 II		2	
		自 然 地 理 学 概 論 I		2	
		自 然 地 理 学 概 論 II		2	
		地 誌 学 概 論 I		2	
		地 誌 学 概 論 II		2	
		社 会 学 概 論		2	
自 由 科 目		職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語		2	
		職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語		2	
		次の科目区分から選択履修する。			
		全 学 共 通 教 養 科 目			
		外 国 語 科 目			
		専 門 科 目			
		法 律 政 治 学 科 の 学 科 専 門 科 目			
		他 学 部 科 目			
		教 職 課 程 科 目			
		単位互換協定に基づく単位互換科目			

専門科目(社会安全学科)

基礎科目		アカデミック・スキル	②
		法学入門	2
		政治学入門	2
		行政学入門	2
		国際関係入門	2
		統計入門	2
		哲学・思想入門	2
演習科目		2年ゼミナール	4
		3年ゼミナール	4
		4年ゼミナール	4
		ゼミナール論文	4
学科専門科目	社会安全	社会安全論	②
		地域安全論	2
		警察学概論	2
		消防学概論	2
		情報セキュリティ論	2
		捜査法	2
		犯罪学	2
		刑事政策	2
		被害者学	2
		地域防災論	2
		救急論	2
		社会調査法	2
		都市政策	2
		環境政策	2
		地域危機管理論	2
	法律	憲法(日本国憲法の基本)	②
		憲法(基本的人権)	2
		民法(総則)	2
		民法(物権法)	2
		憲法(統治機構)	2
		行政法(総論)	2
		刑法(各論)	I 2
		刑法(各論)	II 2
		刑法(総論)	I 2
		刑法(総論)	II 2
		刑事訴訟法	I 2
		刑事訴訟法	II 2
		少年法	2
		民法(不法行為法)	2
		商法(総則)	2
		民事訴訟法	A 2

		民	事	訴	訟	法	B	2
		勞		働		法	A	2
		勞		働		法	B	2
		行	政	法	(	各	論	2
		地	方	自	治	法	A	2
		地	方	自	治	法	B	2
		警		察		法	法	2
		消		防		法	法	2
政	治	政	治	学	原	論	②	2
		地	方	政	治	論		2
		国	際	政	治	史	A	2
		国	際	政	治	史	B	2
		日	本	政	治	史	A	2
		日	本	政	治	史	B	2
		政	治	過	程	論	A	2
		政	治	過	程	論	B	2
		国	際	機	構	論	A	2
		国	際	機	構	論	B	2
		マ	ス	メ	デ	イ	ア	論
		現	代	日	本	政	治	論
		現	代	日	本	政	治	論
		安	全	保	障	論		2
行	政	地	方	自	治	論		2
		行		政	学	A		2
		行		政	学	B		2
		公	共	政	策	論	A	2
		公	共	政	策	論	B	2
		地	域	振	興	論		2
		社	会	政	策	論	A	2
		社	会	政	策	論	B	2
		警		察	行	政		2
		消		防	行	政		2
		社	会	保	障	論	A	2
		社	会	保	障	論	B	2
		地	方	財	政	A		2
		地	方	財	政	B		2
		N	P	O		論		2
		公	務	員		論		2

自由科目（社会安全学科）

キ ャ リ ア デ ザ イ ン	講座「守る力」(防犯・防災・防衛)	2
	職業能力基礎(SPI) 非言語	2
	職業能力基礎(SPI) 言語	2
S D G s プ ロ グ ラ ム	講 座 「 S D G s 」	2
ス ポ ー ツ 関 係 科 目	武 道 演 習 I	2
	武 道 演 習 II	2
	武 道 演 習 III	2
	武 道 演 習 IV	2
	ス ポ ー ツ 栄 養 学	2
	ス ポ ー ツ 経 済 論	2
	ス ポ ー ツ 経 営 論	2
	コ ー チ ン グ 論 A	2
	コ ー チ ン グ 論 B	2
	ス ポ ー ツ 医 学 A	2
	ス ポ ー ツ 医 学 B	2
	競 技 者 養 成 シ ス テ ム 論	2

外国語学部

必修 数字白ヌキ
選択必修 数字()印
外国人留学生 ☆印

全学共通教養科目(英米語学科・中国語学科・スペイン語学科・国際日本語学科共通)

A系列 (国際性を高める)	S D G s 基礎	2
	日 本 史	2
	東 洋 史	2
	イスラム社会の歴史と文化	2
	西 洋 史	2
	西 洋 文 化 史	2
	宗 教 学	2
	人 文 地 理 学	2
	安 全 と 危 機 管 理	2
	現 代 の 国 際 関 係	2
	防 災 と 安 全	2
	文 化 人 類 学	2
	生 態 学	2
	環 境 科 学	2
	講座「拓く力」(世界の中の日本)	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	日 本 国 憲 法	2
	政 治 学	2
	社 会 学	2
	経 済 学	2
	経 営 学	2
	流 通 論	2
	近 代 社 会 の 思 想 史	2
	コ ミ ュ ニ テ イ 論	2
	福 祉 学	2
	ジ ェ ン ダ ー 論	2
	地 球 科 学	2
	物 理 学	2
	化 学	2
	生 物 学	2
	健 康 科 学	2
	天 文 学	2
	自 然 認 識 の 歴 史	2
	技 術 史 ・ 技 術 論	2
	C系列	
	哲 学	2

(人間性を高める)	倫	理	学	2
	論	理	学	2
	心	理	学	2
	日	本	文	2
	外	国	文	2
	美		術	2
	音		楽	2
	映	像	文	2
	伝	統	芸	2
	武	道	論	2
	考	古	学	2
	ト	レー	ニング	2
	ス	ポ	ーツ	2
	ス	ポ	ーツ	2
	講	座	「ス	2
D系列 (キャリア形成を行う)	ス	ポ	ーツ	1
	ト	レー	ニング	1
	職	業	と	2
	文	章	表	2
	レ	ポ	ート	2
	ビ	ジ	ネ	2
	プ	レ	ゼ	2
E系列 (データ活用能力を養う)	口	頭	表	2
	ボ	ラ	ン	2
	歴	史	の	2
	A	I	・	2
	I	T	パ	2
	情	報	リ	2
	数			2
	統	計	学	2

専門科目(英米語学科)

科目 区分	授業科目群	授 業 科 目	単 位
必修 科目	必修 英 語	G e n e r a l E n g l i s h I	②
		G e n e r a l E n g l i s h II	②
		E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n I	②
		E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n II	②
		G r a m m a r I	①
		G r a m m a r II	①
		A c a d e m i c E n g l i s h I	②
		A c a d e m i c E n g l i s h II	②
		E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n III	②
		E n g l i s h C o m m u n i c a t i o n IV	②
		C L I L I	②
		C L I L II	②
	ゼ ミ ナ ー ル	初 年 次 教 育 ゼ ミ ナ ー ル	②
選択 科目 I	選 択 英 語	3 年 ゼ ミ ナ ー ル	④
		4 年 ゼ ミ ナ ー ル	④
		卒 業 研 究	②
		P r o j e c t W o r k s h o p A	2
		P r o j e c t W o r k s h o p B	2
		V o c a b u l a r y B u i l d i n g	1
		P r a c t i c a l G r a m m a r	1
		B a s i c L i s t e n i n g S k i l l s	1
		B a s i c S p e a k i n g S k i l l s	1
		B a s i c R e a d i n g S k i l l s	1
		B a s i c W r i t i n g S k i l l s	1
		P r o j e c t W o r k s h o p C	2
		P r o j e c t W o r k s h o p D	2
		D i s c u s s i o n A	2
		D i s c u s s i o n B	2
		D e b a t e A	2
		D e b a t e B	2
		E n g l i s h t h r o u g h M e d i a A	2
		E n g l i s h t h r o u g h M e d i a B	2
		P r o j e c t W o r k s h o p E	2
		P r o j e c t W o r k s h o p F	2
		P r e s e n t a t i o n A	2
		P r e s e n t a t i o n B	2

		TOEIC® Test Skills	2
		TOEFL® Test Skills	2
選 択 科 目 Ⅱ	英 語 学	英 語 音 声 学 I	2
		英 語 音 声 学 II	2
		英 語 学 入 門	2
		英 語 学 研 究 A	2
		英 語 学 研 究 B	2
	英 語 教 育	児 童 英 語 基 礎 演 習	2
		小 学 校 英 語 教 育 入 門	2
		英 語 教 育 入 門	2
		英 語 教 育 研 究 A	2
		英 語 教 育 研 究 B	2
		小 学 校 英 語 教 育 実 習 I	2
		小 学 校 英 語 教 育 実 習 II	2
	ビ ジ ネ ス 英 語	ビ ジ ネ ス 英 語 入 門 I	2
		ビ ジ ネ ス 英 語 入 門 II	2
		ビ ジ ネ ス 英 語 研 究 A	2
		ビ ジ ネ ス 英 語 研 究 B	2
		ビ ジ ネ ス 英 語 研 究 C	2
		ビ ジ ネ ス 英 語 研 究 D	2
		テクニカルコミュニケーション	2
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	異文化間コミュニケーション入門	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 A	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 B	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 C	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 D	2
	通 訳 ・ 翻 訳	観 光 英 語	2
		デ ジ タ ル 翻 訳	2
		通 訳 英 語 A	2
		通 訳 英 語 B	2
		翻 訳 英 語 A	2
		翻 訳 英 語 B	2
	地 域 研 究 ・ 英 米 文 学	イ ギ リ ス 研 究 入 門	2
		ア メ リ カ 研 究 入 門	2
		英 語 文 学 入 門	2
		英 語 圏 研 究 A (C L I L)	2
		英 語 圏 研 究 B (C L I L)	2
		英 語 圏 研 究 C (C L I L)	2
		英 語 圏 研 究 D (C L I L)	2
		英 米 文 学 研 究 A	2

			英 米 文 学 研 究 B	2
	海 外 研 修		海 外 研 修 I	2
			海 外 研 修 II	2
			海 外 研 修 III	2
			海 外 研 修 IV	2
学 科 横 断 科 目	学 部 基 盤 科 目	言 語	言 語 学	2
			社 会 言 語 学	2
			言 語 習 得 論	2
			言 語 研 究	2
	情 報		文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
			文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ	2
			I T 概 論	2
			デジタルプレゼンテーション	2
	キ ャ リ ア		キ ャ リ ア ガ イ ダ ン ス	2
			観 光 ビ ジ ネ ス 論	2
			ホ ス ピ タ リ テ ィ ビ ジ ネ ス 論	2
			エ ア ラ イ ン ビ ジ ネ ス 論	2
			海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ 論	2
			グ ロ ー バ ル ビ ジ ネ ス 論	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	学 部 教 養 科 目	文 化	中 国 文 化 入 門	2
			日 中 異 文 化 交 流	2
			ス ペ イ ン 史	2
			イ ス パ ノ ア メ リ カ 史	2
			日 本 文 学 概 論	2
			日 本 語 史	2
			日 本 語 文 化	2
			多 言 語 映 画 論	2
		社 会	中 国 事 情	2
			現 代 ス ペ イ ン 社 会 論	2
	第 二 外 国 語	必 修 第 二 外 国 語	ス ペ イ ン ・ E U 経 済 入 門	2
			現 代 イ ス パ ノ ア メ リ カ 社 会 論	2
			イ ス パ ノ ア メ リ カ 経 済 入 門	2
			世 界 の 日 本 語 教 育 事 情	2
	初 級 中 国 語 ①		都 市 社 会 学	2
			初 級 中 国 語 ① I	(1)
			初 級 中 国 語 ① II	(1)
			初 級 中 国 語 ② I	(1)
			初 級 中 国 語 ② II	(1)

	語	初級スペイン語① I (1) 初級スペイン語① II (1) 初級スペイン語② I (1) 初級スペイン語② II (1) 初級フランス語① I (1) 初級フランス語① II (1) 初級フランス語② I (1) 初級フランス語② II (1) 初級ドイツ語① I (1) 初級ドイツ語① II (1) 初級ドイツ語② I (1) 初級ドイツ語② II (1) 初級韓国語① I (1) 初級韓国語① II (1) 初級韓国語② I (1) 初級韓国語② II (1) ☆初級日本語① I (1) ☆初級日本語① II (1) ☆初級日本語② I (1) ☆初級日本語② II (1)
	選択第二外国語	中級中国語 I 1 中級中国語 II 1 中級スペイン語 I 1 中級スペイン語 II 1 中級フランス語 I 1 中級フランス語 II 1 中級ドイツ語 I 1 中級ドイツ語 II 1 中級韓国語 I 1 中級韓国語 II 1 ☆中級日本語 I 1 ☆中級日本語 II 1
自由科目	キャリア認定科目	実務研修 I 2 実務研修 II 2
	その他	全学共通教養科目 学科専門科目 他学部・他学科の科目 教職課程科目 拓殖大学日本語教員養成講座科目 単位互換協定に基づく単位互換科目

専門科目(中国語学科)

科目区分	授業科目群	授業科目	単位
必修科目	必修中国語	総合中国語① I	④
		総合中国語① II	④
		総合中国語② I	①
		総合中国語② II	①
		総合中国語③ I	②
		総合中国語③ II	②
		読解 I	①
		読解 II	①
		文法作文 I	①
		文法作文 II	①
		聴解 I	①
		聴解 II	①
		会話 I	②
		会話 II	②
		講読演習 I	①
		講読演習 II	①
		作文演習 I	①
		作文演習 II	①
		表現演習① I	①
		表現演習① II	①
		表現演習② I	①
		表現演習② II	①
		表現演習③ I	①
		表現演習③ II	①
	ゼミナール	初年次教育ゼミナール	②
		3年ゼミナール	④
		4年ゼミナール	④
	卒業研究	卒業研究	②
選択科目 I	中国学	中国史概論	②
		中国学入門	②
		中国語学概論	②
		中国語学研究	2
		中国文学概論	2
		中国文学概論	2
		中国社会学概論	2
		中国経済概論	2

			中 国 経 済 研 究	2
			台 湾 語 I	2
			台 湾 語 II	2
			広 東 語 I	2
			広 東 語 II	2
			時 事 中 国 語 I	2
			時 事 中 国 語 II	2
			日 中 対 照 言 語 研 究 I	2
			日 中 対 照 言 語 研 究 II	2
			中 国 文 化 研 究	2
			中 国 文 学 研 究	2
			中 国 社 会 研 究	2
			資 格 中 国 語 演 習 A	2
			資 格 中 国 語 演 習 B	2
選 択 科 目 II	言 語 文 化 研 究		中 国 文 化 入 門	2
			日 中 異 文 化 交 流	2
			翻 訳 法 I	2
			翻 訳 法 II	2
			通 訳 法 I	2
			通 訳 法 II	2
			ス ピ ー チ 演 習 I	2
			ス ピ ー チ 演 習 II	2
	社 会 ビ ジ ネ ス 研 究		中 国 ビ ジ ネ ス 概 論	2
			中 国 事 情	2
			ビ ジ ネ ス 会 話 I	2
			ビ ジ ネ ス 会 話 II	2
			商 業 文 書 I	2
			商 業 文 書 II	2
			観 光 中 国 語 I	2
			観 光 中 国 語 II	2
	海 外 研 修		海 外 研 修 I	2
			海 外 研 修 II	2
			海 外 研 修 III	2
			海 外 研 修 IV	2
学 科 横 断 科 目	学 部 基 盤 科 目	言 語	言 語 学	2
			社 会 言 語 学	2
			言 語 習 得 論	2
			言 語 研 究	2
	情 報		文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
			文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ	2

学部 教養 科目	キャリア	I T 概 論	2
		デジタルプレゼンテーション	2
		キャリアガイダンス	2
		観光ビジネス論	2
		ホスピタリティビジネス論	2
		エアラインビジネス論	2
		海外インターンシップ論	2
		グローバルビジネス論	2
		職業能力基礎（SPI）言語	2
		職業能力基礎（SPI）非言語	2
	文 化	英語音声学Ⅰ	2
		英語音声学Ⅱ	2
		異文化間コミュニケーション入門	2
		英語文学入門	2
		スペイン史	2
		イスパノアメリカ史	2
		日本文学概論	2
		日本語史	2
		日本語文化	2
		多言語映画論	2
	社 会	イギリス研究入門	2
		アメリカ研究入門	2
		現代スペイン社会論	2
		スペイン・EU経済入門	2
		現代イスパノアメリカ社会論	2
		イスパノアメリカ経済入門	2
		世界の日本語教育事情	2
		都市社会学	2
	必修第二外国語	初級英語①Ⅰ	(1)
		初級英語①Ⅱ	(1)
		初級英語②Ⅰ	(1)
		初級英語②Ⅱ	(1)
		初級スペイン語①Ⅰ	(1)
		初級スペイン語①Ⅱ	(1)
		初級スペイン語②Ⅰ	(1)
		初級スペイン語②Ⅱ	(1)
		初級フランス語①Ⅰ	(1)
		初級フランス語①Ⅱ	(1)
		初級フランス語②Ⅰ	(1)
		初級フランス語②Ⅱ	(1)

			初級ドイツ語①	I	(1)	
			初級ドイツ語①	II	(1)	
			初級ドイツ語②	I	(1)	
			初級ドイツ語②	II	(1)	
			初級韓国語①	I	(1)	
			初級韓国語①	II	(1)	
			初級韓国語②	I	(1)	
			初級韓国語②	II	(1)	
			☆初級日本語①	I	(1)	
			☆初級日本語①	II	(1)	
			☆初級日本語②	I	(1)	
			☆初級日本語②	II	(1)	
			選 択 第 二 外 国 語	中級スペイン語	I	1
				中級スペイン語	II	1
	中級フランス語	I		1		
	中級フランス語	II		1		
	中級ドイツ語	I		1		
	中級ドイツ語	II		1		
	中級韓国語	I		1		
	中級韓国語	II		1		
	☆中級日本語	I		1		
	☆中級日本語	II		1		
	English for TOEIC®650			1		
	Practical English Presentation			1		
	Practical Business English		1			
	Practical English Reading		1			
自由科目	キャリア認定科目		実務研修	I	2	
			実務研修	II	2	
	その他の		全学共通教養科目			
			学科専門科目			
			他学部・他学科の科目			
			教職課程科目			
			拓殖大学日本語教員養成講座科目			
			単位互換協定に基づく単位互換科目			

専門科目(スペイン語学科)

科目区分	授業科目群	授業科目	単位
必修科目	必修スペイン語	基礎スペイン語 I	②
		基礎スペイン語 II	②
		基礎会話 I	②
		基礎会話 II	②
		基礎語彙 I	②
		基礎語彙 II	②
		応用スペイン語 I	①
		応用スペイン語 II	①
		作文 ① I	①
		作文 ① II	①
		講読 ① I	①
		講読 ① II	①
		応用会話 I	②
		応用会話 II	②
		作文 ② I	①
		作文 ② II	①
		講読 ② I	①
		講読 ② II	①
		表現演習 ① I	②
		表現演習 ① II	②
		表現演習 ② I	①
		表現演習 ② II	①
	ゼミナール	初年次教育ゼミナール	②
		3年ゼミナール	④
		4年ゼミナール	④
	卒業研究	卒業研究	②
選択科目 I	選択スペイン語	スペイン語相互学習 I	1
		スペイン語相互学習 II	1
		スペイン語相互学習 III	1
		スペイン語相互学習 IV	1
		総合演習 I	2
		総合演習 II	2
		プレゼンテーション基礎 I	2
		プレゼンテーション基礎 II	2
		スペイン語相互学習 V	1
		スペイン語相互学習 VI	1

		プレゼンテーション演習Ⅰ 2 プレゼンテーション演習Ⅱ 2 時事スペイン語Ⅰ 2 時事スペイン語Ⅱ 2 機械翻訳スペイン語 2
選択科目Ⅱ	言語・文学	スペイン語学概論Ⅰ 2 スペイン語学概論Ⅱ 2 スペイン語音声学・音韻論Ⅰ 2 スペイン語音声学・音韻論Ⅱ 2 スペイン語圏文学Ⅰ 2 スペイン語圏文学Ⅱ 2 スペイン語史 2 スペイン語学特講Ⅰ 2 スペイン語学特講Ⅱ 2 スペイン語通訳法Ⅰ 2 スペイン語通訳法Ⅱ 2
	地域・文化	日本紹介スペイン語A 2 日本紹介スペイン語B 2 現代スペイン社会論 2 スペイン・EU経済入門 2 現代イスパノアメリカ社会論 2 イスパノアメリカ経済入門 2 スペイン史 2 イスパノアメリカ史 2 スペイン特殊研究A 2 スペイン特殊研究B 2 イスパノアメリカ特殊研究Ⅰ 2 イスパノアメリカ特殊研究Ⅱ 2
	ビジネス	ビジネススペイン語概論 2 スペイン語圏ビジネス研究A 2 スペイン語圏ビジネス研究B 2 観光ビジネススペイン語Ⅰ 2 観光ビジネススペイン語Ⅱ 2 ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ 2 ビジネススペイン語特殊研究Ⅱ 2
	海外研修	海外研修Ⅰ 2 海外研修Ⅱ 2 海外研修Ⅲ 2 海外研修Ⅳ 2
	学	学
	言	語
	学	語
	学	語
	学	語
	学	語
	学	語
	学	語
	学	語

科横断科目	部基盤科目		社 会 言 語 学	2
			言 語 習 得 論	2
			言 語 研 究	2
		情 報	文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
			文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ	2
			I T 概 論	2
			デジタルプレゼンテーション	2
		キ ャ リ ア	キ ャ リ ア ガ イ ダ ン ス	2
			観 光 ビ ジ ネ ス 論	2
			ホスピタリティビジネス論	2
			エ ア ラ イ ン ビ ジ ネ ス 論	2
			海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ 論	2
			グ ロ ー バ ル ビ ジ ネ ス 論	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	学部教養科目	文 化	英 語 音 声 学 I	2
			英 語 音 声 学 II	2
			異文化間コミュニケーション入門	2
			英 語 文 学 入 門	2
			中 国 文 化 入 門	2
			日 中 異 文 化 交 流	2
			日 本 文 学 概 論	2
			日 本 語 史	2
			日 本 語 文 化	2
			多 言 語 映 画 論	2
		社 会	イ ギ リ ス 研 究 入 門	2
			ア メ リ カ 研 究 入 門	2
			中 国 事 情	2
			世 界 の 日 本 語 教 育 事 情	2
			都 市 社 会 学	2
	第二外国語	必 修 第 二 外 国 語	初 級 英 語 ① I	(1)
			初 級 英 語 ① II	(1)
			初 級 英 語 ② I	(1)
			初 級 英 語 ② II	(1)
			初 級 中 国 語 ① I	(1)
			初 級 中 国 語 ① II	(1)
			初 級 中 国 語 ② I	(1)
			初 級 中 国 語 ② II	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ① I	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ① II	(1)

		初 級 フ ラ ン ス 語 ② I (1) 初 級 フ ラ ン ス 語 ② II (1) 初 級 ド イ ツ 語 ① I (1) 初 級 ド イ ツ 語 ① II (1) 初 級 ド イ ツ 語 ② I (1) 初 級 ド イ ツ 語 ② II (1) 初 級 韓 国 語 ① I (1) 初 級 韓 国 語 ① II (1) 初 級 韓 国 語 ② I (1) 初 級 韓 国 語 ② II (1) ☆ 初 級 日 本 語 ① I (1) ☆ 初 級 日 本 語 ① II (1) ☆ 初 級 日 本 語 ② I (1) ☆ 初 級 日 本 語 ② II (1)
	選 択 第 二 外 国 語	中 級 中 国 語 I 1 中 級 中 国 語 II 1 中 級 フ ラ ン ス 語 I 1 中 級 フ ラ ン ス 語 II 1 中 級 ド イ ツ 語 I 1 中 級 ド イ ツ 語 II 1 中 級 韓 国 語 I 1 中 級 韓 国 語 II 1 ☆ 中 級 日 本 語 I 1 ☆ 中 級 日 本 語 II 1 English for TOEIC®650 1 Practical English Presentation 1 Practical Business English 1 Practical English Reading 1
自 由 科 目	キ ャ リ ア 認 定 科 目	実 務 研 修 I 2 実 務 研 修 II 2
	そ の 他	全 学 共 通 教 養 科 目 学 科 専 門 科 目 他 学 部 ・ 他 学 科 の 科 目 教 職 課 程 科 目 拓殖大学日本語教員養成講座科目 単位互換協定に基づく単位互換科目

専門科目(国際日本語学科)

科目区分	授業科目群	授業科目	単位
必修科目	専門基礎	日本語学概論Ⅰ	②
		日本語学概論Ⅱ	②
		日本語教育概論	②
		国際日本語論	②
	日本語（留学生）	☆日本語リテラシーⅠA	(1)
		☆日本語リテラシーⅠB	(1)
		☆日本語リテラシーⅡA	(1)
		☆日本語リテラシーⅡB	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅠA	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅠB	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅡA	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅡB	(1)
		☆日本語リテラシーⅢ	(1)
		☆日本語リテラシーⅣ	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅢ	(1)
		☆日本語コミュニケーションⅣ	(1)
	ゼミナール等	初年次教育ゼミナール	②
		アカデミックスキルズ	②
		日本語相互学習Ⅰ	②
		日本語相互学習Ⅱ	②
		3年ゼミナール	④
		4年ゼミナール	④
	卒業研究	卒業研究	②
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ	2
		日本語教育文法Ⅱ	2
		日本語文法Ⅰ	2
		日本語文法Ⅱ	2
		日本語古典文法Ⅰ	2
		日本語古典文法Ⅱ	2
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ	2
		日本語表現Ⅱ	2
		日本語文章表現Ⅰ	2
		日本語文章表現Ⅱ	2
		日本語プレゼンテーションⅠ	2
		日本語プレゼンテーションⅡ	2
		国際コミュニケーション論	2
		ビジネス日本語総合Ⅰ	2

		ビジネス日本語総合Ⅱ	2
		専門日本語（観光）	2
		専門日本語（メディア）	2
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ	2
		日本語教授法Ⅱ	2
		日本語音声学	2
		日本語表記論	2
		日本語教育教材論	2
		日本語語彙論	2
		世界の日本語教育事情	2
		教育日本語総合A	2
		教育日本語総合B	2
		教育日本語総合C	2
		日本語教育評価法	2
		日本語の談話	2
		日本語意味論	2
		日本語事情教育	2
		日本語教育実践演習	2
		日本語教育実習	1
	日本語・日本文化	日本語・日本人論	2
		クールジャパン論	2
		現代日本語事情	2
		異文化間理解	2
		日本近代文学	2
		ポップカルチャー論	2
		日本の民俗と思想	2
		日本文学概論	2
		日本語史	2
		日本古典文学Ⅰ	2
		日本古典文学Ⅱ	2
		日本語文化	2
		日本の生活と芸能	2
		翻訳・通訳概論（日英）	2
		翻訳・通訳概論（日中）	2
		漢文学概論Ⅰ	2
		漢文学概論Ⅱ	2
		書道	2
	海外研修	海外研修Ⅰ	2
		海外研修Ⅱ	2
		海外研修Ⅲ	2

			海 外 研 修 IV	2
学 科 横 断 科 目	学 部 基 盤 科 目	言 語	言 語 学	2
			社 会 言 語 学	2
			言 語 習 得 論	2
			言 語 研 究	2
		情 報	文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2
			文 系 プ ロ グ ラ ミ ン グ	2
			I T 概 論	2
			デジタルプレゼンテーション	2
		キ ャ リ ア	キ ャ リ ア ガ イ ダ ン ス	2
			観 光 ビ ジ ネ ス 論	2
			ホスピタリティビジネス論	2
			エ ア ラ イ ン ビ ジ ネ ス 論	2
			海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ 論	2
			グ ロ ー バ ル ビ ジ ネ ス 論	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
			職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	学 部 教 養 科 目	文 化	英 語 音 声 学 I	2
			英 語 音 声 学 II	2
			異文化間コミュニケーション入門	2
			英 語 文 学 入 門	2
			中 国 文 化 入 門	2
			日 中 異 文 化 交 流	2
			ス ペ イ ン 史	2
			イ ス パ ノ ア メ リ カ 史	2
			多 言 語 映 画 論	2
		社 会	イ ギ リ ス 研 究 入 門	2
			ア メ リ カ 研 究 入 門	2
			中 国 事 情	2
			現 代 ス ペ イ ン 社 会 論	2
			ス ペ イ ン ・ E U 経 済 入 門	2
			現代イスパノアメリカ社会論	2
			イスパノアメリカ経済入門	2
			都 市 社 会 学	2
	第 二 外 国 語	必 修 第 二 外 国 語	初 級 英 語 ① I	(1)
			初 級 英 語 ① II	(1)
			初 級 英 語 ② I	(1)
			初 級 英 語 ② II	(1)
			初 級 中 国 語 ① I	(1)
			初 級 中 国 語 ① II	(1)

			初 級 中 国 語 ②	I	(1)
			初 級 中 国 語 ②	II	(1)
			初 級 ス ペ イ ン 語 ①	I	(1)
			初 級 ス ペ イ ン 語 ①	II	(1)
			初 級 ス ペ イ ン 語 ②	I	(1)
			初 級 ス ペ イ ン 語 ②	II	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ①	I	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ①	II	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ②	I	(1)
			初 級 フ ラ ン ス 語 ②	II	(1)
			初 級 ド イ ツ 語 ①	I	(1)
			初 級 ド イ ツ 語 ①	II	(1)
			初 級 ド イ ツ 語 ②	I	(1)
			初 級 ド イ ツ 語 ②	II	(1)
			初 級 韓 国 語 ①	I	(1)
			初 級 韓 国 語 ①	II	(1)
			初 級 韓 国 語 ②	I	(1)
			初 級 韓 国 語 ②	II	(1)
		選 択 第 二 外 国 語	中 級 中 国 語	I	1
			中 級 中 国 語	II	1
			中 級 ス ペ イ ン 語	I	1
			中 級 ス ペ イ ン 語	II	1
			中 級 フ ラ ン ス 語	I	1
			中 級 フ ラ ン ス 語	II	1
			中 級 ド イ ツ 語	I	1
			中 級 ド イ ツ 語	II	1
			中 級 韓 国 語	I	1
			中 級 韓 国 語	II	1
English for TOEIC®650		1			
Practical English Presentation		1			
Practical Business English		1			
Practical English Reading		1			
自 由 科 目	キ ャ リ ア 認 定 科 目	実 務 研 修	I	2	
		実 務 研 修	II	2	
	そ の 他	全 学 共 通 教 養 科 目			
		学 科 専 門 科 目			
		他 学 部 ・ 他 学 科 の 科 目			
		教 職 課 程 科 目			
		単位互換協定に基づく単位互換科目			

工 学 部

必修 数字白ヌキ

選択必修 数字()印

外国人留学生 ☆印

全学共通教養科目(機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科、デザイン学科共通)

A系列 (国際性を高める)	S D G s 基 礎	2
	日 本 史	2
	東 洋 史	2
	イスラム社会の歴史と文化	2
	西 洋 史	2
	西 洋 文 化 史	2
	宗 教 学	2
	人 文 地 理 学	2
	安 全 と 危 機 管 理	2
	現 代 の 国 際 関 係	2
	防 災 と 安 全	2
	文 化 人 類 学	2
	生 態 学	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	環 境 科 学	2
	講座「拓く力」(世界の中の日本)	2
	日 本 国 憲 法	2
	政 治 学	2
	社 会 学	2
	経 済 学	2
	経 営 学	2
	流 通 論	2
	近 代 社 会 の 思 想 史	2
	コ ミ ュ ニ テ イ 論	2
	福 祉 学	2
	ジ ェ ン ダ ー 論	2
	地 球 科 学	2
	物 理 学	2
	化 学	2
	生 物 学	2
	健 康 科 学	2
	天 文 学	2
	自 然 認 識 の 歴 史	2
	技 術 史 ・ 技 術 論	2

C系列 (人間性を高める)	哲			学	2								
	倫		理	学	2								
	論		理	学	2								
	心		理	学	2								
	日	本	文	学	2								
	外	国	文	学	2								
	美			術	2								
	音			楽	2								
	映	像	文	化	論	2							
	伝	統	芸	能	2								
	武		道	論	2								
	考		古	学	2								
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	理	論	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	心	理	学	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	歴	史	と	社	会	2		
	講	座	「	ス	ポ	ー	ツ	と	人	間	」	2	
	ス	ポ	ー	ツ	演	習					1		
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	演	習			1		
D系列 (キャリア形成を行う)	職	業	と	人	生					2			
	文	章	表	現	の	基	礎				2		
	レ	ポ	ー	ト	の	書	き	方			2		
	ビ	ジ	ネ	ス	文	の	書	き	方		2		
	プ	レ	ゼ	ン	テ	ー	シ	ョ	ン	と	交	渉	2
	ロ	頭	表	現	の	技	法				2		
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	論				2		
歴	史	の	中	の	拓	殖	大	学		2			
E系列 (データ活用能力を養う)	A	I	・	デ	ー	タ	サイ	エ	ン	ス	基	礎	2
	I	T	パ	ス	ポ	ー	ト					2	
	情	報	リ	テ	ラ	シ	ー					2	
	数										学	2	
	統					計					学	2	

専門基礎科目(機械システム工学科)

数 学 ・ 物 理 ・ 化 学	基 礎 数 学	2
	解 析 学 I	②
	解 析 学 I 演 習	1
	解 析 学 II	②
	解 析 学 II 演 習	1
	解 析 学 III	2
	線 形 代 数 I	②
	線 形 代 数 II	②
	物 理 学 I	②
	物 理 学 II	②
	基 礎 科 学 実 験	②
	化 学 A	2
	化 学 B	2
英 語	E n g l i s h B a s i c L & S I	①
	E n g l i s h B a s i c L & S II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S II	①
	E n g l i s h B a s i c R & W I	①
	E n g l i s h B a s i c R & W II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W II	①
	E S P — A	2
	E S P — B	2
	T e s t P r e p a r a t i o n I — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n I — B	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — B	1
	A c a d e m i c S k i l l s A	1
	A c a d e m i c S k i l l s B	1
	A c a d e m i c S k i l l s C	1

専門基礎科目(電子システム工学科)

数 学 ・ 物 理 ・ 化 学	基 礎 数 学	2
	基 礎 数 学 演 習	1
	解 析 学 I	②
	解 析 学 I 演 習	1
	解 析 学 II	(2)
	解 析 学 II 演 習	1
	解 析 学 III	2
	線 形 代 数 I	②
	線 形 代 数 II	(2)
	物 理 学 I	(2)
	物 理 学 II	②
	基 礎 科 学 実 験	②
	化 学 A	2
	化 学 B	2
英 語	E n g l i s h B a s i c L & S I	①
	E n g l i s h B a s i c L & S II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S II	①
	E n g l i s h B a s i c R & W I	①
	E n g l i s h B a s i c R & W II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W II	①
	E S P — A	2
	E S P — B	2
	T e s t P r e p a r a t i o n I — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n I — B	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — B	1
	A c a d e m i c S k i l l s A	1
	A c a d e m i c S k i l l s B	1
	A c a d e m i c S k i l l s C	1

專門基礎科目(情報工学科)

数 学 ・ 物 理 ・ 化 学	解 析 学 I	2
	解 析 学 I 演 習	1
	解 析 学 II	2
	解 析 学 II 演 習	1
	解 析 学 III	2
	線 形 代 数 I	2
	線 形 代 数 II	2
	基 礎 解 析 I	2
	基 礎 解 析 II	2
	物 理 学 I	2
	物 理 学 II	2
	基 礎 科 学 実 験	2
	化 学 A	2
	化 学 B	2
英 語	E n g l i s h B a s i c L & S I	①
	E n g l i s h B a s i c L & S II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S II	①
	E n g l i s h B a s i c R & W I	①
	E n g l i s h B a s i c R & W II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W II	①
	E S P — A	2
	E S P — B	2
	T e s t P r e p a r a t i o n I — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n I — B	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — B	1
	A c a d e m i c S k i l l s A	1
	A c a d e m i c S k i l l s B	1
	A c a d e m i c S k i l l s C	1

専門基礎科目(デザイン学科)

数 学 ・ 物 理 ・ 化 学	解 析 学 I	2
	解 析 学 I 演 習	1
	解 析 学 II	2
	解 析 学 II 演 習	1
	解 析 学 III	2
	基 礎 解 析 I	2
	基 礎 解 析 II	2
	線 形 代 数 I	2
	線 形 代 数 II	2
	物 理 学 入 門	2
	物 理 学 I	2
	物 理 学 II	2
	基 礎 科 学 実 験	2
	化 学 A	2
	化 学 B	2
英 語	E n g l i s h B a s i c L & S I	①
	E n g l i s h B a s i c L & S II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e L & S II	①
	E n g l i s h B a s i c R & W I	①
	E n g l i s h B a s i c R & W II	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W I	①
	E n g l i s h I n t e r m e d i a t e R & W II	①
	E S P — A	2
	E S P — B	2
	T e s t P r e p a r a t i o n I — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n I — B	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — A	1
	T e s t P r e p a r a t i o n II — B	1
	A c a d e m i c S k i l l s A	1
	A c a d e m i c S k i l l s B	1
	A c a d e m i c S k i l l s C	1

専門科目(機械システム工学科)

必修科目	機械システム工学基礎 I	②
	機械システム工学基礎 II	②
	機械システム工学設計製図 I	②
	機械システム工学設計製図 II	②
	機械システム工学実験 I	②
	機械システム工学実験 II	②
	機械システム工学ゼミ	①
	機械システム工学輪講 I	①
	機械システム工学輪講 II	①
	卒業研究 I	③
	卒業研究 II	③
選択科目	図学	2
	工業力学 A	2
	電算機言語 I	2
	材料力学 I	2
	工業力学 B	2
	工業熱力学 I	2
	流れ学基礎	2
	電算機言語 II	2
	情報処理論	2
	機械工作法	2
	材料基礎論	2
	工業数学 I	2
	材料力学 II	2
	機械力学	2
	工業熱力学 II	2
	流体力学	2
	航空学基礎	2
	コンピュータ言語と演習	2
	基礎電気回路	2
	工業数学 II	2
	ロボティクスの基礎	2
	制御工学 I	2
	システム設計基礎	2
	学外実習	2
	伝熱工学	2
	輸送工学	2
	制御工学 II	2
	電気学	2
	ロボット工学	2
	メカトロニクス	2
	機械設計工学	2

	メカニズムの基礎	2
	エネルギー変換工学	2
	航空流体力学	2
	システム設計 A	2
	システム設計 B	2
	統計・信頼性工学	2
	知能システム工学	2
	自動設計 (CAD・CAM 論)	2
	栽培 I	1
	栽培 II	1
	木材加工	2
	技術者倫理	2
	日本語コミュニケーション I	2
	日本語コミュニケーション II	2
	国際エンジニア基礎ゼミ I	1
	国際エンジニア基礎ゼミ II	1
	国際エンジニア基礎ゼミ III	1
	講座「科学・技術と人間」	2
	知的財産権	2
	テクニカルライティング	2
	A I と社会	2
	ユーザエクスペリエンスデザイン	2
	事業化デザイン論	2
	English for Scientific Purposes	2
	Computer Literacy in English A	2
	Computer Literacy in English B	2
	Physics in English A	2
	Physics in English B	2
	Mathematics in English A	2
	Mathematics in English B	2
	Special Topics in Engineering A	2
	Special Topics in Engineering B	2
	Special Topics in Engineering C	2
	Basic Electric Circuits in English	2
	Design Basics in English	2
	Science and Technology in English A	2
	Science and Technology in English B	2
	Science and Technology in English C	2
選 択 科 目 ・ 教 職	職 業 指 導 I	2
	職 業 指 導 II	2

専門科目(電子システム工学科)

必修科目	システムエンジニア養成講座Ⅰ	①
	基礎電子工学実習	②
	コンピュータ基礎実習	②
	電子システム工学実験Ⅰ	②
	電子システム工学実験Ⅱ	②
	電子システム工学実験Ⅲ	②
	電子システム工学実験Ⅳ	②
	電子システム工学輪講Ⅰ	①
	電子システム工学輪講Ⅱ	①
	卒業研究Ⅰ	③
	卒業研究Ⅱ	③
選択科目	基礎電気回路	2
	電気回路Ⅰ	2
	電気回路Ⅰ演習	1
	コンピュータ基礎	2
	基礎電気数学	2
	プログラミング基礎及び演習Ⅰ	2
	基礎電磁気学	2
	電気回路Ⅱ	2
	電気回路Ⅱ演習	1
	デジタル回路	2
	デジタル回路演習	1
	プログラミング基礎及び演習Ⅱ	2
	電気・電子製図	2
	応用電磁気学	2
	電気磁気測定	2
	電子回路Ⅰ	2
	回路設計Ⅰ	2
	応用フーリエ解析	2
	コンピュータハードウェアⅠ	2
	プログラミング論A	2
	電気法規及び施設管理	2
	コンピュータネットワーク	2
	高周波・測定	2
	音響工学	2
	半導体デバイス	2
	電子回路Ⅱ	2
	回路設計Ⅱ	2
	通信方式	2

プログラミング論 B	2
応用確率論	2
電気機器学	2
生体計測工学	2
マイクロコンピュータ	2
デジタル信号処理	2
電子材料・物性	2
エレクトロニクス応用実験	2
自動制御	2
パルス回路	2
通信ネットワーク	2
画像工学	2
コンピュータハードウェア II	2
応用プログラミング	2
生体電子情報工学	2
センサ工学	2
発電工学	2
電波法規	2
パワーエレクトロニクス概論	2
システムエンジニア養成講座 II	1
学外実習	1
技術者倫理	2
日本語コミュニケーション I	2
日本語コミュニケーション II	2
国際エンジニア基礎ゼミ I	1
国際エンジニア基礎ゼミ II	1
国際エンジニア基礎ゼミ III	1
講座「科学・技術と人間」	2
知的財産権	2
テクニカルライティング	2
A I と社会	2
ユーザエクスペリエンスデザイン	2
事業化デザイン論	2
English for Scientific Purposes	2
Computer Literacy in English A	2
Computer Literacy in English B	2
Physics in English A	2
Physics in English B	2
Mathematics in English A	2
Mathematics in English B	2

	Special Topics in Engineering A	2
	Special Topics in Engineering B	2
	Special Topics in Engineering C	2
	Basic Electric Circuits in English	2
	Design Basics in English	2
	Science and Technology in English A	2
	Science and Technology in English B	2
	Science and Technology in English C	2
選 択 科 目 ・ 教 職	職 業 指 導 I	2
	職 業 指 導 II	2

専門科目(情報工学科)

必修科目	基礎ゼミ	②
	コンピュータリテラシー	②
	卒業研究 I	③
	卒業研究 II	③
	情報工学輪講	②
選択科目	プログラミング I	2
	プログラミング II	2
	情報工学概論	2
	情報メディア実験	2
	計算機工学	2
	センサ工学	2
	信号処理	2
	電子回路	2
	論理回路	2
	プログラミング基礎 I	2
	プログラミング基礎 II	2
	情報セキュリティ	2
	サイバーセキュリティ演習	2
	情報リスクマネジメント	2
	データ構造とアルゴリズム	2
	データ構造とアルゴリズム演習	2
	確率統計	2
	アセンブリ言語	2
	情報コミュニケーション技術	2
	応用プログラミング	2
	音と音声	2
	オープンソースソフトウェア	2
	オペレーティングシステム	2
	コンピュータアーキテクチャ	2
	コンピュータネットワーク	2
	データベース	2
	データサイエンス	2
	知的データ処理演習	2
	ソフトウェア工学	2
	ソフトウェア工学演習	2
	ヒューマンインタフェース	2
	情報機器インタフェース	2
	情報とモノづくり	2
	情報工学特講 A	2

通 信 工 学	2
グ ラ フ ィ ッ ク ス の 理 論	2
情 報 技 術 者 演 習	2
コ ン パ イ ラ	2
情 報 シ ス テ ム の 構 成	2
コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス	2
ロ ボ ッ ト 工 学	2
画 像 工 学	2
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	2
情 報 工 学 と 職 業	2
情 報 工 学 特 講 B	2
人 工 知 能	2
W e b ア プ リ ケ ー シ ョ ン & サ ー ビ ス 演 習	2
ス マ ー ト シ ス テ ム 演 習	2
学 外 実 習	2
W e b ア プ リ ケ ー シ ョ ン & サ ー ビ ス	2
シ ミ ュ レ ー シ ョ ン と モ デ ル	2
ビ ジ ュ アル コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ 演 習	2
自 然 言 語 処 理	2
パ タ ー ン 認 識 と 機 械 学 習	2
デ ー タ リ テ ラ シ ー	2
特 別 卒 業 研 究	2
技 術 者 倫 理	2
日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	2
日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	2
国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ I	1
国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ II	1
国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ III	1
講 座 「 科 学 ・ 技 術 と 人 間 」	2
知 的 財 産 権	2
テ ク ニ カ ル ラ イ テ ィ ン グ	2
A I と 社 会	2
ユ ー ザ エ ク ス ペ リ エ ン ス デ ザ イン	2
事 業 化 デ ザ イン 論	2
English for Scientific Purposes	2
Computer Literacy in English A	2
Computer Literacy in English B	2
Ph y s i c s i n E n g l i s h A	2
Ph y s i c s i n E n g l i s h B	2
Mathematics in English A	2

	Mathematics in English B	2
	Special Topics in Engineering A	2
	Special Topics in Engineering B	2
	Special Topics in Engineering C	2
	Basic Electric Circuits in English	2
	Design Basics in English	2
	Science and Technology in English A	2
	Science and Technology in English B	2
	Science and Technology in English C	2
選 択 科 目 ・ 教 職	職 業 指 導 I	2
	職 業 指 導 II	2

専門科目(デザイン学科)

必修科目	基礎ゼミ	②
	コンピュータリテラシー	②
	卒業研究 I	③
	卒業研究 II	③
	デザイン学輪講	②
選択科目	デザイン基礎 A ・ 演習	3
	デザイン基礎 B ・ 演習	3
	デザイン史	2
	デザインプロジェクト・演習	3
	ソーシャルデザイン・演習	3
	エンパシーデザイン・演習	3
	感性デザイン・演習	3
	生活デザイン I	2
	生活デザイン II ・ 演習	3
	生活デザイン III ・ 演習	3
	プロダクトデザイン I ・ 演習	3
	プロダクトデザイン II ・ 演習	3
	プロダクトデザイン III ・ 演習	3
	メディアデザイン・演習	3
	視覚デザイン・演習	3
	コミュニケーションデザイン・演習	3
	コンテンツデザイン 演習	2
	Web デザイン 演習	2
	コンテンツマーケティング	2
	デザイン材料学	2
	ユニバーサルデザイン	2
	アカデミックリテラシー	2
	デザイン表現法・演習	3
	デジタルデザイン基礎実習	2
	C A D 実習	2
	広告コミュニケーション表現	2
	デジタルデザイン応用実習	2
	図学・デザイン製図	3
	色彩計画	2
	感性デザイン論	2
	プロダクトデザイン論	2
	Web デザイン論	2
	用品設計・演習	3
	室内設計・演習	3

	C G 表 現 ・ 演 習	3
	ソ ー シ ャ ル デ ザ イ ン 論	2
	景 観 デ ザ イ ン 論	2
	視 覚 デ ザ イ ン 論	2
	ユーザエクスペリエンスデザイン	2
	キ ャ リ ア 形 成 論	2
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 実 習	2
	事 業 化 デ ザ イ ン 論	2
	技 術 者 倫 理	2
	日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	2
	日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	2
	国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ I	1
	国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ II	1
	国 際 エ ン ジ ニ ア 基 礎 ゼ ミ III	1
	講 座 「 科 学 ・ 技 術 と 人 間 」	2
	知 的 財 産 権	2
	テ ク ニ カ ル ラ イ テ ィ ン グ	2
	A I と 社 会	2
	English for Scientific Purposes	2
	Computer Literacy in English A	2
	Computer Literacy in English B	2
	Physics in English A	2
	Physics in English B	2
	Mathematics in English A	2
	Mathematics in English B	2
	Special Topics in Engineering A	2
	Special Topics in Engineering B	2
	Special Topics in Engineering C	2
	Basic Electric Circuits in English	2
	Design Basics in English	2
	Science and Technology in English A	2
	Science and Technology in English B	2
	Science and Technology in English C	2
選 択 科 目 ・ 教 職	職 業 指 導 I	2
	職 業 指 導 II	2

自由科目(機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科、デザイン学科共通)

自 由 科 目	E n g l i s h W o r k s h o p A	1
	E n g l i s h W o r k s h o p B	1
	ド イ ツ 語 I	1
	ド イ ツ 語 II	1
	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 非 言 語	2
	職 業 能 力 基 礎 (S P I) 言 語	2
	海 外 研 修 (短 期 留 学)	2
	☆ 工 学 日 本 語 I - A	1
	☆ 工 学 日 本 語 I - B	1
	☆ 総 合 日 本 語 I - A	1
	☆ 総 合 日 本 語 I - B	1
	☆ 工 学 日 本 語 II - A	1
	☆ 工 学 日 本 語 II - B	1
	☆ 総 合 日 本 語 II - A	1
	☆ 総 合 日 本 語 II - B	1
	工 学 部 の 他 学 科 の 科 目	
	他 学 部 の 科 目	
	自 学 科 の 必 修 科 目 以 外 の 科 目	
	単位互換協定に基づく単位互換科目	

国 際 学 部

必修 数字白ヌキ
 選択必修 数字()印
 外国人留学生 ☆印

全学共通教養科目

A系列 (国際性を高める)	S D G s 基 礎	2
	日 本 史	2
	東 洋 史	2
	イスラム社会の歴史と文化	2
	西 洋 史	2
	西 洋 文 化 史	2
	宗 教 学	2
	人 文 地 理 学	2
	安全と危機管理	2
	現代の国際関係	2
	防災と安全	2
	文化人類学	2
	生態学	2
	環境科学	2
	講座「拓く力」(世界の中の日本)	2
B系列 (専門性の幅を広げる)	日 本 国 憲 法	2
	政 治 学	2
	社 会 学	2
	経 済 学	2
	経 営 学	2
	流通論	2
	近代社会の思想史	2
	コミュニティ論	2
	福祉学	2
	ジェンダー論	2
	地球科学	2
	物理学	2
	化学	2
	生物	2
	健康科学	2
	天文学	2
	自然認識の歴史	2
	技術史・技術論	2
C系列 (人間性を高める)	哲 学	2
	倫 理 学	2

	論	理	学	2									
	心	理	学	2									
	日	本	文	学	2								
	外	国	文	学	2								
	美		術	2									
	音		楽	2									
	映	像	文	化	論	2							
	伝	統	芸	能	2								
	武	道	論	2									
	考	古	学	2									
	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	理	論	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	心	理	学	2				
	ス	ポ	ー	ツ	の	歴	史	と	社	会	2		
	講	座	「	ス	ポ	ー	ツ	と	人	間	」	2	
	ス	ポ	ー	ツ	演	習	1						
ト	レ	ー	ニ	ン	グ	演	習	1					
D系列 (キャリア形成を行う)	職	業	と	人	生	2							
	文	章	表	現	の	基	礎	2					
	レ	ポ	ー	ト	の	書	き	方	2				
	ビ	ジ	ネ	ス	文	の	書	き	方	2			
	プ	レ	ゼ	ン	テ	ー	シ	ョ	ン	と	交	渉	2
	口	頭	表	現	の	技	法	2					
	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	論	2					
	歴	史	の	中	の	拓	殖	大	学	2			
E系列 (データ活用能力を養う)	A	I	・	デ	ー	タ	サイ	エ	ン	ス	基	礎	2
	I	T	パ	ス	ポ	ー	ト	2					
	情	報	リ	テ	ラ	シ	ー	2					
	数						学	2					
	統				計		学	2					

外国語科目

英	語	English Foundation Skills I	①
		English Foundation Skills II	①
		English Foundation Skills III	①
		English Foundation Skills IV	①
		English Oral Communication Skills I	①
		English Oral Communication Skills II	①
		English Oral Communication Skills III	①
		English Oral Communication Skills IV	①
		English Presentation Skills I	①

	English Presentation Skills II										①
	English Presentation Skills III										①
	English Presentation Skills IV										①
	E	S				P				I	②
	E	S				P				II	②
	E	S				P				III	②
	E	S				P				IV	②
	E	S				P				V	②
	E	S				P				VI	②
	E	S				P				VII	②
	実	用		英		語		I	1		
	実	用		英		語		II	1		
	実	用		英		語		III	①		
	実	用		英		語		IV	①		
	上級	実	用	英	語	I	—	A	1		
	上級	実	用	英	語	I	—	B	1		
	上級	実	用	英	語	II	—	A	1		
	上級	実	用	英	語	II	—	B	1		
地域言語	初級	アラビア語				I	—	A	(1)		
	初級	アラビア語				I	—	B	(1)		
	初級	アラビア語				II	—	A	(1)		
	初級	アラビア語				II	—	B	(1)		
	アラビア語リーディング										(1)
	中級	アラビア語				I	—	A	(1)		
	中級	アラビア語				I	—	B	(1)		
	中級	アラビア語				II	—	A	(1)		
	中級	アラビア語				II	—	B	(1)		
	アラビア語ライティング										(1)
	初級	ブラジル・ポルトガル語				I	—	A	(1)		
	初級	ブラジル・ポルトガル語				I	—	B	(1)		
	初級	ブラジル・ポルトガル語				II	—	A	(1)		
	初級	ブラジル・ポルトガル語				II	—	B	(1)		
	ブラジル・ポルトガル語リーディング										(1)
	中級	ブラジル・ポルトガル語				I	—	A	(1)		
	中級	ブラジル・ポルトガル語				I	—	B	(1)		
	中級	ブラジル・ポルトガル語				II	—	A	(1)		
	中級	ブラジル・ポルトガル語				II	—	B	(1)		
	ブラジル・ポルトガル語ライティング										(1)
	初級	中国語				I	—	A	(1)		
	初級	中国語				I	—	B	(1)		

初	級	中	国	語	Ⅱ	—	A	(1)
初	級	中	国	語	Ⅱ	—	B	(1)
中	国	語	リ	ー	デ	ィ	ン	グ
中	級	中	国	語	Ⅰ	—	A	(1)
中	級	中	国	語	Ⅰ	—	B	(1)
中	級	中	国	語	Ⅱ	—	A	(1)
中	級	中	国	語	Ⅱ	—	B	(1)
中	国	語	ラ	イ	テ	ィ	ン	グ
初	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅰ
初	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅰ
初	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅱ
初	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅱ
ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	リ	ー	デ
中	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅰ
中	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅰ
中	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅱ
中	級	ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	Ⅱ
ヒ	ン	デ	ィ	ー	語	ラ	イ	テ
初	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
初	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
初	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
初	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	リ	ー
中	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
中	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
中	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
中	級	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語
イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	ラ	イ
初	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅰ
初	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅰ
初	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅱ
初	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅱ
マ	レ	ー	シ	ア	語	リ	ー	デ
中	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅰ
中	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅰ
中	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅱ
中	級	マ	レ	ー	シ	ア	語	Ⅱ
マ	レ	ー	シ	ア	語	ラ	イ	テ
初	級	韓	国	語	Ⅰ	—	A	(1)
初	級	韓	国	語	Ⅰ	—	B	(1)

初級	韓国語	Ⅱ	—	A	(1)
初級	韓国語	Ⅱ	—	B	(1)
韓国語	リーディング				(1)
中級	韓国語	Ⅰ	—	A	(1)
中級	韓国語	Ⅰ	—	B	(1)
中級	韓国語	Ⅱ	—	A	(1)
中級	韓国語	Ⅱ	—	B	(1)
韓国語	ライティング				(1)
初級	スペイン語	Ⅰ	—	A	(1)
初級	スペイン語	Ⅰ	—	B	(1)
初級	スペイン語	Ⅱ	—	A	(1)
初級	スペイン語	Ⅱ	—	B	(1)
スペイン語	リーディング				(1)
中級	スペイン語	Ⅰ	—	A	(1)
中級	スペイン語	Ⅰ	—	B	(1)
中級	スペイン語	Ⅱ	—	A	(1)
中級	スペイン語	Ⅱ	—	B	(1)
スペイン語	ライティング				(1)
初級	タイ語	Ⅰ	—	A	(1)
初級	タイ語	Ⅰ	—	B	(1)
初級	タイ語	Ⅱ	—	A	(1)
初級	タイ語	Ⅱ	—	B	(1)
タイ語	リーディング				(1)
中級	タイ語	Ⅰ	—	A	(1)
中級	タイ語	Ⅰ	—	B	(1)
中級	タイ語	Ⅱ	—	A	(1)
中級	タイ語	Ⅱ	—	B	(1)
タイ語	ライティング				(1)
初級	ベトナム語	Ⅰ	—	A	(1)
初級	ベトナム語	Ⅰ	—	B	(1)
初級	ベトナム語	Ⅱ	—	A	(1)
初級	ベトナム語	Ⅱ	—	B	(1)
ベトナム語	リーディング				(1)
中級	ベトナム語	Ⅰ	—	A	(1)
中級	ベトナム語	Ⅰ	—	B	(1)
中級	ベトナム語	Ⅱ	—	A	(1)
中級	ベトナム語	Ⅱ	—	B	(1)
ベトナム語	ライティング				(1)
初級	フィリピン語	Ⅰ	—	A	(1)
初級	フィリピン語	Ⅰ	—	B	(1)

初 級	フ ィ リ ピ ン 語	Ⅱ	—	A	(1)
初 級	フ ィ リ ピ ン 語	Ⅱ	—	B	(1)
	フ ィ リ ピ ン 語		リ ー デ ィ ン グ		(1)
中 級	フ ィ リ ピ ン 語	I	—	A	(1)
中 級	フ ィ リ ピ ン 語	I	—	B	(1)
中 級	フ ィ リ ピ ン 語	Ⅱ	—	A	(1)
中 級	フ ィ リ ピ ン 語	Ⅱ	—	B	(1)
	フ ィ リ ピ ン 語		ラ イ テ ィ ン グ		(1)
上 級	ア ラ ビ ア 語	I			1
上 級	ア ラ ビ ア 語	Ⅱ			1
上 級	ブラジル・ポルトガル語	I			1
上 級	ブラジル・ポルトガル語	Ⅱ			1
	ブラジル・ポルトガル語	上 級	リ ー デ ィ ン グ		1
			& ラ イ テ ィ ン グ I		
	ブラジル・ポルトガル語	上 級	リ ー デ ィ ン グ		1
			& ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		
上 級	中 国 語	I			1
上 級	中 国 語	Ⅱ			1
	中国語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ I		1
	中国語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		1
上 級	ヒ ン デ ィ ー 語	I			1
上 級	ヒ ン デ ィ ー 語	Ⅱ			1
上 級	イ ン ド ネ シ ア 語	I			1
上 級	イ ン ド ネ シ ア 語	Ⅱ			1
	インドネシア語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ I		1
	インドネシア語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		1
上 級	マ レ ー シ ア 語	I			1
上 級	マ レ ー シ ア 語	Ⅱ			1
上 級	韓 国 語	I			1
上 級	韓 国 語	Ⅱ			1
	韓国語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ I		1
	韓国語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		1
上 級	ス ペ イ ン 語	I			1
上 級	ス ペ イ ン 語	Ⅱ			1
	スペイン語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ I		1
	スペイン語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		1
上 級	タ イ 語	I			1
上 級	タ イ 語	Ⅱ			1
	タイ語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ I		1
	タイ語	上 級	リ ー デ ィ ン グ & ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		1

		上 級 ベ ト ナ ム 語 I	1
		上 級 ベ ト ナ ム 語 II	1
		ベトナム語上級リーディング&ライティング I	1
		ベトナム語上級リーディング&ライティング II	1
		上 級 フ ィ リ ピ ン 語 I	1
		上 級 フ ィ リ ピ ン 語 II	1
		フィリピン語上級リーディング&ライティング I	1
		フィリピン語上級リーディング&ライティング II	1
日 本 語	☆	日本語オーラル・コミュニケーション IーA	①
	☆	日本語オーラル・コミュニケーション IーB	①
	☆	日本語オーラル・コミュニケーション II	①
	☆	日本語オーラル・コミュニケーション III	①
	☆	日本語オーラル・コミュニケーション IV	①
	☆	日本語リーディング&ライティング IーA	①
	☆	日本語リーディング&ライティング IーB	①
	☆	日本語リーディング&ライティング II	①
	☆	日本語リーディング&ライティング III	①
	☆	日本語リーディング&ライティング IV	①
	☆	日 本 を 知 る I	②
	☆	日 本 を 知 る II	②
	☆	日 本 を 知 る III	②

専門科目

専門共通科目	コース入門	国際学入門 I ②	2
		国際学入門 II ②	2
		国際協力入門 (2)	
		国際経済入門 (2)	
		国際政治入門 (2)	
		国際文化入門 (2)	
		国際観光入門 (2)	
		農業総合入門 (2)	
地域研究	中国	2	
	朝鮮半島	2	
	東南アジア	2	
	ラテンアメリカ・オセアニア	2	
	北米	2	
	アフリカ	2	
	南アジア	2	
	中央アジア・中東	2	
経済・社会・心理	ヨーロッパ	2	
	現代の経済と社会	2	
	国際社会学	2	
	地域研究の方法	2	
	実践のまちづくり	2	
	メンタルトレーニング	2	
	会計学 I	2	
	会計学 II	2	
法律・政治	社会調査法	2	
	地球環境	2	
	法律学概論 I	2	
	法律学概論 II	2	
	国際法	2	
	国際経済法	2	
	民法	2	
	国際取引法	2	
情報	データベース I ②	2	
	データベース II ②	2	
	開発データベース分析 I	2	
	開発データベース分析 II	2	
	地域データベース分析	2	
教職	日本史概論 I	2	
	日本史概論 II	2	

		外	国	史	概	論	I	2
		外	国	史	概	論	II	2
		人	文	地	理	学	概	論
		人	文	地	理	学	概	論
		自	然	地	理	学	概	論
		自	然	地	理	学	概	論
		地	誌	学	概	論	I	2
		地	誌	学	概	論	II	2

コース専門科目

(国際学科 国際協力コース)

コース専門科目	コース基本科目	国 際 協 力 論 ② O D A 概 論 ② 卒 業 論 文 ④
	国・地域別選択科目	台 湾 の 政 治 と 経 済 2 朝 鮮 半 島 の 政 治 と 経 済 2 マレーシア・シンガポールの政治と経済 2 タ イ の 政 治 と 経 済 2 フ ィ リ ピ ン の 政 治 と 経 済 2 イ ン ド ネ シ ア の 政 治 と 経 済 2 イ ン ド シ ナ の 政 治 と 経 済 2 ア フ リ カ の 政 治 と 経 済 2 中 東 の 政 治 と 経 済 2 オ セ ア ニ ア の 政 治 と 経 済 2 南 ア ジ ア の 政 治 と 経 済 2 北 米 の 経 済 2 ラ テ ン ア メ リ カ の 経 済 2 イ ン ド の 経 済 2 中 国 の 経 済 2
	テーマ別選択科目&ゼミナール	イ ン フ ラ 開 発 2 ジ ェ ン ダ ー と 開 発 2 環 境 経 済 学 2 開 発 コ ン サ ル テ ィ ン グ 2 コ ミ ュ ニ テ ィ 開 発 2 都 市 開 発 2 制 度 開 発 2 開 発 と N G O 2 開 発 と 貧 困 2 環 境 政 策 2 ア ジ ア の 環 境 問 題 2 開 発 教 育 2 開 発 経 済 学 2 経 済 発 展 2 都 市 交 通 計 画 2 平 和 構 築 2 人 口 学 2 新 興 国 ビ ジ ネ ス 論 2 国 際 社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア 2 グ ロ ー バ ル フ ァ シ リ テ ー シ ョ ン 2

		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	I	2
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	II	2
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	III	2
		ク	ラ	ス	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	②	
	2		年		ゼ	ミ	ナ	ー	ル		4
	3		年		ゼ	ミ	ナ	ー	ル		4
	4		年		ゼ	ミ	ナ	ー	ル		4

(国際学科 国際経済コース)

コース専門科目	コース基本科目	開 発 経 済 学 ②	
		国 際 経 済 学 ②	
国・地域別選択科目		卒 業 論 文 ④	
		台 湾 の 政 治 と 経 済 2	
国・地域別選択科目		朝 鮮 半 島 の 政 治 と 経 済 2	
		マレーシア・シンガポールの政治と経済 2	
国・地域別選択科目		タ イ の 政 治 と 経 済 2	
		フ ィ リ ピ ン の 政 治 と 経 済 2	
国・地域別選択科目		イ ン ド ネ シ ア の 政 治 と 経 済 2	
		イ ン ド シ ナ の 政 治 と 経 済 2	
国・地域別選択科目		ア フ リ カ の 政 治 と 経 済 2	
		中 東 の 政 治 と 経 済 2	
国・地域別選択科目		オ セ ア ニ ア の 政 治 と 経 済 2	
		南 ア ジ ア の 政 治 と 経 済 2	
国・地域別選択科目		北 米 の 経 済 2	
		ラ テ ン ア メ リ カ の 経 済 2	
国・地域別選択科目		イ ン ド の 経 済 2	
		中 国 の 経 済 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		マ ク ロ 経 済 学 2	
		ミ ク ロ 経 済 学 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		環 境 経 済 学 2	
		国 際 金 融 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		日 本 経 済 2	
		在 外 華 人 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		世 界 経 済 2	
		人 口 学 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		資 源 論 2	
		国 際 経 営 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		観 光 産 業 2	
		ア ジ ア の 環 境 問 題 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		経 済 発 展 2	
		地 域 統 合 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		産 業 論 2	
		新 興 国 ビ ジ ネ ス 論 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		地 域 経 済 論 2	
		国 際 社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 I 2	
		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 II 2	
テーマ別選択科目&ゼミナール		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 III 2	

		ク	ラ	ス	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	②
		2	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	
		3	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	
		4	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	

(国際学科 国際政治コース)

コース専門科目	コース基本科目	国 際 政 治 ② 安 全 保 障 ② 卒 業 論 文 ④
	国・地域別選択科目	台 湾 の 政 治 と 経 済 2 朝 鮮 半 島 の 政 治 と 経 済 2 マレーシア・シンガポールの政治と経済 2 タ イ の 政 治 と 経 済 2 フ ィ リ ピ ン の 政 治 と 経 済 2 イ ン ド ネ シ ア の 政 治 と 経 済 2 イ ン ド シ ナ の 政 治 と 経 済 2 ア フ リ カ の 政 治 と 経 済 2 中 東 の 政 治 と 経 済 2 オ セ ア ニ ア の 政 治 と 経 済 2 南 ア ジ ア の 政 治 と 経 済 2 北 米 の 政 治 2 イ ン ド の 政 治 2 日 本 と 中 国 2 中 国 の 政 治 2 日 米 関 係 2 ラ テ ン ア メ リ カ の 政 治 2 ア ジ ア 史 2 ロ シ ア ・ 中 東 欧 2
	テーマ別選択科目&ゼミナール	開 発 経 済 学 2 政 治 と 民 族 2 平 和 構 築 2 民 族 と 宗 教 2 開 発 と N G O 2 国 際 協 力 論 2 資 源 論 2 国 際 紛 争 2 地 域 統 合 2 日 本 外 交 史 2 現 代 の ジ ャ ー ナ リ ズ ム 2 経 済 発 展 2 O D A 概 論 2 国 際 社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア 2 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 I 2 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 II 2 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 III 2

		ク	ラ	ス	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	②
		2	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	
		3	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	
		4	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4	

(国際学科 国際文化コース)

コース専門科目	コース基本科目	比較文化② 民族と宗教② 卒業論文④
	国・地域別選択科目	台湾の歴史と文化 2 朝鮮半島の歴史と文化 2 タイの歴史と文化 2 インドネシアの歴史と文化 2 マレーシアの歴史と文化 2 フィリピンの歴史と文化 2 インドシナの歴史と文化 2 南アジアの歴史と文化 2 米国の歴史と文化 2 ラテンアメリカの歴史と文化 2 オセアニアの歴史と文化 2 アフリカの歴史と文化 2 アジア史 2 日本の歴史 2 日本の文化 2 中国の歴史と文化 2
	テーマ別選択科目&ゼミナール	ジェンダーと開発 2 開発とNGO 2 在外華人 2 現代のジャーナリズム 2 言語と文化 2 エコツアーリズム 2 観光と文化 2 国際社会とボランティア 2 ボランティア活動Ⅰ 2 ボランティア活動Ⅱ 2 ボランティア活動Ⅲ 2 クラスゼミナール② 2年ゼミナール 4 3年ゼミナール 4 4年ゼミナール 4

(国際学科 国際観光コース)

コース専門科目	コース基本科目	国	際	観	光	②									
		観	光	産	業	②									
		卒	業	論	文	④									
国・地域別選択科目		中	国	の	歴	史	と	文	化	2					
		台	湾	の	歴	史	と	文	化	2					
		朝	鮮	半	島	の	歴	史	と	文	化	2			
		タ	イ	の	歴	史	と	文	化	2					
		イ	ン	ド	ネ	シ	ア	の	歴	史	と	文	化	2	
		マ	レ	ー	シ	ア	の	歴	史	と	文	化	2		
		フ	ィ	リ	ピ	ン	の	歴	史	と	文	化	2		
		イ	ン	ド	シ	ナ	の	歴	史	と	文	化	2		
		南	ア	ジ	ア	の	歴	史	と	文	化	2			
		米	国	の	歴	史	と	文	化	2					
		ラ	テ	ン	ア	メ	リ	カ	の	歴	史	と	文	化	2
		オ	セ	ア	ニ	ア	の	歴	史	と	文	化	2		
		ア	フ	リ	カ	の	歴	史	と	文	化	2			
		ア	ジ	ア	史	2									
		日	本	の	歴	史	2								
		日	本	の	文	化	2								
テーマ別選択科目 &ゼミナール		民	族	と	宗	教	2								
		環	境	政	策	2									
		観	光	と	開	発	2								
		観	光	交	通	2									
		リ	ゾ	ー	ト	開	発	2							
		ホ	ス	ピ	タ	リ	テ	ィ	2						
		観	光	と	文	化	2								
		観	光	社	会	学	2								
		観	光	危	機	管	理	2							
		エ	コ	ツ	ー	リ	ズ	ム	2						
		比	較	文	化	2									
		観	光	政	策	2									
		観	光	と	地	域	2								
		新	興	国	ビ	ジ	ネ	ス	論	2					
		国	際	社	会	と	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	2		
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	I	2				
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	II	2				
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	III	2				
		ク	ラ	ス	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	②					
		2	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4						
		3	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4						
		4	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	4						

(国際学科 農業総合コース)

コース専門科目	コース基本科目	農 業 基 礎 と 世 界 の 土 壌 ②	
		農 業 生 態 学 ②	
		卒 業 論 文 ④	
	国・地域別選択科目	中 国 の 経 済 2	
		タ イ の 政 治 と 経 済 2	
		イ ン ド ネ シ ア の 政 治 と 経 済 2	
		ア フ リ カ の 政 治 と 経 済 2	
		中 東 の 政 治 と 経 済 2	
		北 米 の 経 済 2	
		ラ テ ン ア メ リ カ の 経 済 2	
		南 ア ジ ア の 政 治 と 経 済 2	
		台 湾 の 政 治 と 経 済 2	
		朝 鮮 半 島 の 政 治 と 経 済 2	
		マレーシア・シンガポールの政治と経済 2	
		フ ィ リ ピ ン の 政 治 と 経 済 2	
		イ ン ド シ ナ の 政 治 と 経 済 2	
		イ ン ド の 経 済 2	
		オ セ ア ニ ア の 政 治 と 経 済 2	
	テーマ別選択科目 &ゼミナール	森 林 生 態 学 2	
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ の 農 業 2	
		環 境 政 策 2	
		資 源 論 2	
		開 発 経 済 学 2	
		開 発 と 貧 困 2	
		コ ミ ュ ニ テ ィ 開 発 2	
		農 業 入 門 演 習 I ー A 2	
		農 業 入 門 演 習 I ー B 2	
		国 際 農 業 協 力 論 2	
		農 業 と 開 発 2	
		開 発 と N G O 2	
		ア ジ ア の 環 境 問 題 2	
		環 境 経 済 学 2	
		国 際 社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア 2	
		農 業 入 門 演 習 II 2	
		農 業 応 用 演 習 I 2	
		農 業 応 用 演 習 II 2	
		農 業 応 用 演 習 III 2	
		農 業 応 用 演 習 IV 2	
		農 産 加 工 演 習 2	

		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	I	2
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	II	2
		ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	活	動	III	2
		ク	ラ	ス	ゼ	ミ	ナ	ー	ル	②	
		2	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル			4
		3	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル			4
		4	年	ゼ	ミ	ナ	ー	ル			4
		北	短	提	供	科	目				

(国際学科 国際スポーツコース)

コース専門科目	コース基本科目	ス ポ ー ツ と 国 際 協 力 ②	
		ス ポ ー ツ と 生 涯 教 育 ②	
		卒 業 論 文 ④	
国・地域別選択科目		台 湾 の 歴 史 と 文 化	2
		朝 鮮 半 島 の 歴 史 と 文 化	2
		タ イ の 歴 史 と 文 化	2
		イ ン ド ネ シ ア の 歴 史 と 文 化	2
		マ レ ー シ ア の 歴 史 と 文 化	2
		フ ィ リ ピ ン の 歴 史 と 文 化	2
		イ ン ド シ ナ の 歴 史 と 文 化	2
		南 ア ジ ア の 歴 史 と 文 化	2
		米 国 の 歴 史 と 文 化	2
		ラ テ ン ア メ リ カ の 歴 史 と 文 化	2
		オ セ ア ニ ア の 歴 史 と 文 化	2
		ア フ リ カ の 歴 史 と 文 化	2
		ア ジ ア 史	2
		日 本 の 歴 史	2
		日 本 の 文 化	2
		中 国 の 歴 史 と 文 化	2
テーマ別選択科目&ゼミナール		開 発 と N G O	2
		開 発 経 済 学	2
		ス ポ ー ツ と 国 際 社 会	2
		体 育 及 び レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導	2
		ス ポ ー ツ 医 学 A	2
		ス ポ ー ツ 経 営 論	2
		コ ー チ ン グ 論 A	2
		ス ポ ー ツ 栄 養 学	2
		ス ポ ー ツ 医 学 B	2
		競 技 者 養 成 シ ス テ ム 論	2
		コ ー チ ン グ 論 B	2
		武 道 論 演 習 I	2
		武 道 論 演 習 II	2
		グ ロ ー バ ル フ ァ シ リ テ ー シ ョ ン	2
		国 際 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	2
		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 I	2
		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 II	2
		ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 III	2
		ク ラ ス ゼ ミ ナ ー ル ②	
		2 年 ゼ ミ ナ ー ル	4

		3 年 ゼ ミ ナ ー ル	4
		4 年 ゼ ミ ナ ー ル	4

自由科目

自由科目	職業能力基礎（SPI）非言語	2
	職業能力基礎（SPI）言語	2
	国際特別講座	2
	開発研修Ⅰ	2
	開発研修Ⅱ	2
	開発研修Ⅲ	2
	長期開発研修Ⅰ	6
	長期開発研修Ⅱ	6
	次の科目区分から選択履修する。	
	全学共通教養科目	
	外国語科目	
	専門科目	
	他学部・他コース科目	
	教職課程科目	
	拓殖大学日本語教員養成講座科目	
	単位互換協定に基づく単位互換科目	

教職課程科目

1. 教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）

科 目 名 及 び 単 位 数	免 許 状 の 種 類	開 設 学 部
職 業 指 導 4	高校 商 業	商 学 部
情 報 と 職 業 2	高校 情 報	

※ 上記科目の他、その他の教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）は、各学科の配当科目と共通

2. 教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法）

科 目 名 及 び 単 位 数	免 許 状 の 種 類	開 設 学 部
社会科・地理歴史科教育法 4	中学 社 会 高校 地 理 歴 史	商・政経・国際学部
社会科・公民科教育法 4	中学 社 会 高校 公 民	
商 業 科 教 育 法 4	高校 商 業	商 学 部
情 報 科 教 育 法 4	高校 情 報	商 ・ 工 学 部
英 語 科 教 育 法 I 2	中学 英 語	外国語学部
英 語 科 教 育 法 II 2	高校 英 語	
英 語 科 教 育 法 III 2		
英 語 科 教 育 法 IV 2		
中 国 語 科 教 育 法 I 2	中学 中 国 語	
中 国 語 科 教 育 法 II 2	高校 中 国 語	
中 国 語 科 教 育 法 III 2		
中 国 語 科 教 育 法 IV 2		
イ ス パ ニ ア 語 科 教 育 法 I 2	中学 イ ス パ ニ ア 語	
イ ス パ ニ ア 語 科 教 育 法 II 2	高校 イ ス パ ニ ア 語	
イ ス パ ニ ア 語 科 教 育 法 III 2		
イ ス パ ニ ア 語 科 教 育 法 IV 2		
国 語 科 教 育 法 I 2	中学 国 語	
国 語 科 教 育 法 II 2	高校 国 語	
国 語 科 教 育 法 III 2		
国 語 科 教 育 法 IV 2		
工 業 科 教 育 法 4	高校 工 業	工学部
技 術 科 教 育 法 I 2	中学 技 術	
技 術 科 教 育 法 II 2		
技 術 科 教 育 法 III 2		
技 術 科 教 育 法 IV 2		

3. 大学が独自に設定する科目

科目名及び単位数	免許状の種類	開設学部
介護等体験 2	中学教諭 高校教諭	全学部

4. 教育の基礎的理解に関する科目等

科目区分	科目名及び単位数	最低修得単位数	開設学部
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理 2 教育史 2 教職論 2 教育社会学 2 生涯学習概論 2 教育・発達心理学 2 特別支援教育論 2 教育課程論 2	12単位以上	全学部
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育指導論 2 総合的な学習の時間指導論 1 特別活動論 2 教育方法 2 教育とICT活用 2 生徒指導論 2 教育相談(カウンセリングを含む) 2 進路指導論 2	中学校教諭一種 免許状取得希望者15単位 高等学校教諭一種 免許状取得希望者13単位以上	
教育実践に関する科目	教育実習(事前・事後指導) 1 教育実習Ⅰ 2 教育実習Ⅱ 2 教職実践演習(中・高) 2	中学校教諭一種 免許状取得希望者7単位 高等学校教諭一種 免許状取得希望者5単位以上	

拓殖大学日本語教員養成講座科目

〔外国語学部 英米語学科・中国語学科・スペイン語学科、国際学部共通〕

授業科目及び単位数	
日 本 語 学 概 論 I	2
日 本 語 学 概 論 II	2
日 本 語 教 育 概 論	2
日 本 語 教 育 文 法 I	2
日 本 語 教 育 文 法 II	2
教 育 日 本 語 総 合 A	2
教 育 日 本 語 総 合 B	2
教 育 日 本 語 総 合 C	2
日 本 語 教 授 法 I	2
日 本 語 教 授 法 II	2
日 本 語 教 育 教 材 論	2
日 本 語 教 育 実 践 演 習	2
日 本 語 教 育 実 習	1
異 文 化 間 理 解	2

卒業に必要な最低単位数

商学部

(1) 全学共通教養科目		A系列から2単位以上 B系列から2単位以上 C系列から2単位以上 D系列から2単位以上 E系列から2単位以上	……………16単位
(2) 外国語科目		英語の8単位(必修) 地域言語の4単位(選択必修)	……………12単位
(3) 初期教育科目		「スタディスキル」2単位(必修) 「ITリテラシー」2単位(必修)	……………4単位
(4) 専門科目	学部基礎科目・学部共通科目・コース基本科目・関連科目	経営学科 経営コース 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目8単位 (必修4単位)を含む ・コース基本科目32単位 ※この32単位には、必修4単位を含む	……………70単位
		経営学科 IT経営コース 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目の8単位 及び学部共通科目2単位(必修)を含む ・コース基本科目28単位 ※この28単位には、必修2単位を含む	……………70単位
		経営学科 流通マーケティングコース 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目の8単位 及び学部共通科目8単位(必修)を含む ・コース基本科目の24単位	……………70単位
	学部基礎科目・学部共通科目・学科基本科目・関連科目	国際ビジネス学科 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目8単位 ・学部共通科目8単位(必修) ・学科基本科目32単位 ※この32単位には、選択必修科目4単位を含む	……………70単位
		会計学科 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目8単位 ※この8単位には、必修4単位を含む ・学部共通科目4単位(必修) ・学科基本科目50単位含む ※この50単位には、必修科目12単位及び 選択必修科目32単位を含む	……………70単位
	教職課程関連科目	国際ビジネス学科 …… 卒業所要単位には含まない。	
(5) ゼミナール科目			……………8単位
(6) 自由科目			……………16単位
(7) 卒業に必要な最低の合計単位数			……………126単位

商学部(留学生教育プログラム)

(1) 全学共通教養科目	A系列からE系列の任意科目	…………… 6単位
(2) 外国語科目	日本語の20単位(選択必修) 英語の8単位(必修)	……………28単位
(3) 初期教育科目	「スタディスキル」2単位(必修) 「ITリテラシー」2単位(必修)	…………… 4単位
(4) 専門科目	学部基礎科目・学部共通科目・コース基本科目・関連科目	経営学科 経営コース ……………70単位 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目8単位(必修4単位)を含む ・コース基本科目32単位 ※この32単位には、必修4単位を含む
		経営学科 IT経営コース ……………70単位 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目の8単位及び学部共通科目2単位(必修)を含む ・コース基本科目28単位 ※この28単位には、必修2単位を含む
		経営学科 流通マーケティングコース ……………70単位 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目と学部共通科目の20単位 ※この20単位には、学部基礎科目の8単位及び学部共通科目8単位(必修)を含む ・コース基本科目の24単位
	学部基礎科目・学部共通科目・学科基本科目・関連科目	国際ビジネス学科 ……………70単位 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目8単位 ・学部共通科目8単位(必修) ・学科基本科目32単位 ※この32単位には、選択必修科目4単位を含む
		会計学科 ……………70単位 但し、次の単位を含む ・学部基礎科目8単位 ※この8単位には、必修4単位を含む ・学部共通科目4単位(必修) ・学科基本科目50単位含む ※この50単位には、必修科目12単位及び選択必修科目32単位を含む
	教職課程関連科目	国際ビジネス学科 …… 卒業所要単位には含まない。
(5) ゼミナール科目		……………8単位
(6) 自由科目		……………10単位
(7) 卒業に必要な最低の合計単位数		……………126単位

卒業に必要な最低単位数

政経学部

法律政治学科

(1) 全 学 共 通 教 養 科 目		A系列から2単位以上 B系列から2単位以上 C系列から2単位以上 D系列から2単位以上 E系列から4単位以上16単位
(2) 外 国 語 科 目		英語の4単位(必修) 英語の4単位(選択必修) 地域言語の4単位(選択必修)12単位
(3) 専 門 科 目	基 礎 科 目	12単位以上 但し、次の単位を含む ・「アカデミック・スキル」2単位(必修) ・「法学入門」、「政治学入門」、「行政学入門」及 び「国際関係入門」から2単位
	プ ロ グ ラ ム 必 修 科 目	2単位以上
	演 習 科 目	10 単位以上
	課 題 解 決 型 科 目	
	研 修 ・ ア ク テ ィ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 科 目	
	学 科 専 門 科 目 (必修・選択を含む)	8単位以上 但し、次の単位を含む ・「法学」分野から4単位 ※この4単位には、「憲法(基本的人権 I)」2単位(必修)を含む ・「政治学」分野から4単位 ※この4単位には「政治学原論」2単 位(必修)を含む また、次の単位を除く ・「プログラム科目」分野のうち、8単位 を超える単位 ・「教職」分野科目の単位(卒業所要単 位にも含めない)
(4) 自 由 科 目		 10単位
(5) 卒業に必要な最低の合計単位数		126単位

法律政治学科(外国人留学生)

(1) 全学共通教養科目		6単位
(2) 外国語科目		英語 4単位(必修) 日本語 18単位(選択必修)22単位
(3) 専門科目	基礎科目	12単位以上 但し、次の単位を含む ・「アカデミック・スキル」2単位(必修) ・「法学入門」、「政治学入門」、「行政学入門」及び「国際関係入門」から2単位
	プログラム必修科目	2単位以上
	演習科目	10 単位以上
	課題解決型科目	
	研修・アクティブ・ラーニング科目	
	学科専門科目 (必修・選択を含む)	8単位以上 但し、次の単位を含む ・「法学」分野から4単位 ※この4単位には、「憲法(基本的人権 I)」2単位(必修)を含む ・「政治学」分野から4単位 ※この4単位には「政治学原論」2単位(必修)を含む また、次の単位を除く ・「プログラム科目」分野のうち、8単位を超える単位 ・「教職」分野科目の単位(卒業所要単位にも含めない)
(4) 自由科目		 10単位
(5) 卒業に必要な最低の合計単位数		126単位

経済学科

(1) 全 学 共 通 教 養 科 目		A系列から2単位以上 B系列から2単位以上 C系列から2単位以上 D系列から2単位以上 E系列から4単位以上16単位
(2) 外 国 語 科 目		英語の4単位(必修) 英語の4単位(選択必修) 地域言語の4単位(選択必修)12単位
(3) 専 門 科 目	基 礎 科 目	12単位以上 但し、次の単位を含む ・「アカデミック・スキル」2単位(必修) ・「経済学入門(歴史的視点)」、「経済学入門(国際的視点)」及び「統計入門」から2単位
	プ ロ グ ラ ム 必 修 科 目	2単位以上
	演 習 科 目	10 単位以上
	課 題 解 決 型 科 目	
	研 修 ・ ア ク テ ィ ブ ・ ラ ー ニ ン グ 科 目	
	学 科 専 門 科 目 (必修・選択を含む)	8単位以上 但し、次の単位を含む ・「経済学(理論経済系)」分野から8単位 ※この8単位には「ミクロ経済学Ⅰ」 2単位(必修)及び「マクロ経済学Ⅰ」 2単位(必修)を含む また、次の単位を除く ・「プログラム科目」分野のうち、8単位 を超える単位 ・「教職」分野科目の単位(卒業所要単位にも含めない)
(4) 自 由 科 目		10単位
(5) 卒業に必要な最低の合計単位数		 126単位

経済学科(外国人留学生)

(1) 全学共通教養科目		6単位
(2) 外国語科目		英語 4単位(必修) 日本語 18単位(選択必修)22単位
(3) 専門科目	基礎科目	12単位以上 但し、次の単位を含む ・「アカデミック・スキル」2単位(必修) ・「経済学入門(歴史的視点)」、「経済学入門(国際的視点)」及び「統計入門」から2単位
	プログラム必修科目	2単位以上
	演習科目	10単位以上
	課題解決型科目	
	研修・アクティブ・ラーニング科目	
	学科専門科目 (必修・選択を含む)	8単位以上 但し、次の単位を含む ・「経済学(理論経済系)」分野から8単位 ※この8単位には「ミクロ経済学Ⅰ」 2単位(必修)及び「マクロ経済学Ⅰ」 2単位(必修)を含む また、次の単位を除く ・「プログラム科目」分野のうち、8単位を超える単位 ・「教職」分野科目の単位(卒業所要単位にも含めない)
(4) 自由科目		 10単位
(5) 卒業に必要な最低の合計単位数		126単位

社会安全学科

科 目 区 分	授業科目群	卒業所要単位数	
		一般学生	外国人留学生
全学共通教養科目		16単位	6単位
外 国 語 科 目	英 語	12単位	4単位
	第二外国語		18単位
専 門 科 目		必修科目8単位を含む88単位	
自 由 科 目		10単位以上	
合 計		126単位以上	

卒業に必要な最低単位数

外国語学部 英米語・中国語・スペイン語・国際日本語学科

(1) 全学共通教養科目		英米語学科、中国語学科、スペイン語学科、国際日本語学科（一般） A系列から2単位以上 B系列から2単位以上 C系列から2単位以上 D系列から2単位以上 E系列から2単位以上16単位 国際日本語学科（留学生） 8単位
(2) 専門科目	必修科目	英米語学科.....34単位 中国語学科.....46単位 スペイン語学科.....44単位 国際日本語学科（一般）26単位 国際日本語学科（留学生）38単位
	選択科目Ⅰ	英米語学科.....26単位 中国語学科.....26単位 スペイン語学科.....14単位 国際日本語学科（一般）22単位 国際日本語学科（留学生）18単位
	選択科目Ⅱ	英米語学科.....26単位 中国語学科.....14単位 スペイン語学科.....28単位 国際日本語学科（一般）34単位 国際日本語学科（留学生）34単位
	学科横断科目	英米語学科、中国語学科、スペイン語学科、国際日本語学科 学部基盤科目 言語..... 2単位 情報..... 2単位 キャリア..... 2単位 学部教養科目 文化・社会..... 2単位 第二外国語 必修第二外国語..... 4単位 学科横断科目の任意科目 2単位 14単位
(3) 自由科目		英米語学科、中国語学科、スペイン語学科 … 10単位 国際日本語学科 14単位
(4) 卒業に必要な最低の合計単位数		英米語学科.....126単位 中国語学科.....126単位 スペイン語学科.....126単位 国際日本語学科.....126単位

卒業に必要な最低単位数

工学部

(1)全学共通教養科目		A系列から2単位以上 B系列から2単位以上 C系列から2単位以上 D系列から2単位以上16単位
(2)専門基礎科目 (必修・選択必修・選択を含む)		機械システム工学科24 単位 電子システム工学科24 単位 情報工学科24 単位 デザイン学科24 単位
(3)専門科目	必修科目	機械システム工学科21 単位 電子システム工学科21 単位 情報工学科12 単位 デザイン学科12 単位
	選択科目	機械システム工学科59 単位 電子システム工学科59 単位 情報工学科68 単位 デザイン学科68 単位 学際的教育のため、機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科、デザイン学科において、4 学科の専門科目のうち、相互に指定した科目の単位を修得した場合、これを卒業に必要な専門科目の単位数に算入する。ただし、この単位数は 30 単位までとする。
	選択科目・教職	「選択科目・教職」分野は卒業所要単位に含まない。
(4)自由科目		機械システム工学科4 単位 電子システム工学科4 単位 情報工学科4 単位 デザイン学科4 単位
(5)卒業に必要な最低の合計単位数		124 単位

卒業に必要な最低単位数

国際学部

(1) 全学共通教養科目		A系列から2単位以上 [2] B系列から2単位以上 [2] C系列から2単位以上 [2] D系列から2単位以上 [-] E系列から4単位以上 [4]16単位 [10]
(2) 外国語科目(必修を含む)		英語.....14単位 [14] 地域言語.....10単位 [16]
(3) 専門科目	専門共通科目 (必修を含む)	コース入門.....8単位 [8] 地域研究、経済・社会・心理、法律・政治、 情報10単位 [10] 「教職」分野は卒業所要単位に含まない。
	コース専門科目	コース基本科目 (卒業論文を含む)8単位 [8]
		国・地域別選択科目10単位 [10]
		テーマ別選択科目&ゼミナール24単位 [24]
(4) 自由科目		24単位 [24]
(5) 卒業に必要な最低の合計単位数		124単位 [124]

※ [] 内は留学生の卒業に必要な最低単位数。

別表第 4

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類
商 学 部	経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状(商業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
	国際ビジネス学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民) 高等学校教諭一種免許状(商業)
	会 計 学 科	高等学校教諭一種免許状(商業)
政経学部	法 律 政 治 学 科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民)
	経 済 学 科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民)
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
	中 国 語 学 科	中学校教諭一種免許状(中国語) 高等学校教諭一種免許状(中国語)
	ス ペ イ ン 語 学 科	中学校教諭一種免許状(スペイン語) 高等学校教諭一種免許状(スペイン語)
	国 際 日 本 語 学 科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語)
工 学 部	機械システム工学科	中学校教諭一種免許状(技術) 高等学校教諭一種免許状(工業)
	電子システム工学科	高等学校教諭一種免許状(工業)
	情 報 工 学 科	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
	デ ザ イ ン 学 科	高等学校教諭一種免許状(工業)
国際学部	国 際 学 科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状 (公民)

拓殖大学学則の変更事項を記載した書類

1. 変更事由

令和 8 年 4 月より外国語学部中国語学科及びスペイン語学科における入学定員及び収容定員を変更するため、学則変更を行う。

2. 学則変更点

(1) 学則 第 2 章 組織 第 5 条(入学定員及び収容定員)

外国語学部中国語学科及びスペイン語学科の入学定員及び収容定員を変更する。

(2) 「附 則」を追加する。

理由：施行日を明確にするため。

3. 新旧対照表

別添のとおり。

4. 変更時期

令和 8 年 4 月 1 日

以 上

拓殖大学学則新旧比較対照表（案）

新	旧																																																		
(略) (入学定員及び収容定員) 第5条 前条に規定する各学科の入学定員及び収容定員は、次の通りとする。 <table><tr><th>学 部</th><th>学 科</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td rowspan="4">外国語学部</td><td>英米語学科</td><td>130名</td><td>520名</td></tr><tr><td>中国語学科</td><td><u>40</u>名</td><td><u>160</u>名</td></tr><tr><td>スペイン語学科</td><td><u>40</u>名</td><td><u>160</u>名</td></tr><tr><td>国際日本語学科</td><td>50名</td><td>200名</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr></table> (略) <u>附 則</u> <u>この学則は、令和8年4月1日から施行する。ただし、令和7年度以前の入学者については、なお従前の学則による。</u> (略)	学 部	学 科	入学定員	収容定員	(略)	(略)	(略)	(略)	外国語学部	英米語学科	130名	520名	中国語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名	スペイン語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名	国際日本語学科	50名	200名	(略)	(略)	(略)	(略)	(略) (入学定員及び収容定員) 第5条 前条に規定する各学科の入学定員及び収容定員は、次の通りとする。 <table><tr><th>学 部</th><th>学 科</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td rowspan="4">外国語学部</td><td>英米語学科</td><td>130名</td><td>520名</td></tr><tr><td>中国語学科</td><td><u>50</u>名</td><td><u>200</u>名</td></tr><tr><td>スペイン語学科</td><td><u>50</u>名</td><td><u>200</u>名</td></tr><tr><td>国際日本語学科</td><td>50名</td><td>200名</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr></table> (略) <u>(新設)</u> (略)	学 部	学 科	入学定員	収容定員	(略)	(略)	(略)	(略)	外国語学部	英米語学科	130名	520名	中国語学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名	スペイン語学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名	国際日本語学科	50名	200名	(略)	(略)	(略)	(略)
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																																
(略)	(略)	(略)	(略)																																																
外国語学部	英米語学科	130名	520名																																																
	中国語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名																																																
	スペイン語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名																																																
	国際日本語学科	50名	200名																																																
(略)	(略)	(略)	(略)																																																
学 部	学 科	入学定員	収容定員																																																
(略)	(略)	(略)	(略)																																																
外国語学部	英米語学科	130名	520名																																																
	中国語学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名																																																
	スペイン語学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名																																																
	国際日本語学科	50名	200名																																																
(略)	(略)	(略)	(略)																																																

学則（収容定員）の変更の趣旨等を
記載した書類

令和 7（2025）年 4 月 30 日

学校法人 拓 殖 大 学

目 次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	3
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	3
(1) 本学外国語学部の入学定員充足状況	3
(2) 私立大学外国語学部の入学定員充足状況	3
(3) 文部科学省からの指摘	4
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	4
(1) 教育課程の変更内容	4
(2) 教育方法及び履修指導の方法の変更内容	4
(3) 教員組織の変更内容	5
(4) 大学全体の施設・設備の変更内容	5

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

拓殖大学（以下「本学」という。）は、令和 8（2026）年度から、下表のとおり、外国語学部中国語学科及び外国語学部スペイン語学科（以下「両学科」という。）の入学定員をそれぞれ 50 人から 40 人に、収容定員をそれぞれ 200 人から 160 人に減ずる。

（単位：人）

学部名	学 科 名	変更前			変更後		
		入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
外国語学部	英米語学科	130	—	520	130	—	520
	中国語学科	<u>50</u>	—	<u>200</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>
	スペイン語学科	<u>50</u>	—	<u>200</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>
	国際日本語学科	50	—	200	50	—	200
合 計		<u>280</u>	—	<u>1,120</u>	<u>260</u>	—	<u>1,040</u>

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）本学外国語学部の入学定員充足状況

本学外国語学部では、平成 28（2016）年度から令和元（2019）年度の間、下表のとおり入学定員を安定的に充足していたが、コロナ禍となった令和 2（2020）年度から入学定員が未充足となる。特に両学科では、その状況が顕著に現れている。

○外国語学部における各学科の入学定員充足率の推移

（単位：％）

学科／年度	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
英米語学科	106.00	118.00	110.00	101.00	91.54	86.92	84.62	85.38	88.46
中国語学科	104.00	112.00	102.00	108.00	92.00	94.00	72.00	60.00	52.00
スペイン語学科	110.00	122.00	100.00	106.00	114.00	76.00	56.00	48.00	44.00
国際日本語学科	—	—	—	—	96.00	98.00	76.00	90.00	82.00

※国際日本語学科は、令和 2（2020）年度から開設

（2）私立大学外国語学部の入学定員充足状況

この状況は、本学に限らず全国的なものとなっている。その要因は、産経ニュース「コロナ禍で就職見すえ学部選択」（令和 4（2022）年 1 月 12 日）【資料 1】によると「特に減少が大きく目立ったのは外国語や地域・国際といった学部で、減少幅が大きかった。いずれもこれまでは人気の高かった学部だが、コロナ禍で特色である海外留学の制限や、インバウンド（訪日外国人客）の縮小による就職活動の先行き不安などがある」としている。

これを裏付けるように、私立大学における外国語学部の志願者数は、下表「私立大学 外国語学部における志願者数、入学者数の推移」のとおり、令和 3（2021）年度から減少傾向となっている。

○私立大学 外国語学部における志願者数、入学者数の推移

区 分		令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
外国語学部	学部数	28学部	29学部	28学部	27学部	27学部	28学部
	入学定員数	9,628人	9,833人	9,706人	9,588人	9,533人	9,728人
	志願者数	95,158人	91,083人	73,790人	59,645人	57,251人	60,507人
	志願者倍率	9.88倍	9.26倍	7.60倍	6.22倍	6.01倍	6.22倍
	入学者数	9,975人	10,098人	9,646人	9,455人	9,212人	9,427人
	定員充足率	103.60%	102.70%	99.38%	98.61%	96.63%	96.91%

※日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度私立大学・短期大学等入学志願動向主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」より作成

(3) 文部科学省からの指摘

このような状況の中、令和6（2024）年3月26日に本学工学部情報工学科等の定員変更後の「設置計画履行状況等調査の結果」に外国語学部スペイン語学科に対して「収容定員未充足の改善に努めること。【指摘事項】（改善）」が付せられている。また、令和6（2024）年6月25日に文部科学大臣より、本学政経学部社会安全学科における「学科設置届出」「定員変更認可」の際に、附帯事項として「外国語学部中国語学科、スペイン語学科の収容定員未充足の是正に努めること。【遵守事項】」が付せられた。

以上の本学外国語学部及び私立大学外国語学部の志願者動向や文部科学省からの指摘事項を踏まえるとともに、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させ、教育の質の保証や大学教育の入口の質を保証することを目的として、両学科の収容定員を減ずるものである。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

教育課程の編成に当たっては、両学科ともに「卒業認定・学位授与方針」に謳う「豊かな専門的知識と実践的・的確な対象とする言語の運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成するため、①専門的知識、②言語運用能力、③汎用的知識・技能・能力、④社会の一員として生きる姿勢・態度、⑤課題発見・解決能力の5つの能力育成を重視している。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮している。この教育課程編成方針は、収容定員変更後においても維持継続し、教育課程の変更を行わない。従って、定員変更前の教育課程と比較して、同等以上の内容を担保できる。

(2) 教育方法及び履修指導の方法の変更内容

①教育方法

授業形式は、両学科ともに、教養や対象とする言語圏の社会・文化・歴史・経済等に関する専門知識などの育成には講義形式を中心に、言語運用能力、汎用的知識・技能・能力及び課題発見・解決能力などの育成には演習形式を中心に採用し、特に課題発見・解決能力の育成についてはアクティブ・ラーニングを取り入れている。演習形式の科目では、最大でも 20 人程度までの規模とし、少人数かつ双方向型の能動的学修を展開している。

また、両学科ともに、各科目の教育内容に応じて、クラス規模や教育方法を最適化している。クラス規模は、20 人程度までの小規模クラスと、40 人から 100 人程度までの中規模クラスとし、それぞれに適したサイズの教室を用意している。運用能力など技能向上を目的とする言語学修系クラスや知識創発を目指すゼミナールなど、学生の積極的な参加を前提とする科目は当然小規模クラスで行っている。また、講義形式の科目であっても、能動的学修の機会を持つことが知識の修得、定着に有効であり、学修意欲を向上させると考えられていることから、クラス規模を問わず能動的学修の手法が取りやすいように教室環境にも配慮している。

②履修指導の方法

両学科ともに、入学時や 2 年次にオリエンテーションを実施し、履修要項及び履修ガイダンス資料に基づき、4 年間の履修手続の流れや学修計画の立て方などについて、きめ細かな履修指導を行うとともに、年間を通して個別の履修相談体制を整えている。また、学生が気軽に教員の研究室を訪れ、履修方法をはじめ、学業などの質問や相談ができるよう、全ての基幹教員が「オフィス・アワー」を設定し、個別の対応を可能としている。

以上の取組は、定員変更後においても維持継続することとしており、定員変更前の教育方法及び履修指導の方法と比較して、同等以上の内容を確保できる。

(3) 教員組織の変更内容

この度の収容定員変更に伴い、大学設置基準別表第 1（第 10 条関係）で定められる両学科に必要とする基幹教員数は、6 人から 5 人となるが、両学科とも定員変更後も、基幹教員数 6 人を維持することとしている。これにより、教員 1 人当たりの学生数は、変更前 33.33 人（収容定員 200／基幹教員 6 人）から変更後 26.67 人（収容定員 160／基幹教員 6 人）に減らすことができる。従って、きめ細かな教育研究指導を維持継続することができ、定員変更前と比較して、同等以上の教員組織を確保できる。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

収容定員変更後は、両学科ともに授業科目のクラス数は現状を維持し、1 クラス当たりの人数を減らすこととしており、新たな施設・設備の整備を必要としていない。従って、既設施設・整備は、今まで以上に余裕をもって活用できることから、定員変更前と比較し

て、同等以上の内容を担保できる。

以 上

学則（収容定員）の変更の趣旨等を記載した書類 添付資料

資料1 「コロナ禍で就職見すえ学部選択」（令和4(2022)年1月12日 産経ニュース）

学生の確保の見通し等を記載した書類

令和 7（2025）年 4 月 30 日

学校法人 拓 殖 大 学

目 次

I 新設組織の概要	3
1. 新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）	3
2. 拓殖大学外国語学部中国語学科及びスペイン語学科（以下「両学科」という。）の特色	3
II 人材需要の社会的な動向等	5
1. 両学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	5
2. 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	10
3. 両学科の主な学生募集地域	11
4. 既設組織の定員充足状況	13
III 学生確保の見通し	21
1. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	21
2. 競合校の状況分析	28
3. 先行事例分析	55
4. 変更後の入学定員設定の妥当性	55
5. 両学科の就職等実績等	56
IV 両学科の定員設定の理由	59
1. 本学の現状と課題	59
2. 両学科の定員設定の理由	60

I 新設組織の概要

1. 新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

（単位：人）

学部名	学 科 名	変更前			変更後		
		入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
外国語学部	英米語学科	130	—	520	130	—	520
	中国語学科	<u>50</u>	—	<u>200</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>
	スペイン語学科	<u>50</u>	—	<u>200</u>	<u>40</u>	—	<u>160</u>
	国際日本語学科	50	—	200	50	—	200
合 計		<u>280</u>	—	<u>1,120</u>	<u>260</u>	—	<u>1,040</u>

※当該学部・学科の所在地（教育研究を行うキャンパス）は、八王子国際キャンパス（東京都八王子市館町 815-1）となる。

2. 拓殖大学外国語学部中国語学科及びスペイン語学科（以下「両学科」という。）の特色

（1）養成する人材像、学位の分野を踏まえた両学科の特色

①養成する人材像

中国語学科及びスペイン語学科は、豊かな専門的知識と実践的・的確な中国語又はスペイン語（以下「対象とする言語」という。）の運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材の育成を教育目標としている。そのため、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を「世界で広く用いられている対象とする言語（中国語又はスペイン語）の高い運用力とコミュニケーション能力を修得し、豊かな教養と異文化理解をもって国の内外で活躍できる人材を育成する」と定めている。

なお、卒業後の進路では、異文化コミュニケーターの素養を備え、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界（航空・旅行・ホテル業界、貿易業界、総合商社、海外企業、出版・編集業界、通訳）、社会貢献活動（NGO・NPO）等多様な分野での活躍が期待される。

②学位の分野を踏まえた両学科の特色

両学科の学位の分野は文学関係であり、主たる教育・研究の学問分野は対象とする言語学である。専門科目の必修科目において対象とする言語の運用能力を高めるとともに、専門科目の選択科目において、対象とする言語圏の社会・文化・歴史・経済等に関する専門的知識を深める。これにより、対象とする言語圏の社会的背景を踏まえ、専門性の高い対象とする言語学を学修することが可能となる。このため両学科が授与する学位名は、それぞれ対象とする言語名を学位名に使用し、中国語学科は「学士（中国語）」に、スペイン語学科は「学士（スペイン語）」にしている。

中国語学科では、中国語の学位分野を踏まえ、必修科目において日本人教員とネイティブ教員による少人数教育により、中国語をマスターするために必要な「読む、書く、聞く、話す、文法」を徹底的に学ぶ。特に会話の授業では、中国系学生を交えた言語環境をつくり、日本人が苦手とされる発音も修得する。さらに、選択科目では、共通の「中国学」で対象地域を全体的に研究し、履修モデルとしての「言語文化研究」「社会ビジネス研究」で、実践的かつ実用的な中国語を修得する。これらを教育の特色とし、高校生などに向け示している。

スペイン語学科では、スペイン語の学位分野を踏まえ、語学力だけでは通用しない将来を見据えた、多角的なカリキュラムを提供している。①機械翻訳や生成 AI の適切な利用法を学ぶ授業、②スペイン語圏でのビジネスに対応できるようなコミュニケーション能力の育成、③異文化理解のための授業を提供している。さらに、スペインやメキシコなどスペイン語圏への留学もしっかりサポートするとともに、ゼミナールを通じて言語や地域文化を研究する環境を整っている。これらを教育の特色とし、高校生などに向け示している。

(2) 両学科と近接する学問分野を持つ既設組織の概要

両学科と近接する文学関係の学問分野を持つ既設組織は、外国語学部英米語学科及び国際日本語学科の 2 つの学科である。英米語学科は入学定員 130 人（編入学定員は設けていない）、収容定員 520 人の規模を、国際日本語学科は入学定員 50 人（編入学定員は設けていない）、収容定員 200 人の規模を有し、それぞれ八王子国際キャンパス（東京都八王子市館町 815-1）を所在地としている。両学科定員変更後、近接する 2 つの学科においては、学生募集停止、収容定員変更、改組などの予定はない。

II 人材需要の社会的な動向等

1. 両学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

両学科における養成する人材は、全国的、地域的、社会的動向を踏まえたものであることを、次の両学科における「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で掲げる学修成果の目標（到達目標）である①専門的知識及び言語運用能力、②汎用的知識・技能・能力、③社会の一員として生きる意欲・姿勢、④課題発見・解決能力、それぞれの能力に係る人材需要に⑤地域的な人材需要を加えて、5点の人材需要の観点から述べる。

外国語学部 中国語学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的で的確な中国語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（中国語）の学位を授与する。

(1) 専門的知識の修得

中国語や中国語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

(2) 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答える中国語の実践的な運用能力を身につけている。

(3) 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

(4) 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブ・ラーナーの力を身につけている。

(5) 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

外国語学部 スペイン語学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的で的確なスペイン語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（スペイン語）の学位を授与する。

(1) 専門的知識の修得

スペイン語やスペイン語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

(2) 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答えるスペイン語の実践的な運用能力を身につけている。

(3) 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

(4) 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブ・ラーナーの力を身につけている。

(5) 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

(1) 中国語及びスペイン語の「専門的知識」及び「言語運用能力」を有する人材の需要

①中国経済の拡大

中国は、平成 22（2010）年に日本を抜き世界第 2 位の経済規模となっている（内閣府ホームページ）。日本にとって、中国は最大の貿易相手国（JETRO「2023 年の日中貿易（前編）」）であり、日本企業の海外現地法人数も最も多い国である【資料 1「日本企業の『海外現地法人数』ランキング TOP200」（東洋経済）】。

②中国語を母国語とする外国人新規入国者及び在留外国人数の増加

国籍・地域別の外国人新規入国者数では、下表のとおり中国語を母国語とする台湾、中国（香港）、中国、中国（その他）を合わせると令和 6（2024）年に 1,385 万人を超え最も多い。

○国籍・地域別 外国人新規入国者数の推移

順位	国籍・地域	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
一	総 数	3,581,443	151,726	3,423,531	23,751,693	34,015,792
1	台 湾	647,424	1,917	317,293	4,073,135	5,694,941
	中国（香港）	318,793	693	254,479	2,029,811	2,557,150
	中 国	836,088	19,374	155,702	1,997,492	5,485,060
	中国（その他）	11,860	23	1,304	73,445	120,806
	計	1,814,165	22,007	728,778	8,173,883	13,857,957
2	韓 国	432,707	5,500	952,743	6,810,987	8,629,185
3	米 国	202,096	13,631	302,382	2,004,203	2,665,704

※「令和 6 年における外国人入国者数及び日本人出国者数等について（速報値）」（出入

国在留管理庁 令和 7（2025）年 1 月 24 日）より作成

我が国で暮らす中国籍の在留外国人数は、下表のとおり過去 5 年間 1 位を維持し、令和 5（2023）年末から 80 万人を超え、過去最高を更新している。

○在留外国人数の推移

順位	国籍・地域	令和2年末 (2020年末)	令和3年末 (2021年末)	令和4年末 (2022年末)	令和5年末 (2023年末)	令和6年末 (2024年末)
—	総 数	2,887,116	2,760,635	3,075,213	3,410,992	3,768,977
1	中 国	778,112	716,606	761,563	821,838	873,286
2	ベトナム	448,053	432,934	489,312	565,026	634,361
3	韓 国	426,908	409,855	411,312	410,156	409,238

※「令和 6 年末現在における在留外国人数について」（出入国在留管理庁）

③スペイン語話者の需要

「日本とスペイン及び日本とスペイン語圏諸国の政治、経済、文化面における交流の進展により、スペイン語を正しく自在に使える人材が強く望まれている。また、日本と関係の深いアメリカ合衆国では、スペイン語話者の割合、そして母国語以外の第 2 言語としてスペイン語を学習する人々の割合が過去と比べて急激に増加しており、この傾向はますます顕著となっていくことが様々な調査からも明らかとなっている」【資料 2「文部科学省後援スペイン語技能検定」（公益財団法人日本スペイン協会）】。

これを裏付けるように、最も人気のある言語を学ぶ国数（世界で最も学習者が多い言語）は、「2023 年版 Duolingo Language Report が明かす言語の動向」【資料 3】によると、英語に続きスペイン語が 2 位である。

④世界の言語ランキング

言語の面からみた場合、中国語は、中華人民共和国（中国本土、香港、マカオ）、台湾、シンガポールなどで公用語として用いられている。スペイン語は、スペイン、アルゼンチン、チリ、メキシコなど、「公用語としている国と地域が 21、約 5.9 億人以上が使用し、国連の公用語に規定されている世界の主要言語のひとつである」【資料 2「文部科学省後援スペイン語技能検定」（公益財団法人日本スペイン協会）】。このような状況の中、世界の言語ランキング（インターネット上の言語使用人口）では、下表のとおり中国語は英語に続き 2 位、スペイン語は 3 位に位置している。

○言語ランキングとネット人口

全世界のインターネット利用人口（2020 年 3 月 31 日時点・推定）：54 億 7,306 万人

順位	言 語	利用人口	ネット人口割合
1	英 語	11億8,645万人	25.9%
2	中 国 語	8億8,845万人	19.4%

3	スペイン語	3億6,368万人	7.9%
4	アラビア語	2億3,742万人	5.2%
5	インドネシア語・マレー語	1億9,803万人	4.3%
6	ポルトガル語	1億7,175万人	3.7%
7	フランス語	1億5,173万人	3.3%
8	日本語	1億1,863万人	2.6%
9	ロシア語	1億1,635万人	2.5%
10	ドイツ語	9,253万人	2.0%

※上記 10 言語計 35 億 2,503 万人 (76.9%)

※全ネット人口に対する割合：2020 年 3 月 31 日時点

※「世界の言語ランキング TOP31」（翻訳会社 WIP ジャパン）【資料 4】より引用

以上の①中国経済の拡大、②中国語を母国語とする外国人新規入国者及び在留外国人数の増加、③スペイン語話者の需要、④世界の言語ランキングの状況から、中国語及びスペイン語やその言語圏の文化に関する専門的知識を有し、時代の変化と社会の課題に答える実践的な言語運用能力を身につけている人材が全国的、社会的に求められているといえる。

(2) 「汎用的知識・技能・能力」を有する人材需要

中央教育審議会 大学分科会 制度・教育部会「学士課程教育の構築に向けて（審議のまとめ）」（平成 20（2008）年 3 月 25 日）【資料 5】では、各専攻分野を通じて培う「学士力」として、①コミュニケーション・スキル、②数量的スキル、③情報リテラシー、④論理的思考力、⑤問題解決力の 5 つで構成する汎用的技能が示され、「ICT を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができること、日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すこと」などの能力の必要性が述べられている。

さらに、中央教育審議会「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成 30（2018）年 11 月 26 日）【資料 6】では、「読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、技術革新と価値創造の源となる飛躍知の発見・創造など新たな社会を牽引する能力が求められる」と述べられている。

このように、社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている人材が全国的、社会的に求められている。

(3) 「社会の一員として生きる意欲・姿勢」を有する人材需要

公益社団法人経済同友会（学校と経営者の交流活動推進委員会）の「企業の採用と教育に関するアンケート調査」（平成 22（2010）年度）【資料 7】では、「選考の際に重視す

るビジネスの基本能力については、第1位に『熱意・意欲』、第2位に『行動力・実行力』が挙げられている。

さらに、株式会社帝国データバンクは、令和4（2022）年9月に有効回答企業数1,550社に上る「企業が求める人材像アンケート」【資料8】調査結果を公表した。採用活動においてどのような人材像を求めているかの設問（3つまでの複数回答）に対して、「意欲的である」（42.2%）が4割超となっている。

このように、多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブ・ラーナーの力を身につけている人材が全国的、社会的に求められている。

（4）「課題発見・解決能力」を有する人材需要

一般社団法人日本経済団体連合会は、令和4（2022）年1月に「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」【資料9】を公表。同結果では、「特に期待する能力として、『課題設定・解決能力』（80.1%）『論理的思考力』（72.1%）『創造力』（42.6%）が上位となっている。

さらに、公益社団法人経済同友会の「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」（平成27（2015）年4月2日）【資料10】では、企業が求める人材像と必要な資質能力として、「変化の激しい社会で、課題を見出し、チームで協力して解決する力（課題設定力・解決力）」などが挙げられている。この課題設定力・解決力には、「他者に何が課題か説明し、理解を得て『協働』していくための双方向での対話力（コミュニケーション能力）、課題解決に向けた企画力、実行力」を求めている。

このように、地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている人材が全国的、社会的に求められている。

（5）地域的な人材需要

両学科の教育目標は、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で謳うとおり、「多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する」ことであり、地域社会における多文化共生の推進を担える人材の育成を目標としている。

両学科の所在地となる八王子国際キャンパスは、東京都八王子市である。

東京都は、平成28（2016）年2月に「東京都多文化共生推進指針」【資料11】が打ち出されている。これは、「多様性を都市づくりに活かし、全ての都民が東京の発展に向けて参加・活躍でき、安心して暮らせる社会の実現」を目指し、①日本人と外国人が共に活躍できる環境の整備、②全ての外国人が安心して暮らすことができ、また生活をより楽しむために必要なサポートの充実、③グローバル都市にふさわしい、多様性を尊重し、共に支え合う意識の醸成の大きく3つの目標が設定され、各種施策が展開されている。

八王子市においても平成25（2013）年に「『国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら、共に暮らす多文化共生のまちづくり』を基本理念とする『多文化共生推進プラン』を策定し、①外国人へのコミュニケーションや生活支援、②外国人

留学生の支援、③多文化共生意識の啓発、④海外都市との交流等の施策を実施してきている。これまでの社会情勢の変化や、施策の進捗状況を反映した『第2期八王子市多文化共生推進プラン』を令和5（2023）年3月に策定【資料12】されている。

このように、多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材は、地域的にも求められている。

以上のとおり、両学科の目的と養成する人材は、全国的、地域的、社会的な人材需要の動向を踏まえたものであり、今後さらに需要が増すものと考えている。

2. 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

(1) 18歳人口の推移予測

18歳人口の推移予測【資料13「首都圏18歳人口の指数推移」（令和7（2025）1月31日 株式会社進研アド）】では、令和6（2024）年度の18歳人口を100とした指数を用いた場合、令和18（2036）年度の全国の18歳人口指数は89となる。これに対して、東京都の18歳人口指数は101で増加。首都圏3県の18歳人口指数も、神奈川県92、埼玉県91、千葉県91で91以上を維持しており、その減少は全国と比較して緩やかなものである。

従って、両学科入学者の主な出身都道府県からは、長期的に入学定員を確保できるものと見込まれる。

(2) 首都圏の大学等進学状況

平成27（2015）年度から令和6（2024）年度の10年間の埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県（以下「首都圏」という。）における高等学校等卒業者の大学等進学状況は、下表のとおり平成27（2015）年度から令和2（2020）年度まで60%程度の安定的な進学率を維持している。令和3（2021）年度から上昇傾向となり、令和6（2024）年度で69.72%に達し過去10年間で最も高い。

従って、首都圏の大学等進学状況等に鑑みれば中長期的に受験者数及び入学定員の確保ができるものと見込まれる。

○首都圏の高等学校等卒業者の大学等進学状況

区 分		卒業者数	進学者数	進学率
1	平成27（2015）年度	272,945人	168,087人	61.58%
2	平成28（2016）年度	273,689人	168,274人	61.48%
3	平成29（2017）年度	277,147人	169,908人	61.31%
4	平成30（2018）年度	275,934人	167,448人	60.68%
5	令和元（2019）年度	276,073人	167,529人	60.68%
6	令和2（2020）年度	272,506人	168,080人	61.68%
7	令和3（2021）年度	269,276人	172,154人	63.93%
8	令和4（2022）年度	266,090人	177,480人	66.70%
9	令和5（2023）年度	259,418人	176,831人	68.16%

10	令和6（2024）年度	248,833人	173,480人	69.72%
----	-------------	----------	----------	--------

※「各年度 学校基本調査」（文部科学省）より作成

※大学等には、短期大学を含む（大学・短期大学の通信教育部への進学者を除く）

※高等学校卒業者数には中等教育学校後期課程を含む

※卒業者数は、前年度3月卒業の人数

（3）首都圏における高等学校（全日制）及び中学校の在籍者数

文部科学省の「令和6（2024）年度学校基本調査」によれば、令和7（2025）年度から令和10（2028）年度までの首都圏における高等学校（全日制）及び中学校の生徒数は、下表のとおり、全体で25万人以上を維持している。

従って、両学科における完成年度までの4年間を通じて、首都圏の大学受験対象者は、短中期的に入学定員を確保できるものと見込まれる。

○受験対象者となる首都圏の高等学校・中学校の生徒数

受験年度	学校種類	現在の学年	埼 玉 県	千 葉 県	東 京 都	神奈川県	合 計
令和7年度 受験対象者	高等学校	2年	52,114人	44,518人	97,345人	62,506人	256,483人
令和8年度 受験対象者	〃	1年	52,747人	45,615人	100,162人	63,297人	261,821人
令和9年度 受験対象者	中 学 校	3年	61,822人	51,893人	105,068人	74,475人	293,258人
令和10年度 受験対象者	〃	2年	61,318人	51,386人	105,197人	74,439人	292,340人

※「令和6（2024）年度学校基本調査」（文部科学省）より作成

※高等学校の生徒数には、定時制高等学校及び中等教育学校の生徒数を含まない

3. 両学科の主な学生募集地域

（1）出身高校所在地県別 東京都私立大学入学者数

学校基本調査「出身高校の所在地県別 入学者数」によると東京都所在の私立大学における入学者出身高校の所在地は、【別紙1「新設組織が置かれる都道府県への入学状況」】及び下表「出身高校所在地県別 東京都私立大学入学者数（上位5都道府県）」のとおり、首都圏が約74%以上を占める。

○出身高校所在地県別 東京都私立大学入学者数（上位5都道府県）

順位	都道府県	令和4年度 2022年度		令和5年度 2023年度		令和6年度 2024年度	
		入学者数	比 率	入学者数	比 率	入学者数	比 率
1	東 京 都	50,303人	34.79%	50,346人	34.64%	49,847人	34.43%
2	神奈川県	22,064人	15.26%	21,933人	15.09%	21,101人	14.58%

3	埼 玉 県	17,207人	11.90%	17,501人	12.04%	17,789人	12.29%
4	千 葉 県	13,523人	9.35%	13,464人	9.26%	13,342人	9.22%
5	茨 城 県	4,769人	3.30%	5,106人	3.51%	5,353人	3.70%
上位5都道府県計		107,866人	74.60%	108,350人	74.54%	107,432人	74.21%
全 国 計		144,587人	100.00%	145,350人	100.00%	144,772人	100.00%

※「各年度 学校基本調査 出身学校の所在地県別入学者数」（文部科学省）より作成

(2) 本学外国語学部における出身都道府県別在学学生数

本学外国語学部における過去3年間の出身都道府県別在学学生数は、下表のとおり、首都圏が約65%を占め、学校基本調査のデータ「出身高校の所在地県別 東京都 私立大学入学者数（上位5都道府県）」の状況と同様の傾向となる。

○本学外国語学部 出身都道府県別 在学学生数（上位5都道府県）

令和4（2022）年度				令和5（2023）年度				令和6（2024）年度			
順位	都道府県	在学学生数	比率（%）	順位	都道府県	在学学生数	比率（%）	順位	都道府県	在学学生数	比率（%）
1	東 京 都	185	23.57	1	東 京 都	190	24.77	1	東 京 都	193	27.18
2	埼 玉 県	142	18.09	2	神奈川県	132	17.21	2	神奈川県	129	18.17
3	神奈川県	129	16.43	3	埼 玉 県	126	16.43	3	埼 玉 県	106	14.93
4	千 葉 県	58	7.39	4	千 葉 県	49	6.39	4	千 葉 県	44	6.20
5	茨 城 県	28	3.57	5	静岡県	25	3.26	5	静岡県	25	3.52
合 計		785	100.00	合 計		767	100.00	合 計		710	100.00

※各年度5月1日現在

(3) 同系統等他大学の実績

①両学科の所在地となる東京都に所在する私立大学、②両学科の系統となる人文学系の私立大学（全国）、③両学科の同一の学位分野となる私立大学の外国語学部（全国）、④両学科の同一の学位分野となる私立大学の外国語学部系統（首都圏）における同系統他大学志願及び定員充足状況は、【別紙1「新設組織が置かれる都道府県への入学状況」】及び下表「同系統他大学志願及び定員充足状況」のとおり、入学定員を大きく上回る志願者数を得て高い倍率を維持し、定員充足率約97%以上で概ね入学定員を充足している。

○同系統他大学志願及び定員充足状況

区 分		令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
①両学科所在地 （都道府県） 東 京 都	学部数	414	419	421
	入学定員	155,475	156,483	157,011
	志願者数	1,402,850	1,386,596	1,401,663
	志願倍率	9.02	8.86	8.93
	入学者数	161,225	162,075	161,538
	定員充足率	103.70%	103.57%	102.88
②系統区分	学部数	250	251	252

人文科学系 (全 国)	入学定員	68,634	68,526	68,939
	志願者数	498,558	474,386	486,534
	志願倍率	7.26	6.92	7.06
	入学者数	67,898	65,979	66,154
	定員充足率	98.93	96.28	95.96
③学部系統区分 外国語学部 (全 国)	学部数	27	27	28
	入学定員数	9,588	9,533	9,728
	志願者数	59,645	57,251	60,507
	志願者倍率	6.22	6.01	6.22
	入学者数	9,455	9,212	9,427
	定員充足率	98.61	96.63	96.91
④外国語学部 系統(首都圏)	募集人数	4,176	4,238	3,875
	志願者数	31,113	32,107	34,282
	志願者倍率	7.45	7.58	8.85

※①両学科所在地（都道府県）東京都：日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度「地域別の動向（大学・学部別）」より作成

※②系統区分 人文科学系統（全国）：日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度「私立大学・短期大学等入学志願動向 学部系統別の動向（大学）」より作成

※③学部系統区分 外国語学部（全国）：日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度「私立大学・短期大学等入学志願動向 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」より作成

※④外国語学部系統（首都圏）：株式会社進研アドよりデータ提供

以上のとおり、①東京都所在私立大学における入学者出身高校の所在地は首都圏が約74%以上を占めること、②両学科の所在地となる八王子国際キャンパスにおける過去3年間の出身都道府県別在学生数は首都圏が約65%を占めること、さらに、③同系統他大学における志願及び定員充足状況は入学定員を大きく上回る志願者数を得て高い倍率を維持し概ね定員を充足している。従って、両学科の主な学生募集地域は、首都圏が中心であり、全国と比較し地域的に需要があることから、中長期的に入学定員を確保できるものと見込まれる。

4. 既設組織の定員充足状況

(1) 本学における入学定員・収容定員の充足状況

①入学定員の充足状況

本学における過去5年間の入学定員の充足状況は、下表「本学過去5年間入学者数の推移」及び【別紙2-1～14「既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）」】のとおり、一部の年度で定員未充足となっている学科があるものの、入学定員を大きく上回る受験者数を確保し、大学全体で約95%以上の充足率となっている。

なお、両学科における過去5年間の入学定員の充足状況は、太枠のとおり、入学定員を充足できない状況が続いている。

○本学過去5年間入学者数の推移【省略】

学部	学科	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
----	----	-----	-------	-------	-------	-------	-------

			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
商	経 営	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	国際ビジネス	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	会 計	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	学部計	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
政 経	法律政治	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	経 済	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	学部計	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
外国語	英米語	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	中国語	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	スペイン語	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	国際日本語	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					

	学部計	定員充足率					
		入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
工	機械システム工	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	電子システム工	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	情報工	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	デザイン	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
	学部計	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
国 際	国 際	入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					
合 計		入学定員数					
		受験者数					
		受験者倍率					
		入学者数					
		定員充足率					

②収容定員の充足状況

本学における過去5年間の収容定員の充足状況は、下表「本学過去5年間学生数の推移」のとおり、一部の年度で定員未充足となっている学科があるものの、大学全体で約97%以上の充足率となっている。

なお、両学科における過去5年間の収容定員の充足状況は、太枠のとおり、令和3（2021）年度から未充足が継続し、令和6（2024）年度の定員充足率が70%未満となる。

○本学過去5年間学生数の推移【省略】

学部	学科	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
商	経 営	収容定員					
		学生数					

			定員充足率						
		国際ビジネス	収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
		会 計	収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
		学部計	収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
政 経	法律政治		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	経 済		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	学部計		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
外国語	英米語		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	中国語		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	スペイン語		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	国際日本語		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	学部計		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
工	機械システム工		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	電子システム工		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	情報工		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	デザイン		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	学部計		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
国 際	国 際		収容定員						
			学生数						
			定員充足率						
	合 計		収容定員						
			学生数						

	定員充足率					
--	-------	--	--	--	--	--

③外国語学部における定員未充足の要因分析

本学外国語学部では、平成28（2016）年度から令和元（2019）年度の間、下表のとおり入学定員を安定的に充足していたが、コロナ禍となった令和2（2020）年度から入学定員が未充足となる。特に中国語学科及びスペイン語学科では、その状況が顕著に現れている。

○外国語学部における各学科の入学定員充足率の推移【省略】

（単位：％）

学科／年度	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
英米語学科									
中国語学科									
スペイン語学科									
国際日本語学科	－	－	－	－					

※外国語学部国際日本語学科は、令和2（2020）年度から開設

この状況は、本学に限らず全国的なものとなっている。その要因は、産経ニュース「コロナ禍で就職見えず学部選択」（令和4（2022）年1月12日）【資料14】によると「特に減少が大きく目立ったのは外国語や地域・国際といった学部で、減少幅が大きかった。いずれもこれまでは人気の高かった学部だが、コロナ禍で特色である海外留学の制限や、インバウンド（訪日外国人客）の縮小による就職活動の先行き不安などがある」としている。

これを裏付けるように、下表「私立大学 外国語学部における志願者数、入学者数の推移」によると、私立大学における外国語学部の志願者数は、令和3（2021）年度から減少傾向となっている。

○私立大学 外国語学部における志願者数、入学者数の推移

区 分		令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
外国語学部	学部数	28学部	29学部	28学部	27学部	27学部	28学部
	入学定員数	9,628人	9,833人	9,706人	9,588人	9,533人	9,728人
	志願者数	95,158人	91,083人	73,790人	59,645人	57,251人	60,507人
	志願者倍率	9.88倍	9.26倍	7.60倍	6.22倍	6.01倍	6.22倍
	入学者数	9,975人	10,098人	9,646人	9,455人	9,212人	9,427人
	定員充足率	103.60％	102.70％	99.38％	98.61％	96.63％	96.91％

※日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度「私立大学・短期大学等入学志願動向 主要学部別の志願者・入学者動向（大学）」より作成

また、日本人学生の海外留学者数も、コロナ禍の影響における海外留学制限などにより、下表「日本人学生留学状況の推移」のとおり、令和2（2020）年度に1千人台までに激減した。令和4（2022）年度に5万人台に回復したもののその数は、コロナ禍前の半分程度となる。

○日本人学生留学状況の推移

区 分	平成30年度 2017年度	平成31年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度
-----	------------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

留学者数	105,301人	115,146人	107,346人	1,487人	10,999人	58,162人
------	----------	----------	----------	--------	---------	---------

※独立行政法人日本学生支援機構「令和4（2022）年度日本人学生留学状況調査結果」（2024年5月）より作成

しかしながら、産業界が求めるニーズにおいて、特に期待する能力として異文化理解力や外国語能力なども挙げられていることから、外国語学部における人材養成の必要性は高いことがうかがえる。なお、外国語学部における各学科の就職率においても、下表のとおり、年度により若干バラツキが見られるものの、概ね良好な就職率を維持しており、今後ともに社会的な需要は依然として高いと考えている。

○外国語学部における各学科の就職率の推移【省略】

学 科	区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
英 米 語	就職希望者数					
	就職者数					
	就職率					
中 国 語	就職希望者数					
	就職者数					
	就職率					
ス ペ ン 語	就職希望者数					
	就職者数					
	就職率					
国 際 日 本 語	就職希望者数	—	—	—		
	就職者数	—	—	—		
	就職率	—	—	—		

※外国語学部国際日本語学科は、令和2（2020）年度開設

※令和6（2024）年度の数値は、令和7（2025）年3月31日現在

また、志願者減少の一要因とされる訪日外国人客数は、下表のとおり令和6（2024）年に3,600万人を超え、コロナ禍前よりも増加している。

○訪日外客数の推移

（単位：人数）

年	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
訪日外客数	28,691,073	31,191,856	31,882,049	4,115,828	245,862	3,832,110	25,066,350	36,869,900

※日本政府観光局（JNTO）の各年度「訪日外客数（総数）」より作成

このように、コロナ禍により、外国語学部の志願者数は減少したが、日本への入国、海外渡航状況の安定化や海外留学のチャンスが増えることにより、コロナ禍前の状況に回復するものと考えている。

④本学外国語学部における教育内容・方法等の改善

ア．海外留学制度

本学は、現在22カ国・地域の52大学・機関と交流・提携し、①長期、②短期、③交換、

④地域言語（第2外国語等）対象の個人研修奨学金の大きく4つで構成する海外留学プログラムを設けている。令和2（2020）年度及び令和3（2021）年度は、コロナ禍の影響により、海外提携校の受入体制が整わず派遣を断念。令和4（2022）年度から、海外提携校の受入が段階的に再開し、4つのプログラムの合計で69人が海外留学を実現。令和5（2023）年度からプログラム再開が顕著となり、4つのプログラムの合計で132人、令和6（2024）年度は合計119人が海外留学を経験。今後さらに海外提携校に受入再開・拡大の働きかけや新たな提携校を増やすなど、コロナ禍前の水準以上の実績を上げるように取り組んでいる。これらの回復傾向や取組状況を受験生、高等学校等への各種募集活動の際に積極的に情報提供することで志願者確保につなげる。

○本学海外留学プログラム 海外留学者数

区 分 / 年 度	平成30 2018	令和元 2019	令和2・3 2020・2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
①長 期	53人	58人	—	38人	27人	35人
②短 期	199人	209人	—	27人	88人	72人
③交 換	7人	9人	—	4人	7人	7人
④個人研修奨学金	25人	20人	—	0人	10人	5人
合 計	284人	296人	—	69人	132人	119人

※④：地域言語（第2外国語等）対象の個人研修奨学金

イ．学生募集活動

外国語学部は、大学全体の学生募集活動に加え、学部独自のイベントとして、「外国語学部オープンレクチャーデイ」「外国語学部入試相談会」「外国語学部出張模擬授業」「八王子国際キャンパスツアー（ミニオープンキャンパス）」を学部独自に実施するとともに、外部機関が実施する「入試説明会」「系統別説明会」にも学部として積極的に参加し、学生確保に努めている。

ウ．入試制度

今後さらに受験者増加を図り、優秀で意欲のある学生を確保すること、学科ごとの入学定員を確実に充足させることを目的として、令和6（2024）年度入学試験より、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に掲げる人材を募る総合型選抜（自己推薦型）や教育提携校、指定校との教育等連携強化による学校推薦型選抜の充実を図った。

エ．教育課程

令和7（2025）年度より、全学的に学修者本位の質の高い教育の実現を目指し、主要授業科目を中心とした順次性のある体系的なカリキュラムを編成すること、さらに、ゼミナール教育の強化や外国語教育、教養教育を充実するなど、特色・魅力ある教育課程の実現に向けて取り組んでいる。外国語学部では、これらの改善に加え IT とキャリア教育を重視した、カリキュラム改革を実施した。

以上のアからエの取組効果が、令和7（2025）年度の入試結果から現れ、令和7（2025）年4月1日時点の入学者数は、中国語学科39人、スペイン語学科71人である。今後、こ

これらの取組を継続・充実させること、さらに、令和 8（2026）年度から両学科の入学定員をそれぞれ 50 人から 40 人に減ずることで、変更後の入学定員を確実に継続的に確保することができる。これにより、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させることにつながるものと考えている。

III 学生確保の見通し

1. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

(1) 既設組織における取組とその目標

本学における学生確保に向けた取組は、①広報媒体、②オープンキャンパス、③高等学校及び日本語教育機関への訪問、④入試説明会、⑤業者主催進学相談会、⑥高校内ガイダンスの大きく6つの事業を展開している。

このうち、①広報媒体(大学案内・学生募集要項請求者)及び②オープンキャンパスについては、受験者・入学者の追跡調査を実施・分析し、また、追跡調査が困難な高等学校及び日本語教育機関への訪問等については、これまでの実績等を踏まえ、歩留率を考慮し、大学全体の実績の1.1倍に目標を設定する。

なお、本学における学生募集のためのPR活動は、効率的かつ効果的に実施するため原則として大学全体で実施しており、学部、学科単位で行っていないことから、既設組織におけるPR活動の過去の実績は、大学全体でまとめ、分析している。

①広報媒体

広報媒体は、大きく紙媒体と電子媒体に分けることができる。紙媒体では、大学案内とオープンキャンパス・チラシの配付、進学情報誌への掲載で、電子媒体では、ホームページと外部進学情報サイトへの掲載。なお、それぞれの広報時期・方法等は、以下のとおりである。

○広報媒体の計画内容

区 分	内 容	広報時期・方法等
紙媒体	大学案内	令和7(2025)年4月より令和8(2026)年度入学者向け大学案内を配付
	進学情報誌	令和7(2025)年4月以前に発行される令和8(2026)年度入学者向けの各業者作成の進学情報誌に大学基本情報について掲載
	オープンキャンパス・チラシ	資料請求者や高等学校等へ訪問し配付
電子媒体	ホームページ	両学科専用サイトに随時最新情報を更新
	外部進学情報サイト	リクルート、進研アド、マイナビ等の進学情報サイトへ情報を掲載

以上の内、入学者の追跡調査が行えるのは、大学案内・学生募集要項請求者及びオープンキャンパス参加者である。その取組概要と入学者に関する分析は、【別紙3「既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績」】及び下表のとおりである。

○大学全体「大学案内及び学生募集要項請求者数」

区 分	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者に関する分析
請求者総数 (a)	41,324人	47,619人	①取組概要 大学案内及び学生募集要項を作成し、全国の高等学校や請求があった受験生、保護者に配付。 ②過去の取組実績を踏まえた両学科の入学者の見込みに関する分析：大学全体で資料請求者のうち受験対象者数の約10%の者が受験し、約5%の者が入学している。 従って、資料請求の受験対象者数は、令和6（2024）年度両学科入学定員未充足者数52人（中国語学科24人、スペイン語学科28人）であることを踏まえ、令和6（2024）年度大学全体の実績17,856人に加え、106人以上（ $52人 \div 0.491$ （令和6（2024）年度入学率）=105.91人）を確保する。
うち受験対象者数 (b)	14,187人	17,856人	
うち受験者数 (c)	1,907人	1,695人	
うち入学者数 (d)	937人	877人	
(受験率c/b)	13.44%	9.49%	
(入学率d/b)	6.60%	4.91%	

②大学全体「オープンキャンパス」

オープンキャンパスの取組概要と入学者に関する分析は、下表のとおりである。

○大学全体「オープンキャンパス参加者数」

区 分	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者に関する分析
参加者総数 (a)	3,912人	5,436人	①取組概要 受験対象者を対象としてキャンパスを開放し、大学説明、体験授業、入試相談・キャンパスツアーを実施。 ・R5年度入試対象者：計6回開催（6/18,8/5,8/6,8/26,8/27,3/16） ・R6年度入試対象者：計6回開催（6/16,8/3,8/4,8/24,8/25,3/16） ②過去の取組実績を踏まえた両学科の入学者の見込みに関する分析：大学全体で参加者のうち受験対象者の約38%の者が受験し、約22%の者が入学している。 従って、参加者の受験対象者数は、令和6（2024）年度両学科入学定員未充足者数52人（中国語学科24人、スペイン語学科28人）であることを踏まえ、令和6（2024）年度大学全体の実績3,358人に加え、243人以上（ $52人 \div 0.2147$ （令和6（2024）年度入学率）=242.20人）を確保する。
うち受験対象者数 (b)	2,503人	3,358人	
うち受験者数 (c)	793人	1,263人	
うち入学者数 (d)	484人	721人	
(受験率c/b)	31.68%	37.61%	
(入学率d/b)	19.34%	21.47%	

③高等学校及び日本語教育機関への訪問

高等学校等への訪問については、令和4（2022）年度以降の実績は下表のとおりである。

令和7（2025）年度においては、4月より首都圏及び近郊の高等学校及び日本語教育機関を対象に、学内外の進学アドバイザー、本学の教員・入学課職員が訪問を実施する。訪問時において令和7（2025）年度入試結果、本学の教育目標、教育課程、卒業後の主な進路、入試制度及び過去の入試結果等について説明を行い、学生確保に努める。

なお、令和7（2025）年度の訪問校数は、令和4（2022）年度実績の1.1倍にあたる2,334校以上を目標とする。

○高等学校及び日本語教育機関への訪問校数

区 分	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度【目標】
-----	-----------------	-----------------	-----------------	---------------------

高 等 学 校	1,920校	1,653校	1,657校	2,112校以上
日本語教育機関	201校	98校	85校	222校以上
計	2,121校	1,751校	1,742校	2,334校以上

※令和3（2021）年度以前は、訪問校数を未集計のため、令和4（2022）年度以降とする
 ※【目標】：過去3年間の実績で最も訪問校数が多かった令和4（2022）年度実績を基準とし、その1.1倍（小数点以下切り上げ）を目標数として設定

④入試説明会

入試説明会は、高校教員を対象として毎年5月に開催している。令和7（2025）年度は、下表のとおり都心で交通の便が良い本学文京キャンパスを会場とし開催する。いずれの開催も、本学の教育目標と入試に関する説明を行うとともに、個別相談の時間を設け、よりきめ細やかな対応ができるような体制を整える。また、外国人留学生募集活動として日本語教育機関対象の説明会を開催する。

○入試説明会開催日程

日 程	場 所	対 象	対象学部
令和7（2025）年5月27日（火）	文京キャンパス	高 校 教 員	大学全体
令和7（2025）年6月13日（金）	文京キャンパス	教育提携校高校教員	大学全体
令和7（2025）年7月 4日（金）	文京キャンパス	日本語教育機関教員	大学全体

なお、入試説明会の参加者数は下表のとおり、例年300から400人程度を維持している。令和2（2020）年度では、コロナ禍の状況を鑑み、Webによる開催とし、令和3（2021）年度、令和4（2022）年度では、来場型とWeb型との併用による開催とした。令和5（2023）年度、令和6（2024）年度では、来場型のみとしたことから、参加数を減らしたが、令和7（2025）年度では、開催方法や内容を工夫することにより参加者数490人以上を目標とする。

○入試説明会参加者数（Web型参加者も含む）※教育提携校入試説明会参加者も含む

区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度 【目標】
高 校 教 員	230人	289人	273人	200人	200人	320人以上
日本語教育機関教員	125人	151人	144人	99人	107人	170人以上
計	355人	440人	417人	299人	307人	490人以上

※【目標】：過去5年間の実績で最も参加者が多かった令和3（2021）年度実績を基準とし、その1.1倍（10人未満は切り上げ）を目標数として設定

⑤業者主催進学相談会

全国で開催される業者主催の進学相談会に参加し、多くの高校生に本学における教育の

特色や魅力について理解を得ることで、学生確保に努める。

業者主催進学相談会の開催数及び相談者数は、下表のとおり、令和2（2020）年度、令和3（2021）年度では、コロナ禍の影響により開催数が減少したが、令和4（2022）年度から開催数は増加し、令和5（2023）年度から100カ所を超えている。令和7（2025）年度では、首都圏をはじめ、北海道から沖縄まで日本各地で開催される進学相談会151カ所以上に足を運び、延べ1,870人以上の相談を受けることを目標とする。

○業者主催進学相談会の開催数及び相談者数

区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度 【目標】
業者主催進学相談会	7カ所	16カ所	49カ所	133カ所	137カ所	151カ所以上
相談者（延べ人数）	98人	229人	504人	1,233人	1,700人	1,870人以上

※【目標】：過去5年間の実績で最も相談者が多かった令和6（2024）年度実績を基準とし、その1.1倍（小数点以下切り上げ）を目標数として設定

⑥校内ガイダンス

高等学校主催又は業者主催による高等学校で実施される校内ガイダンスに参加し、大学の説明を行う。

校内ガイダンスの開催数及び参加人数は、下表のとおり、業者主催進学相談会の状況と同様に、コロナ禍の影響により、一時期開催数が減少したが、令和4（2022）年度から開催数が増加している。令和7（2025）年度では、首都圏の高等学校を中心に517校以上に訪問し、延べ7,264人以上の参加人数を得ることを目標とする。

○校内ガイダンスの開催数及び参加人数

区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度 【目標】
校内ガイダンス	107校	227校	341校	401校	<u>470校</u>	517校以上
参 加 人 数	2,392人	4,539人	6,537人	<u>6,603人</u>	6,373人	7,264人以上

【目標】：過去5年間の実績で最も多かった年度実績（令和6（2024）年度のガイダンス校数、令和5（2023）年度の参加人数）を基準とし、その1.1倍（小数点以下切り上げ）を目標数として設定

(2) 両学科における取組とその目標

①両学科における学生募集のためのPR活動の方針及び戦略

両学科におけるPR活動の方針及び戦略については、既存組織における方針及び戦略の中に位置づけ、これまでに実施してきた前述の学生確保に向けた主要な6事業をさらに充実し、両学科の特色や魅力を入学対象者に届け、入学への動機付けとなるような取組を実

施する。

ア. 広報媒体（大学案内・ホームページ等）による PR 活動の充実

「大学案内」に、両学科の求める人材像、教育の特色、卒業後の進路などの情報をわかりやすく掲載し、広く受験生、保護者や全国の高等学校に配付する。また、本学ホームページやマスメディアを通して、両学科に関する情報を積極的に発信する。

特に、本学への入学実績がある高等学校及び日本語教育機関や潜在志願者（オープンキャンパス参加者及び資料請求者）に配付し周知するとともに、本学ホームページをはじめマスメディアを通して、両学科の教育目標である「豊かな専門的知識と実践的・的確な対象とする言語の運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材育成」の取り組みなどを随時発信する。

イ. オープンキャンパス、高等学校等への訪問などの行事による PR 活動の充実

これまで実施してきたオープンキャンパス、高等学校及び日本語教育機関への訪問、本学独自の入試説明会、業者主催の進学相談会、高等学校で実施される校内ガイダンスなど多様な機会を活用し、両学科に係る広報活動を展開し、両学科における「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」及び次の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」をはじめ、両学科の求める人材像、教育の特色、卒業後の進路など様々な教育情報を周知する。特に、これまで入学者が多い首都圏を中心に、高校生、日本語教育機関の外国人留学生、保護者、高等学校教諭、日本語教育機関教員に対して積極的な広報活動を展開していく。

外国語学部 中国語学科 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 入学前に求められる能力、水準等

本学科の「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を踏まえ、中国語・中国語圏と母語に強い関心を持ち、さらに次の（1）学習歴を有するとともに、（2）学力水準及び（3）能力を身につけている学生を求める。

（1）学習歴

高等学校で国語、英語、地理歴史、公民等の社会科系科目を学習している。

（2）学力水準

学問領域を学修するために必要とする基礎的な知識・技能を身につけ、論理的思考を以て情報の受信・発信ができる。

（3）能力

- ①高等学校で修得すべき基本的知識を身につけている。
- ②中国語・中国語圏の言語・社会・文化・歴史・経済等への関心と論理的思考力を身につけている。
- ③中国語・中国語圏の専門的知識と高い言語運用能力を以て、地域や国際社会を支える志を身につけている。
- ④国内外への社会現象への強い関心を持ち、コミュニケーション能力を備えて、協働しながら問題解決に取り組むための行動力を身につけている。

2. 入学希望者に求められる能力、水準等の判定方法

入学者選抜では、人物ならびに目的意識とそれを実現しうる学修意欲、学習歴及び能力を審査する

ための面接・プレゼンテーション等に重点を置く「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」と、学力水準の審査に重点を置く「一般選抜」の三つの方法により、入学に求められる水準、能力等を判定する。前者においては、それまでに高等学校で得た知識や体験、資格も審査の対象とする。

外国語学部 スペイン語学科
入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 入学前に求められる能力、水準等

本学科の「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を踏まえ、スペイン語・スペイン語圏と母語に強い関心を持ち、さらに次の（1）学習歴を有するとともに、（2）学力水準及び（3）能力を身につけている学生を求める。

（1）学習歴

高等学校等で国語、英語、地理歴史、公民等の社会科系科目を学習している。

（2）学力水準

学問領域を学修するために必要とする基礎的な知識・技能を身につけ、論理的思考を以て情報の受信・発信ができる。

（3）能力

- ①高等学校で修得すべき基本的知識・技能・能力を身につけている。
- ②スペイン語・スペイン語圏の言語・社会・文化・歴史・経済等への関心と論理的思考力を身につけている。
- ③スペイン語・スペイン語圏の専門的知識と高い言語運用能力を以て、地域や国際社会を支える志を身につけている。
- ④国内外への社会現象への強い関心を持ち、コミュニケーション能力を備えて、協働しながら問題解決に取り組むための行動力を身につけている。

2. 入学希望者に求められる能力、水準等の判定方法

入学者選抜では、人物ならびに目的意識とそれを実現しうる学修意欲、学習歴及び能力を審査するための面接・プレゼンテーション等に重点を置く「総合型選抜」、及び「学校推薦型選抜」と、学力水準の審査に重点を置く「一般選抜」の三つの方法により、入学に求められる水準、能力等を判定する。前者においては、それまでに高等学校で得た知識や体験、資格も審査の対象とする。

②両学科における学生募集のための PR 活動の実施計画・目標

両学科における学生募集のための PR 活動は、下表のとおり目標を設定し、前述の大学全体の年間学生募集の広報計画に組み込んで実施する。

○令和 7（2025）年度 両学科学生募集 PR 活動の取組計画・目標

取組事項	実施時期	P R 方 法 等
①広 報 媒 体	4月～	・「大学案内」を4月上旬に完成させ、より早期に受験生・保護者に配付 ※前述の大学全体「大学案内及び学生募集要項請求者数」の令和6（2024）年度取組実績（入学率4.91%）を踏まえた分析結果では、両学科入学定員100人（定員変更前の各学科50人で設定）を充足させるため両学科受験対象資料請求者106人以上の増を確保する
	7月～	・「両学科サイトホームページ」を最新情報に随時更新（目標：アクセス数50,000件） ※令和5（2023）年度受験生サイトビュー数実績参考：トップペ

		ージからバナーリンク張り、受験生サイト来訪者数目標値とした	
		・両学科を入学希望者（目標：10,000人）、本学への入学実績がある高等学校等（目標：5,000校※同梱企画等）に郵送又は配付	
		・リクルート、進研アド、マイナビ等の進学情報サイトへの情報に両学科の情報を掲載	
②オープン キャンパス 等	6・8・3月	・両学科専用相談ブース（窓口）を設置 （目標：相談数252人） ※相談員4人×9人相談×7日程＝合計252人 ※前述の大学全体「オープンキャンパス参加者数」の令和6（2024）年度取組実績（入学率約21.47％）を踏まえた分析結果では、両学科入学定員100人（定員変更前の各学科50人で設定）を充足させるため、両学科受験対象の参加者243人以上の増を確保する	
③高等学校 及び日本語 教育機関 への訪問	4月～	・両学科のPR	（目標：訪問校数2,334校以上） ※令和4（2022）年度実績×1.1倍
	7月～	・学校推薦型選抜（指定校）の依頼	
④入試説明会	5月	・両学科のPR（目標：説明人数490人以上） ※令和3（2021）年度実績×1.1倍	
⑤業者主催 進学相談会	4月～	・両学科のPR（目標：相談数1,870人以上） ※令和6（2024）年度実績×1.1倍	
⑥高 校 内 ガイダンス	4月～	・両学科のPR（目標：説明校数517校以上） ※令和6（2024）年度実績×1.1倍	

※③～⑥の目標は、学部学科ごとの設定が困難なため、本学全体での数値を示す。

（3）当該取組の実績の分析結果に基づく、両学科での入学者の見込み数

上記のとおり、①大学案内及び学生募集要項請求者数、②オープンキャンパス参加者については、受験者・入学者の追跡調査結果を分析し、①大学案内及び学生募集要項請求者数については、入学率約5%であることを踏まえ、両学科入学定員100人（定員変更前の各学科50人で設定）を充足させるため両学科受験対象資料請求者106人以上の増を確保する。②オープンキャンパス参加者数については、入学率約20%であることを踏まえ、両学科入学定員100人（定員変更前の各学科50人で設定）を充足させるため、両学科受験対象の参加者243人以上の増を確保する。③高等学校及び日本語教育機関への訪問、入試説明会、業者主催進学相談会及び高校内ガイダンスについては、両学科の入学定員に、歩留まりを考慮し、それぞれ過去の実績の1.1倍を目標数として実施するとともに、事業内容の充実や受験生に寄り添ったきめ細かなフォローアップを行い、確実な定員確保を目指す。

また、本学では、受験生の出願手続きの利便性を考慮し、インターネットによる入学試験要項・出願書類のダウンロードサービスやインターネット出願を実施している。

本学における学生確保を維持・充実するとともに両学科の特色や魅力などを十分に発信

し、受験生の興味関心を高め、さらに、本学の立地条件（東京都）の優位性も加味すると、両学科における変更後の入学定員 40 人を確保することは十分に可能である。

2. 競合校の状況分析

(1) 競合校の選定理由と両学科との比較分析、優位性

①競合校の選定理由

下表「中国語学科及びスペイン語学科の競合校」として選定した理由は、①本学と同じ私立大学であること、②定員が両学科と同規模（入学定員 30～90 人程度）であること、③学問分野が両学科と同一の「文学関係」であること、④両学科の主たる学生募集地域となる「首都圏」に所在すること、⑤学力層（偏差値：40～50 程度）が両学科と同程度であることを条件としている。なお、大学は、学力層が異なるが、養成する人材像や卒業後の進路に類似性が高いことから、本学スペイン語学科の競合校として加えた。

○中国語学科の競合校【省略】

(大学名 50 音順)

学部名	学科系統 分類	学位	所在地	入学 定員	令和 6 (2024) 年度入学試験偏差値			
					Benesse	旺文社	河合塾	Recruit

○スペイン語学科の競合校

(大学名 50 音順)

学部名	学科系統 分類	学位	所在地	入学 定員	令和 6 (2024) 年度入学試験偏差値			
					Benesse	旺文社	河合塾	Recruit

※入学定員：学科の定員数

※学問分野：学校基本調査の学科系統分類表の中分類

※偏差値 Benesse 「マナビジョン 大学の偏差値一覧から調べる」より作成
 旺文社 「全国の大学・学部の偏差値一覧『大学受験パスナビ』」より作成
 河合塾 「河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net 入試難易予想ランキング表」より作成
 Recruit 「スタディサプリ進路 大学の偏差値を見る」より作成

②競合校との比較分析及び両学科の優位性

両学科と競合校との比較分析及び両学科の優位性について、ア．教育内容と方法、イ．入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）、ウ．学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容、エ．就職支援の内容、オ．取得できる資格の5項目から述べる。

ア．教育内容と方法

（ア）競合校（中国語学科）

競合校における「カリキュラム・ポリシー」で示される教育内容と方法は、当該学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を達成するため、幅広い教養の育成に教養科目（競合5大学全て）を、中国の文化や言語運用能力の育成に専門科目（競合5大学全て）を配置し、順次性がある体系的な教育課程を編成（

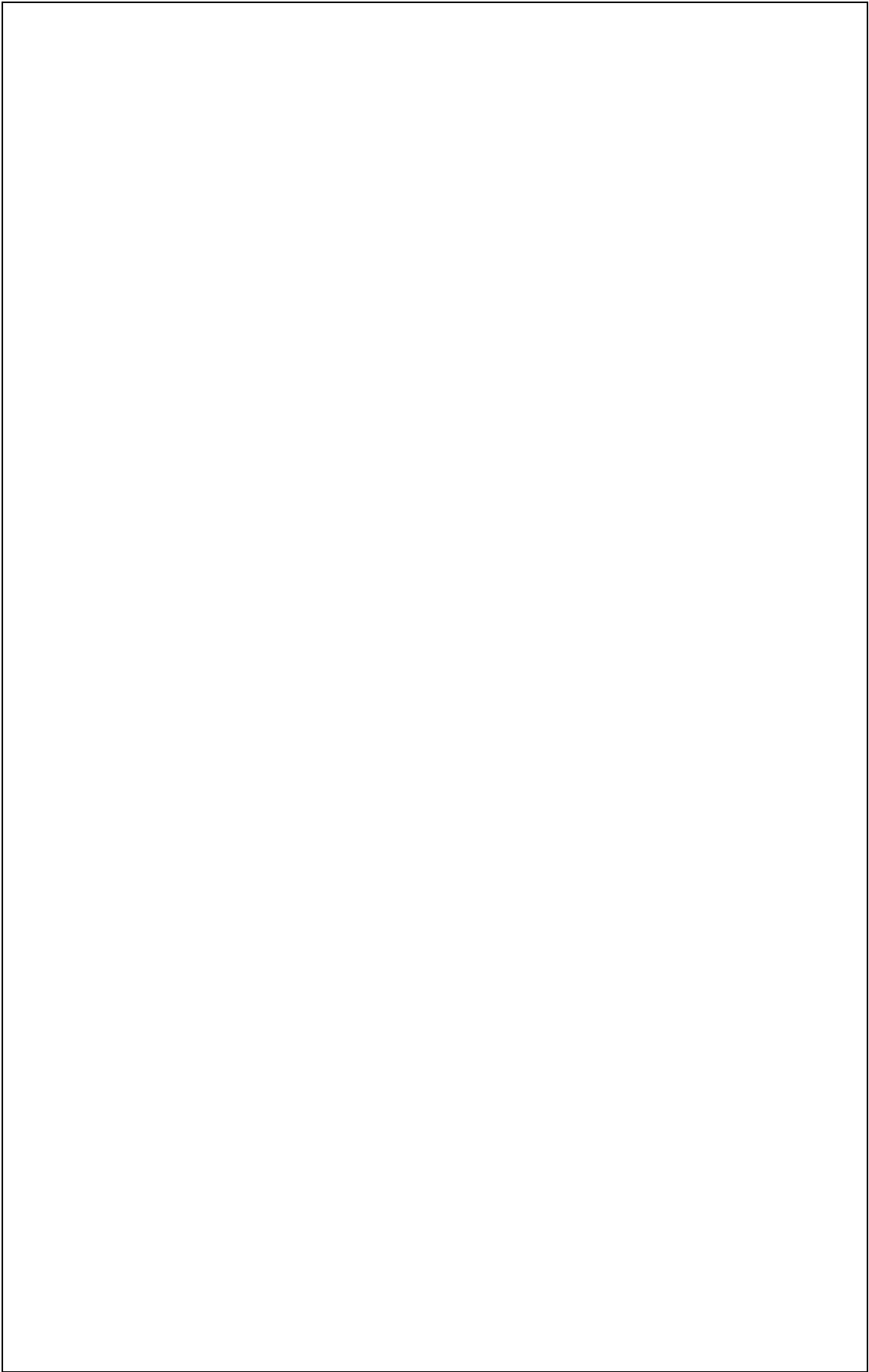
）することとされている。さらに、授業内容に即して、講義、演習の授業形式を採用（杏林大学、麗澤大学）し、少人数で行う演習科目やゼミナール科目では、課題発見・解決能力や協働力を育成するため、アクティブ・ラーニング（

）を導入するなど、学生の学修を活性化し効果的に教育を行う工夫がみられる。なお、教育課程を通して、社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組として、キャリア教育（競合5大学全て）を行っている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）【省略】

カリキュラム・ポリシー（教育課程に関する方針）【省略】

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) 【省略】



カリキュラム・ポリシー【省略】
教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー【省略】



※当該大学 HP より作成

(イ) 競合校（スペイン語学科）

競合校における「カリキュラム・ポリシー」で示される教育内容と方法は、当該学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を達成するため、幅広い教養の育成に教養科目（
）を、スペイン語圏の文化や言語運用能力の育成に専門科目（競合 4 大学全て）を配置し、順次性がある体系的な教育課程を編成（神奈川大学、神田外語大学）することとされている。さらに、授業内容に即して、講義、演習の授業形式を採用（
）し、少人数で行う演習科目やゼミナール科目では、課題発見・解決能力や協働力を育成するため、アクティブ・ラーニング（
）を導入するなど、学生の学修を活性化し効果的に教育を行う工夫がみられる。なお、教育課程を通じて、社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組として、キャリア教育（
）を行っている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）【省略】

カリキュラム・ポリシー（教育課程に関する方針）【省略】

カリキュラム・ポリシー【省略】

カリキュラム・ポリシー【省略】

※当該大学 HP より作成

（ウ）両学科

教育課程の編成に当たっては、両学科ともに「卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」に謳う「豊かな専門的知識と実践的・的確な対象とする言語の運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する」ため、次の両学科の「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」のとおり、①専

専門的知識、②言語運用能力、③汎用的知識・技能・能力、④社会の一員として生きる姿勢・態度、⑤課題発見・解決能力の5つの能力育成を重視している。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮している。

授業形式は、両学科ともに、教養や対象とする言語圏の社会・文化・歴史・経済等に関する専門知識の育成などには講義形式を中心に、言語運用能力、汎用的知識・技能・能力及び課題発見・解決能力などの育成には演習形式を中心に採用し、特に課題発見・解決能力の育成についてはアクティブ・ラーニングを取り入れている。演習形式の科目では、最大でも20人程度までの規模とし、少人数かつ双方向型の能動的学修を展開している。

また、両学科ともに、各科目の教育内容に応じて、クラス規模や教育方法を最適化している。クラス規模は、20人程度までの小規模クラスと、40人から100人程度までの中規模クラスとし、それぞれに適したサイズの教室を用意している。運用能力など技能向上を目的とする言語学修系クラスや知識創発を目指すゼミナールなど、学生の積極的な参加を前提とする科目は当然小規模クラスで行っている。また、講義形式の科目であっても、能動的学修の機会を持つことが知識の修得、定着に有効であり、学修意欲を向上させると考えられていることから、クラス規模を問わず能動的学修の手法が取りやすいように教室環境にも配慮している。

外国語学部 中国語学科
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

(1) 専門的知識の育成

- ・中国語圏の言語・社会・文化・歴史・経済等に関する専門的知識を育成するために、1年次より4年次まで、必修の科目を置く。
- ・専門演習ゼミナールを通して、卒業論文により学習を総合化する。

(2) 言語運用能力の育成

- ・正確な発音、文法、語彙、会話表現等の専攻語の理論とアクティブ・ラーニングを積極的に導入したスピーチやプレゼンテーションさらには通訳・翻訳・討論による高度で実践的な言語運用能力を育成する。

(3) 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学部基盤科目群に情報系の科目を置く。
- ・情報収集力、情報発信力と論理的思考力はゼミナール科目群を通して指導する。
- ・人間関係の構築、維持、発展等に必要なコミュニケーション・スキルの涵養は、多くのアクティブ・ラーニング科目を通して指導する。

(4) 社会の一員として生きる姿勢・態度の育成

- ・多様化する日本や国際社会に生きる一員であることが自覚できるよう、学科専門科目群のほか、学部教養科目群に異文化理解を深める機会を提供する科目を置く。
- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるように学部基盤科目としてキャリア科目群を置く。

(5) 課題発見・解決能力の育成

- ・国内外で生起する諸問題を日頃から意識し、外国語学部生ならではのリソースから情報を収集、

分析し、解決法を模索する姿勢と能力を涵養するため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として、卒業時に論文、研究、発表などを全員に課する。

- ・学科専門科目においても能動的学修の実施を推奨し、協働しながら課題を発見し、解決する機会を可能な限り多く提供する。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価に関しては、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、卒業認定・学位授与方針に沿った学修課程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらにGPAを利用し評価、指導する。

外国語学部 スペイン語学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

(1) 専門的知識の育成

- ・専門教育科目は必修科目、選択科目I及び選択科目IIの三つの構成とし、基礎・発展・完成と卒業まで体系的に学べるように編成する。
- ・専門選択科目においては、履修モデルを示しキャリア目標に応じた学習を可能にする。言語の仕組みについて専門的知識を修得すると同時に、4技能の向上を図る。
- ・また、スペイン語圏の社会問題、ビジネス、文化、歴史、文学、芸術などを理解し、言語と文化の関連性を分析できる能力を培う。

(2) 言語運用能力の育成

- ・実践的・的確な母語及び外国語の運用能力とコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・専門選択科目では、キャリア目標に応じた学習を可能にする。文法、語彙、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなどの言語スキルを磨き、実際のコミュニケーションに役立てることを重視する。スペイン語以外の外国語科目初級は1年間必修（週2回）、中級は選択科目（週1回）として履修年次は自由に選べるように設定し、多様性について学び、情報や知識を多面的かつ論理的に分析し、表現できる能力を育成する。
- ・CEFRの指標に照らし合わせた学修成果が得られているか検証する。

(3) 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学部基盤科目群に情報系の科目を置く。
- ・情報収集力、情報発信力と論理的思考力はゼミナール科目群を通して指導する。
- ・人間関係の構築、維持、発展等に必要なコミュニケーション・スキルの涵養は、多くのアクティブ・ラーニング科目を通して指導する。

(4) 社会の一員として生きる姿勢・態度の育成

- ・多様化する日本や国際社会に生きる一員であることが自覚できるよう、学科専門科目群のほか、学部教養科目群に異文化理解を深める機会を提供する科目を置く。
- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるように学部基盤科目としてキャリア科目群を置く。
- ・相互学習能力の育成：1年次から相互学習を導入し、2年次以降はプレゼンテーション、グループワークなどを取り入れ、他者との対話を通して方向性を見出し、目標実現のために行動できる能力を育成する。

(5) 課題発見・解決能力の育成

- ・国内外で生起する諸問題を日頃から意識し、外国語学部生ならではのリソースから情報を収集、分析し、解決法を模索する姿勢と能力を涵養するため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として、卒業時に論文、研究、発表などを全

員に課する。

- ・3・4年次ゼミナールでは演習やプロジェクトを組み込み、課題解決及び目的達成のために協働学習をおこない自主的・自律的に物事に取り組む能力を高めるカリキュラムを編成する。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価に関しては、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、卒業認定・学位授与方針に沿った学修課程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらにGPA、CEFRを利用し評価、指導する。

学修成果がCEFRの指標に照らし合わせて達成されているか検証する。

以上のとおり、両学科は、①専門的知識、②言語運用能力、③汎用的知識・技能・能力、④社会の一員として生きる姿勢・態度、⑤課題発見・解決能力の5つの能力育成を重視した教育内容・方法を実践し、日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献できる人材を育成することにより、競合校との差別化を図り、競争優位性を確保する。

イ. 入試（競合校の受験時期、入学手続時期との関係）

（ア）競合校

競合校における令和7（2025）年度一般選抜の受験時期の状況は、下表のとおり、2月に複数日を設定している大学（ ）、1・2月に複数日を設定している大学（ ）、2月に1日のみ設定している大学（ ）、これに加えて、4大学（ ）では、3月に1・2日間入試選抜が設定されている。

○競合校における令和7（2025）年度入試（一般選抜）【省略】

（大学名 50 音順）

大学・学部名等	受験時期試験日	入試名称	合格発表	入学手続締切日

※当該大学ホームページより作成
 ※大学入学共通テスト利用選抜を除く

(イ) 両学科

○受験時期

両学科における令和 8（2026）年度一般選抜の受験時期は、文部科学省の令和 7 年度大学入学者選抜実施要項（令和 6 年 6 月 5 日付け 6 文科高第 299 号文部科学省高等教育局長通知）に基づき、2 月上旬に 4 日間、2 月下旬に 1 日及び 3 月上旬に 1 日、計 6 回を計画している。

○両学科の令和 8（2026）年度入試（一般選抜）

受 験 時 期	入 学 手 続 時 期
・2月 1日（日）：全学部統一全国選抜 ・2月 3日（火）：2月前期選抜A日程 ・2月 4日（水）：2月前期選抜B日程 ・2月 5日（木）：2月前期選抜C日程	・合格発表：2月12日（木） ・入学手続：2月19日（木）
・2月22日（日）：全学部統一2月後期選抜	・合格発表：2月28日（土） ・入学手続：3月 5日（木）
・3月 5日（木）：3月選抜	・合格発表：3月 9日（月） ・入学手続：3月13日（金）

※大学入学共通テスト利用選抜を除く

○競合校の受験時期との関係

両学科における 2 月上旬の一般選抜の時期は、競合校と重複を完全に避けられないものの、連続して複数日を設定することで、本学と競合校との併願を可能とする。2 月下旬及び 3 月の一般選抜日程では、競合校との重複を極力避ける。このように受験生が複数の選択肢を得られるよう受験機会の確保に配慮する。

○競合校の入学手続時期との関係

入学手続時期は、両学科の入学試験と同時期に実施される競合校の合格発表より、極力早い時期に行い、受験生が併願校の合否判定を待たずに両学科の入学手続を行えるよう設定する。また、不合格者に対し次回の入学試験への準備期間を与えることにも配慮する。さらに、

競合校における同時期の入学試験の合格発表日以降に両学科の入学手続締切日を極力設定し、入学辞退者を防ぐことを考慮することにより、両学科における優位性を確保する。

ウ．学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

(ア) 競合校

競合校における学生納付金、奨学制度等の支援目的は、修学・経済支援と留学支援を含む諸活動支援の大きく2つに分類することができる。修学・経済支援では、①新入生への特待生制度（ ）、②成績優秀者及び経済的理由による修学困難者への奨学制度（競合6大学全て）、③外国人留学生限定の奨学制度（ ）、④被災学生への特別措置（上智大学、麗澤大学）などの大きく4つの制度からなる。諸活動支援では、海外留学（ ）、試験・資格取得（ ）など、当該大学の特色に沿った支援制度が設けられている。また、競合6大学全てにおいて、経済的負担の軽減を図ることを目的として学費を2分離分納（前期、後期）ができるように配慮されている。

○競合校における学生納付金、奨学制度等の支援（学部） 【省略】 (大学名 50 音順)

大学・学部名	目的等	対 象	奨学制度名称等	給付人数・額等

※当該大学ホームページより作成

※外部機関（団体・企業等）及び当該学部対象外の奨学制度を除く

（イ）本学

本学は、建学の理念及び教育目標を実現するため、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送る上で必要となる修学支援及び経済支援等を積極的に実施している。その一環として、下表「本学における学生納付金、奨学制度等の支援（学部）」のとおり奨学制度を設けており、その目的は、競合校と同様に、大きく修学・経済支援と諸活動支援の2つに分類することができる。

修学・経済支援では、「拓殖大学特待生」「拓殖大学学習奨励金・学友会学習奨励金」「外国語学部奨学論文奨学金」及び「外国語学部奨学生」の4制度に、外国人留学生限定の奨学金制度「私費外国人留学生授業料減免奨学金」「小林末男外国人留学生賞」「拓殖大学後援会外国人留学生奨学金」「拓殖大学外国人留学生奨学生」及び「西郷隆秀顕彰記念外国人留学生奨学金」の5制度を加え、合計9制度を設けている。

諸活動支援では、①スポーツ活動の取組に「拓殖大学 体育奨学生 第1・2種奨学生」及び「外国人留学生体育特別奨学生 第1・2・3種奨学生」制度を、②社会・地域貢献、国際交流、ボランティア等活動への取組に「学生チャレンジ企画」（活動資金の一部を支給）制度を、③資格試験取得への取組に「資格取得表彰（学長・学部長賞）」及び「GPA 表彰」制度を、④海外留学への取組に、「拓殖大学海外留学プログラム個人研修奨学金」及び「拓殖大学海外留学プログラム交換留学生(派遣)生活補助（奨学金）」制度を設けている。以上の①から④の4種類全ての制度を設けている大学は本学以外、競合校では確認できない。

さらに、これに加えて、本学では、時代の要請に応える形で、震災時において、被災地学生への支援制度や「拓殖大学緊急学生支援積立資産制度」を、また、「学費4分割分納制度」を設けるなど、修学・経済支援の充実に向け取り組んでいる。

このように、学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容からみた本学における修学・経済支援は、競合校と比較した場合、量・質ともに充実し適切なものとなっているといえる。

○本学における学生納付金、奨学制度等の支援（学部）

目的等	対 象	奨学制度名称等	給付人数・額等
修 学・ 経済支援	本学入学試験学業成績・人物ともに優秀な者	拓殖大学特待生	50人以内、授業料の額、4年間継続（年度毎に資格審査）
	学習及び生活態度が極めて優れている者（学部学生）	拓殖大学学習奨励金・学友会学習奨励金	200人、20万円
	外国語学部生執筆の学術論文	外国語学部 奨学論文奨学金	最優秀賞（5万円）、優秀賞、努力賞（又は佳作）若干名
	学業成績・人物ともに優秀な者：2年～4年	外国語学部奨学生	15人、20万円
	経済的理由により授業料納入困難かつ学業優秀な私費外国人留学生	私費外国人留学生 授業料減免奨学金	授業料の割合又は全額免除 令和6年度採用者数：781人
	修学及び生活態度が優れ、かつ誠実に努力している外国人留学生	小林末男外国人留学生賞	若干名、10万円
	修学及び生活態度が極めて優れている学部外国人留学生2年生以上	拓殖大学後援会 外国人留学生奨学金	50人、年額20万円
		拓殖大学外国人留学生奨学生	2人、年額20万円
		西郷隆秀顕彰記念 外国人留学生奨学金	1人、年額20万円
諸活動 支 援	体育を通して人格・身体ともに特に優れている学生	拓殖大学体育奨学生 第1種奨学生	10人、学費免除
		拓殖大学体育奨学生 第2種奨学生	20人、授業料免除
	大学に所属する外国人留学生	外国人留学生体育特別奨学生 第1種奨学生	3人以内、学費・学生寮費免除
		外国人留学生体育特別奨学生 第2種奨学生	5人以内、学費免除
		外国人留学生体育特別奨学生 第3種奨学生	6人以内、授業料免除

	社会・地域貢献、国際交流、ボランティア等活動に取り組む個人・団体（本学在学学生）	学生チャレンジ企画	活動資金上限30万円
	指定資格取得者	資格取得表彰 学長賞	取得者全員10万円
		資格取得表彰 学部長賞（優秀賞）	取得者全員 3万円
		資格取得表彰 学部長賞（努力賞）	取得者全員 1万円
	4年間累積GPA各学部上位者	GPA表彰	10人、ギフトカード（2千円）
留 学 支 援	海外実地研修実施者2年～4年	拓殖大学海外留学プログラム 個人研修奨学金	国・地域に応じて支給額が異なる（10～30万円）
	海外留学プログラム交換留学生1年～3年	海外留学プログラム交換留学生(派遣) 生活補助（奨学金）	派遣先学費免除、月4万円支給
学 費 納入方法	全学年	学費納分納制度	一括納入または4分割分納のどちらかを選択

※外部機関（団体・企業等）及び両学科対象外の奨学制度を除く

エ. 就職支援の内容

（ア）競合校

競合校における就職支援は、下表「競合校における就職支援」のとおり、正課教育においてキャリア教育を目的とする授業科目を設ける（競合 6 大学全て）とともに、学生のキャリア支援を行うための体制（キャリアセンター等の設置）を整備（競合 6 大学全て）し、その下で、進路選択に関わる支援（相談、求人等情報提供等）や卒業後の進路を見据えたキャリア支援プログラム（資格取得講座、公務員講座等）（競合 6 大学全て）を実施している。

○競合校における就職支援【省略】

（大学名 50 音順）

大学・学部・学科名	区 分	就 職 支 援 内 容

※当該大学ホームページより作成

(イ) 両学科

○両学科におけるキャリア教育（正課教育）

教育課程を通して、社会的・職業的自立を図るために必要な能力を、下表「社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う主な授業科目」のとおり、①キャリア形成、②社会人としての基礎的な資質向上、③卒業後の希望進路に対応した教育、④キャリア支援の大きく4構成の授業科目群により育成している。

具体的には、全学共通教養科目の「キャリア形成を行う」の科目区分では、現実社会に即した視点・観点で自身のキャリアをデザインし、具体的な行動計画を立案することを目的とした「職業と人生」の他、文章表現能力やコミュニケーション能力など、社会人としての基礎的な資質向上を目的とした「文章表現の基礎」「レポートの書き方」「ビジネス文の書き方」「プレゼンテーションと交渉」「口頭表現の技法」等の科目を配当している。

卒業後の進路に対応して、中国語学科専門科目では、「中国ビジネス概論」「ビジネス会話Ⅰ・Ⅱ」「商業文書Ⅰ・Ⅱ」「観光中国語Ⅰ・Ⅱ」を、スペイン語学科専門科目では、「ビジネススペイン語概論」「スペイン語圏ビジネス研究A・B」「観光ビジネススペイン語Ⅰ・Ⅱ」「ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ・Ⅱ」等の科目を配当している。さらに、学科横断的な科目として航空・旅行・ホテル業界、貿易業界、総合商社、海外企業等を志望する人向けに「観光ビジネス論」「エアラインビジネス論」「グローバルビジネス論」「ホスピタリティビジネス論」「海外インターンシップ論」等の科目を配当し、各自の希望進路に対応した専門知識と技能を育成している。その他、キャリア支援の科目として、「キ

キャリアガイダンス」「職業能力基礎（SPI）非言語」「職業能力基礎（SPI）言語」の科目を配当している。

○社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う主な授業科目

区 分	科目区分	授業科目の名称	到達目標
キャリア形成	全学共通 教養科目 (キャリア 形成を行う)	職業と人生	キャリアデザインの必要性を確認し、現実社会に即した視点・観点で自身のキャリアをデザインし、具体的な行動計画を立案することを到達目標とする。
社会人としての 基礎的な資質向上		文章表現の基礎	今後の大学・社会人生活に通用する実用的なアカデミック・ライティングの基礎を身につけることを到達目標とする。
		レポートの書き方	大学生にふさわしいアカデミック・ライティングに基づいたレポートを作成することを目指すことを到達目標とする。
		ビジネス文の書き方	ビジネス文の実践的な作法を修得し、状況に応じて適切な文書作成ができるようにすることを到達目標とする。
		プレゼンテーション と交渉	プレゼンテーションと交渉を活用して、自らと相手のチャンスを共に切り拓いてゆこうとする態度の醸成と能力の獲得を到達目標とする。
		口頭表現の技法	人前で堂々と自分の考えを発表できる、正しい敬語や様々な言葉の表現を身につけ、コミュニケーションに役立てられることを到達目標とする。
卒業後の希望進路 に対応した教育	中国語学科 専門科目 社会ビジネス 研究	中国ビジネス概論	日中ビジネス発展の推移や多様化を理解し、将来自分がどのように日中ビジネスに関わっていくのかを考えることを到達目標とする。
		ビジネス会話Ⅰ	ビジネスで用いられる表現や関連する文法・語彙を学ぶことで、ビジネスに必要な中国語運用能力の基礎を身につけることを到達目標とする。
		ビジネス会話Ⅱ	中国語圏のビジネスの事例をもとに、ビジネス現場に必要な知識と中国語運用能力を身につけることを到達目標とする。
		商業文書Ⅰ	中国ビジネスの慣行を理解したうえで、ビジネス中国語を書くことなどに重点を置き、ビジネス活動に役立つ知識を修得することを到達目標とする。
		商業文書Ⅱ	中国ビジネスのマナーを理解したうえで、ビジネス中国語を書くなどの応用を重視し、中国ビジネス現場で活用できる能力の修得を到達目標とする。
		観光中国語Ⅰ	来日する中国人を案内するための観光、旅行で使用する中国語に焦点を当て、観光業、旅行業の職業に必要とする表現を修得することを目標とする。
		観光中国語Ⅱ	観光業、旅行業で必要とする表現を理解したうえで、観光ビジネスの目的を果たせる中国語運用能力の修得を目標とする。
		スペイン語学科 専門科目 ビジネス	ビジネス スペイン語概論
	スペイン語圏 ビジネス研究A		スペインと日本の間で行われているビジネスの事例を学ぶことで、両国間のビジネス現場に必要な知識を身につけることを到達目標とする。
	スペイン語圏		ビジネスの基本とスペイン語圏の商習慣・文化に

		ビジネス研究B	ついて学び、スペイン語圏の人々とビジネスに関する概要を理解することを到達目標とする。
		観光ビジネス スペイン語I	訪日外国人観光客の特徴について理解し、同時にインバウンドビジネスで必要なスペイン語表現を修得することを到達目標とする。
		観光ビジネス スペイン語II	スペイン語による観光ガイド方法を学び、スペイン語ネイティブにスペイン語である程度ガイドできるようになることを到達目標とする。
		ビジネススペイン語 特殊研究I	これまで学修してきた内容を基に、ビジネスシーンで使用される語彙や表現、フォーマルな文体に慣れ親しむとともに、実務で必要とされるコミュニケーションスキルを修得することを到達目標とする。
		ビジネススペイン語 特殊研究II	これまで修得した知識を活用し、より高度なビジネス表現や専門的な語彙を学ぶとともに、実践的な場面での対応力を養成し、異文化間のビジネスコミュニケーションを効果的に行うスキルを身につけることを到達目標とする。
	学科横断科目 キャリア	観光ビジネス論	観光ビジネスの基本定義や業界の概略を理解したうえで、ビジネスチャンス創造のための手法を修得することを到達目標とする。
		エアライン ビジネス論	エアラインビジネスの歴史と現状や職種とその役割を理解したうえで、エアラインなどの各種職業選択に活用できるようにすることを到達目標とする。
		グローバル ビジネス論	インバウンドとアウトバウンドの両方向のビジネスの現状や問題点、未来の可能性等を理解することを到達目標とする。
		ホスピタリティ ビジネス論	主に、観光業界、航空業界、旅行業界などのサービス業の業務内容やビジネスの展開等を理解することを到達目標とする。
		海外 インターンシップ論	海外でインターンシップを行う、あるいはワーキングホリデイ等のプログラムに参加するための知識を身につけることを到達目標とする。
キャリア支援		キャリアガイダンス	卒業後の進路や職業選択に向け、大学での学び、大学生活、人生の送り方など、自らのキャリアについて考えを深めることを到達目標とする。
		職業能力基礎(SPI) 非言語	数的な処理や論理的思考力を身につけることを到達目標とする。
		職業能力基礎(SPI) 言語	言語の意味や話の要旨を的確に捉えて理解できる力を身につけることを到達目標とする。

○本学のキャリア支援体制

進路支援の体制は、本学の学生の就職活動及びキャリア形成に関する指導・支援について、総合的な計画を立案し推進することを目的として「就職キャリアセンター」を設置している。さらに、キャリア教育及び就職支援活動を組織的に推進するため、教職員の協働による総合的な支援体制を構築し、学生により高い就業力を身につけさせることを目的として、「就職キャリアセンター会議」を設置している。同センター会議の関連機関として「インターンシップ実行委員会」「社会人基礎力育成会議」を設置し、初年次からのキャリア教育を推進するための体制を構築している。特に学部ごとのキャリア支援体制の整備を推進し、特徴あるプログラムの実施に向け力を注いでいる。このように、組織的に進路

支援を進め、学生個々人に対して教職員が情報を共有し相互連携することによって進路支援活動を結実している。

就職キャリアセンターの就職部就職課及び八王子就職課には、就職アドバイザー資格を有した職員や企業の人事・採用経験者等を含めた就職担当スタッフ（事務局職員）を配置している。

○本学のキャリア支援プログラム

進路支援に関しては、在学生の約 8 割を占める民間企業・公務員等への就職希望者に対して、1 年次から各学年を対象とした就職ガイダンス、資格取得講座、実践的な「就職支援プログラム」【資料 15】など年間を通じて約 70 項目のプログラムを実施し、体系化した就職支援活動を推進している。

なお、これらの取組の中では、両学科における卒業後の進路に関連する「航空・旅行・ホテル業界上級サービス・マナー講座」「貿易実務検定講座」「マナー・プロトコール（国際礼儀）検定対策講座」などを設けている。

以上のとおり、両学科における就職支援の内容は、競合大学と比較した場合でも、十分に充実したものといえる。

オ. 取得できる資格

（ア）競合校

競合校では、対象とする言語の教職課程認定を受けている大学が多い。具体的には、「中学校教諭一種免許状（中国語）」及び「高等学校教諭一種免許状（中国語）」を

で、「高等学校教諭一種免許状（中国語）」を で、「高等学校教諭一種免許状（スペイン語又はイスパニア語）」を 2 大学（ ）で取得することができる。

は、対象とする言語に加え、「中学校教諭一種免許状（英語）」及び「高等学校教諭一種免許状（英語）」も取得が可能である。その他、教員免許状以外の資格では、「学芸員」を 3 大学（ ）、「社会教育士」を 2 大学（ ）でそれぞれ取得することができる。

取得が望まれる資格としては、対象とする言語の資格を中心に、HSK（漢語水平考試）及び「中国語検定」を 4 大学（ ）で、「スペイン語技能検定」「DELE スペイン語検定」を 2 大学（ ）で奨励している。また、卒業後の進路に即した「通訳案内士」（ ）や「旅行業務取扱管理者」（ ）などの資格も奨励している。

○競合校における取得できる資格【省略】 (大学名 50 音順)

大学・学部・学科名	区分	資 格 等

※当該大学ホームページより作成

(イ) 両学科

両学科では、対象とする言語の「中学校教諭一種免許状（中国語又はスペイン語）」
「高等学校教諭一種免許状（中国語又はスペイン語）」の免許状を取得することができる。また、4 年次修了時まで、教育課程を履修することで取得可能な資格試験ではないが、両学科では、高度な語学力と現場で求められる様々な実践的スキルを身につける機会として、下表「両学科の目標とする資格試験等」の取得を奨励している。これらの資格試験は、大学の授業と有機的に結びつき、卒業後の進路に即したものとなっている。

○両学科の目標とする資格試験等

区分	資 格 等	概 要 等	関連する科目等
両学科共通	国内旅行・総合旅行 業務取扱管理者	国内旅行・総合旅行業務取扱管理者は、旅行契約等に関する事務の管理・監督に関する業務を行う。	観光ビジネス 論、エアライン

	通関士	通関士は、通関業務に関する専門的知識、経験を有する専門家として、税関官署に提出する申告書類等の内容を審査する業務。	ビジネス論、ホスピタリティビジネス論等
	秘書検定	秘書検定は、社会人として備えておくべき基本的な常識となる「秘書技能」の検定。感じがよいと言ってもらえる表し方を、試験問題を通して学ぶ。	
	全国通訳案内士	全国通訳案内士は、通訳案内士法において報酬を得て、通訳案内（外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をすることをいう）を行う業務。	観光中国語Ⅰ・Ⅱ、スペイン語通訳法Ⅰ・Ⅱ
	日本語教育能力検定試験	日本語教育能力検定試験は、日本語学習者の多様なニーズに応じた日本語教育を行う者に必要とする基礎的な知識・能力を検定。	「日本語教員養成基礎講座」科目
中国語学科	中国語検定	中国語検定は、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能だけでなく、母語と外国語との関係処理する能力すなわち「訳す」能力を重視。	専門科目「必修中国語」科目
	HSK (漢語水平考試)	HSKは、中国政府が認定する資格。中国語によるコミュニケーション能力の測定を第一の目的とした実用的な中国語検定。	
	TOCFL (華語文能力測検)	TOCFLは、台湾による中国語を母語としない人向けの台湾華語能力試験。日常生活における言語使用能力を測ることを目的とし、日常生活の場面を想定して出題。	
スペイン語学科	スペイン語技能検定	スペイン語技能検定は、言語学習状況、留学時の公的証明、通訳・翻訳業務の能力証明、官公庁や民間企業の採用試験等、様々な場面において活用されている。	専門科目「必修スペイン語」科目
	DELE (スペイン語検定)	DELEは、スペイン教育・職業訓練省の下で、スペイン語を母国語、第2外国語とするジュニア、学生・社会人を対象に、読解、聞き取り、文章表現、口頭試験の4構成で実施される試験。	

※概要等は、当該資格試験等のホームページより作成

これらを達成目標として設定することにより学修意欲の向上と卒業後の進路選択での優位性に配慮する。

以上のア～オにおける競合校との比較分析では、十分に両学科の優位性を発揮でき競争性を有するものと考えている。

(2) 競合校の入学志願動向等

競合校における一般学生の過去3年間の入学志願（一般選抜）及び定員充足状況は、下表のとおり、一部の年度で未充足となっている大学があるが、いずれも入学定員を大きく上回る志願者数を得て高い倍率を維持し、概ね定員を充足している。なお、

は、令和4(2022)年度に入学定員9人が不足したが、令和5(2023)年度から入学定員を充足している。では、令和6(2024)年度に入学定員8人を不足したが、志願者倍率3.47倍を得ており定員を確保する余力を十分に有している。

○競合校（中国語学科）一般学生 過去3年間 入学志願（一般選抜）及び定員充足状況
【省略】 (大学名50音順)

大学・ 学部・学科名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		2022年度	2023年度	2024年度

※当該大学ホームページ（情報公開等）により作成

※帝京大学の志願者数・志願者倍率は、一般選抜以外の数値を含む

○競合校（スペイン語学科）一般学生 過去3年間 入学志願(一般選抜)及び定員充足状況

【省略】

(大学名 50 音順)

大学・ 学部・学科名	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		2022年度	2023年度	2024年度

年４月１日時点の入学人数は、中国語学科 39 人、スペイン語学科 71 人である。今後、これらの取組を継続・充実させること、さらに、令和 8（2026）年度から両学科の入学定員をそれぞれ 50 人から 40 人に減ずることで、変更後の入学定員を確実に継続的に確保することができる。これにより、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させることにつながるものと考えている。

○両学科過去 6 年間入学人数の推移（実人数）【省略】

学 科	区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
中 国 語	入学定員数						
	受験者数						
	受験者倍率						
	入学人数						
	定員充足率						
スペイン語	入学定員数						
	受験者数						
	受験者倍率						
	入学人数						
	定員充足率						

※令和 7（2025）年度の数値は、令和 7（2025）年 4 月 1 日現在

5. 両学科の就職等実績等

(1) 求人企業数の状況

両学科における求人企業数は、下表のとおり、令和2（2020）年度と令和6（2024）年度を比較すると約3,800社以上増加し過去5年で最も多い。求人企業数は、通常は企業1社につき、複数の求人となる場合が多い。仮に、過去5年間で求人企業数がもっとも少ない令和3（2021）年度で1社につき1人の求人数で就職希望者に対する求人倍率を算出した場合でも、約283倍以上に上り両学科が養成する人材数を大幅に上回る。

○両学科求人企業数の推移

学 科	区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
中 国	就職希望者数	44人	41人	40人	33人	29人
	求人企業数	12,623社	11,640社	13,618社	15,110社	16,440社
	求 人 倍 率	286.89倍	283.90倍	340.45倍	457.87倍	566.90倍
スペイン語	就職希望者数	38人	41人	29人	29人	34人
	求人企業数	12,576社	11,604社	13,590社	15,074社	16,406社
	求 人 倍 率	330.95倍	283.02倍	468.62倍	519.79倍	482.53倍

※学科別の求人企業数は、求人受付に共通プラットフォーム（大学共同参加求人受付 NAVI）から抽出。

※求人企業数には団体数を含む。

※令和 6（2020）年度の数値は、令和 7（2025）年 3 月 31 日現在

(2) 就職者数の状況

両学科における過去 5 年の就職希望者に対する就職率は、下表のとおり約 93%以上で、令和 5（2023）年度から 100%となっている。このように、両学科は、例年高い就職率を維持しており、これまで両学科の卒業生が企業採用担当者から高い評価を得ている実績を有しているといえる。

○両学科就職者数の推移

学 科	区 分	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度
中 国	就職希望者数	44人	41人	40人	33人	29人
	就 職 者 数	42人	38人	40人	33人	29人
	就 職 率	95.45%	92.68%	100.00%	100.00%	100.00%
スペイン語	就職希望者数	38人	41人	29人	29人	34人
	就 職 者 数	36人	40人	27人	29人	34人
	就 職 率	94.74%	97.56%	93.10%	100.00%	100.00%

※令和 6（2024）年度の数値は、令和 7（2025）年 3 月 31 日現在

(3) 両学科の主な就職先

令和 5（2023）年度における①中国語学科卒業生の主な就職先は、(株)星野リゾート、三菱地所ホテルズ&リゾート(株)、(株)ホテル小田急サザンタワー、(株)アマネク、伊藤忠フィナンシャルマネジメント(株)、アジア航測(株)、中部スカイサポート(株)、(株)ENEOSスカイサービス、八王子市役所、航空自衛隊、陸上自衛隊などの企業・団体である。

②スペイン語学科卒業生の主な就職先は、東日本旅客鉄道(株)、三井物産グローバルロジスティクス(株)、ANA テレマート(株)、リゾートトラスト(株)、旭ダイヤモンド工業(株)、カトープレジャーグループ、ゴディバジャパン(株)などの企業である。このように、各種ビジネス業界（航空・旅行・ホテル業界、商社、海外企業）や公務員など、専攻言語の運用能力とコミュニケーション能力を発揮することができる就職先が目立っている。

(4) 各種統計調査等

両学科の卒業後の主な進路は、前述のとおり、各種ビジネス業界で活躍しており、特に航空・旅行・ホテル業など、観光に係る業種に就く者が多い。

令和 5（2023）年 3 月に「観光立国推進基本計画（第 4 次）」【資料 16】が策定された。ここでは、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の 3 つの柱が示され、訪日外国人の旅行者数を 3,188 万人、消費額を 5 兆円するなど、コロナ前より進んだ形で観光を復活させるとする政府の 2025 年目標が掲げられている。これらの実現に向けて、観光の質の向上、観光産業の収益力の向上などの各種取組が全国的に進められ、その成果として、下表「訪日外客数の推移」のとおり、令和 6（2024）年では、訪日外客数は 3,600 万人に達し過去最多となった。このように観光に係る業種は、成長分野となっている。

○訪日外客数の推移

(単位：人数)

年	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024
訪日外客数	28,691,073	31,191,856	31,882,049	4,115,828	245,862	3,832,110	25,066,350	36,869,900

※日本政府観光局（JNTO）の各年度「訪日外客数（総数）」より作成

以上のとおり、①例年、両学科は就職希望者を大幅に上回る求人企業数を得て高い就職率を維持していること、②両学科の就職先として多い観光に係る業種は成長分野となっていることなどを踏まえ、両学科における変更後の入学定員 40 人に対する就職先は、十分に確保できるものと判断し、計画するものである。

IV 両学科の定員設定の理由

1. 本学の現状と課題

(1) 本学外国語学部の入学生定員充足状況

本学外国語学部では、平成 28（2016）年度から令和元（2019）年度の間、下表のとおり入学定員を安定的に充足していたが、コロナ禍となった令和 2（2020）年度から入学定員が未充足となる。特に両学科では、その状況が顕著に現れている。

○外国語学部における各学科の入学生定員充足率の推移【省略】（単位：％）

学科／年度	平成 28 2016	平成 29 2017	平成 30 2018	令和元 2019	令和 2 2020	令和 3 2021	令和 4 2022	令和 5 2023	令和 6 2024
英米語学科									
中国語学科									
スペイン語学科									
国際日本語学科	—	—	—	—					

※外国語学部国際日本語学科は、令和 2（2020）年度から開設

(2) 私立大学外国語学部の入学生定員充足状況

この状況は、本学に限らず全国的なものとなっている。その要因は、産経ニュース「コロナ禍で就職見すえ学部選択」（令和 4（2022）年 1 月 12 日）【資料 14】によると「特に減少が大きく目立ったのは外国語や地域・国際といった学部で、減少幅が大きかった。いずれもこれまでは人気の高かった学部だが、コロナ禍で特色である海外留学の制限や、インバウンド（訪日外国人客）の縮小による就職活動の先行き不安などがある」としている。

これを裏付けるように、私立大学における外国語学部の志願者数は、下表「私立大学外国語学部における志願者数、入学者数の推移」のとおり、令和 3（2021）年度から減少傾向となっている。

○私立大学 外国語学部における志願者数、入学者数の推移

区 分		令和元年度 2019 年度	令和 2 年度 2020 年度	令和 3 年度 2021 年度	令和 4 年度 2022 年度	令和 5 年度 2023 年度	令和 6 年度 2024 年度
外国語学部	学部数	28 学部	29 学部	28 学部	27 学部	27 学部	28 学部
	入学定員数	9,628 人	9,833 人	9,706 人	9,588 人	9,533 人	9,728 人
	志願者数	95,158 人	91,083 人	73,790 人	59,645 人	57,251 人	60,507 人
	志願者倍率	9.88 倍	9.26 倍	7.60 倍	6.22 倍	6.01 倍	6.22 倍
	入学者数	9,975 人	10,098 人	9,646 人	9,455 人	9,212 人	9,427 人
	定員充足率	103.60%	102.70%	99.38%	98.61%	96.63%	96.91%

※日本私立学校振興・共済事業団調査 各年度「私立大学・短期大学等入学志願動向 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」より作成

(3) 文部科学省からの指摘

このような状況の中、令和 6（2024）年 3 月 26 日に本学工学部情報工学科等の定員変更後の「設置計画履行状況等調査の結果」に外国語学部スペイン語学科に対して「収容定員未充足の改善に努めること。【指摘事項】（改善）」が付せられている。また、令和 6（2024）年 6 月 25 日に文部科学大臣より、本学政経学部社会安全学科における「学科設置届出」「定員変更認可」の際に、附帯事項として「外国語学部中国語学科、スペイン語学科の収容定員未充足の是正に努めること。【遵守事項】」が付せられた。

以上の本学外国語学部及び私立大学外国語学部の志願者動向や文部科学省からの指摘事項を踏まえるとともに、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させ、教育の質の保証や大学教育の入口の質を保証することを目的として、両学科の収容定員を減ずるものである。

2. 両学科の定員設定の理由

入学定員の設定にあたっては、教育研究活動を継続的・安定的に支える財政基盤を確立することはもとより、前述の両学科における対象とする言語の運用能力を有し、異文化コミュニケーションの素養を備えた人材養成に係る取組実績及び両学科の特色を活かし、教育研究活動のさらなる向上を目指すことを前提としている。

その規模については、前述の

- (1) 両学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析（Ⅱ－1）
- (2) 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析（Ⅱ－2）
- (3) 両学科の主な学生募集地域（Ⅱ－3）
- (4) 既設組織の定員充足状況（Ⅱ－4）
- (5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果（Ⅲ－1）
- (6) 競合校の状況分析（Ⅲ－2）
- (7) 変更後の入学定員設定の妥当性（Ⅲ－4）
- (8) 両学科の就職等実績等（Ⅲ－5）

に記した客観性が担保される公的機関、企業（第三者調査）等による調査、志願動向調査、類似する学部・学科を設置する他大学の状況などの各種統計調査の結果を重層的に分析・検討した。

これらの各種データや調査から導き出された結論はそれぞれ以下のとおりである。

(1) 両学科の目的と養成人材は、全国的、地域的、社会的な人材需要の動向を踏まえたものであり、今後さらに需要が増すものと考えている。

(2) 令和 18（2036）年度における 18 歳人口の推移予測によると首都圏と全国で比較した場合、首都圏での減少は緩やかであること、首都圏の大学等進学状況は令和 2（2020）年度から上昇傾向となり令和 5（2023）年度で 69.72%に達し過去 10 年間で最も高いことを鑑みれば、中長期的に入学定員を確保できるものと見込まれる。

(3) 両学科の主な学生募集地域は、首都圏が中心であり、全国と比較し地域的に需要があることから、中長期的に入学定員を確保できるものと見込まれる。

(4) 本学における過去 5 年間の入学定員の充足状況は、一部の年度で定員未充足となっている学科があるものの、入学定員を大きく上回る受験者数を確保し、大学全体で約 95%以上の充足率となっている。なお、両学科の定員充足状況は、次の (7) で後述する。

(5) 本学における学生確保を維持・充実するとともに両学科の特色や魅力などを十分に発信し、受験生の興味関心を高め、さらに、本学の立地条件（東京都）の優位性も加味すると、両学科における変更後の入学定員 40 人を確保することは十分に可能である。

(6) 競合校との比較分析から見えてきた両学科の優位性等は、前述の①教育内容と方法、②入試、③学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容、④就職支援の内容、⑤取得できる資格、⑥競合校の入試志願動向等、⑦学生納付金等の金額設定の理由の項目で記したとおり、十分に両学科の優位性を発揮でき競争性を有するものと考えている。

(7) 変更後の入学定員設定の妥当性は、外国語学部における定員確保に向けた各種取組の成果が、令和 7（2025）年度の入試結果から現れ、令和 7（2025）年 4 月 1 日時点の入学者数は、中国語学科 39 人、スペイン語学科 71 人である。今後、これらの取組を継続・充実させること、さらに、令和 8（2026）年度から両学科の入学定員をそれぞれ 50 人から 40 人に減ずることで、変更後の入学定員を確実に継続的に確保することができるものと考えている。

(8) 両学科の就職状況等は、例年、就職希望者を大幅に上回る求人企業数を得て高い就職率を維持していること、さらに、両学科の就職先として多い観光に係る業種は成長分野となっていることを鑑みれば、両学科で学んだ人材への需要は高いといえる。

両学科の定員は、入学試験における入学者の学力水準を担保し、入学者全体の学力水準を維持・向上させ、教育の質の保証や大学教育の入口の質を保証することを目的として、両学科の入学定員を 50 人から 40 人に、収容定員を 200 人から 160 人に減じるものである。

なお、以上の①両学科における養成する人材の全国的、地域的、社会的な需要動向、②18 歳人口の推移予測、③首都圏の大学等進学状況、④既設組織の定員充足状況、⑤競合校との比較分析等における各種データ・調査・分析結果、⑥両学科における教員の配置計画などを総合的に勘案したうえで、変更後の定員を長期的かつ安定的に確保できるとともに両学科の運営を健全に維持できると判断した。

以 上

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

別紙1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙2-1～14 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

資料1 「日本企業の『海外現地法人数』ランキングTOP200」（令和5年（2023）5月18日 東洋経済）

資料2 「文部科学省後援スペイン語技能検定」（公益財団法人日本スペイン協会）

資料3 「2023年版Duolingo Language Reportが明かす言語の動向」

資料4 「世界の言語ランキングTOP31」（翻訳会社WIPジャパン）

資料5 「学士課程教育の構築に向けて（審議のまとめ）」（平成20（2008）年3月25日 中央教育審議会 大学分科会 制度・教育部会）

資料6 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（平成30（2018）年11月26日 中央教育審議会）

資料7 「企業の採用と教育に関するアンケート調査」（平成22（2010）年度 公益社団法人経済同友会 学校と経営者の交流活動推進委員会）

資料8 「企業が求める人材像についてアンケート」（令和4（2022）年9月13日 株式会社帝国データバンク）

資料9 「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（令和4（2022）年1月18日 一般社団法人日本経済団体連合会）

資料10 「これからの企業・社会が求める人材像と大学への期待」（平成27（2015）年4月2日 公益社団法人経済同友会）

資料11 「東京都多文化共生推進指針～世界をリードするグローバル都市へ～【概要版】」（平成28（2016）年2月 東京都）

資料12 「多文化共生推進プラン」（八王子市公式ホームページ）

資料13 「首都圏18歳人口の指数推移」（令和7（2025）1月31日 株式会社進研アド）

資料14 「コロナ禍で就職見すえ学部選択」（令和4(2022)年1月12日 産経ニュース）

資料15 「2024年度 就職支援プログラム一覧」（拓殖大学）

資料16 「観光立国推進基本計画（第4次）について」（観光庁）

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	スズキ ショウイチ 鈴木 昭一 ＜令和3年4月＞		経営学修士 ※		拓殖大学 学長 (令和3年4月～令和9年3月)